授	業科目名	社会の理解						1
担	当者名	田中 文佳	実	務	家	教		
科	目 コ ー ド	2500001	授	—— 業		—— 形	態	講義
学	年	1	開		講		期	2023 年度 後期
単	位数	2	履				修	介護福祉士必修
ナンバリング DP1-1-B								
授業の概要と方法 について基礎的知識を習得して を分析し、個々人の生活全体を支			学び、ライフスタイル全般にわたる社会保障制度の概要 いく。介護を必要とする方々の多様な生活ニーズの背景 支えるためのサービス提供のあり方について理解を深め 方と地域包括ケアシステムの仕組みを理解し、その実現					
できる。 授業の到達目標 2. 法律、行政施策の仕組み、 3. 個々人の生活ニーズの充足にいくことができる。			ナーと	ごス けて、	可容(に関っ	する基 なる名	のつながりについて構造的に理解 を礎知識が身に付いている。 ・種の制度・サービスを連結して 医践について理解できる。
授業	計画		準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間					
1	私たちの生活と「生活・家族・地	社会福祉(1) 域社会・ライフスタイルの変化]	事前: テキストの指定範囲を読んでおく(90分) 事後: テキストを参考に学習プリントに記入する(90分)					
2	2 私たちの生活と社会福祉 (2) [地域共生社会・地域包括ケアシステムについて]			事前: テキストの指定範囲を読んでおく 確認テストの準備 (90分) 事後: テキストを参考に学習プリントに記入する 確認テストの準備 (90分)				
3	社会保障制度の社会保障制度の		事前: テキストの指定範囲を読んでおく (90分) 事後: テキストを参考に学習プリントに記入する (90分)					
4	社会保険制度(1) [年金保険制度]			事前: テキストの指定範囲を読んでおく(90分) 事後: テキストを参考に学習プリントに記入する 確認テストの準備(90分)				
5	社会保険制度(2) [医療保険制度]			事前: テキストの指定範囲を読んでおく (90分) 事後: テキストを参考に学習プリントに記入する 確認テストの準備 (90分)				
6	社会保険制度([雇用保険制度・	3) 労働者災害補償保険制度]	事前: テキストの指定範囲を読んでおく 確認テストの準備 (90分) 事後: テキストを参考に学習プリントに記入する 確認テストの準備 (90分)					

		事前:テキストの指定範囲を読んでおく
	社会保険制度(4)	確認テストの準備(90 分)
7	[介護保険制度]	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する
		確認テストの準備(90分)
	障害者福祉施策	事前:テキストの指定範囲を読んでおく(90分)
8	[障害の概念・障害者差別解消法・障害者雇用制	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する
	度]	確認テストの準備(90分)
		事前:テキストの指定範囲を読んでおく
9	障害者総合支援法の仕組み (1)	確認テストの準備(90 分)
9	[サービスの種類と内容]	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する
		確認テストの準備(90分)
		事前:テキストの指定範囲を読んでおく
10	障害者総合支援法の仕組み (2)	確認テストの準備(90分)
10	[サービス利用の流れ・行政機関の役割]	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する
		確認テストの準備(90分)
	介護実践にかかわる諸制度(1)	事前:テキストの指定範囲を読んでおく(90分)
11	「権利擁護の制度・個人情報保護制度」	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する
	[作作功度设计划区 四八日本区内设置	確認テストの準備(90分)
		事前:テキストの指定範囲を読んでおく
12	介護実践にかかわる諸制度(2)	確認テストの準備(90 分)
12	[虐待(児童・高齢者・障害者)及びDV対策]	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する
		確認テストの準備(90分)
		事前:テキストの指定範囲を読んでおく
13	介護実践にかかわる諸制度(3)	確認テストの準備(90分)
	[保健、医療に関する施策]	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する
		確認テストの準備(90分)
		事前:テキストの指定範囲を読んでおく
14	介護実践にかかわる諸制度(4)	確認テストの準備(90分)
	[生活保護制度・生活困窮者自立支援制度]	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する
		確認テストの準備(90分)
	演習(確認作業)	
15	人びとを取り巻く制度・サービスと地域共生社	事前:確認テストの範囲を総復習しておく(90分)
	会	事後:確認テストを見直し内容を理解する(90分)
	まとめとレポートの作成	

- ・事前、事後学習の一環として学習プリントを配布します。テキストを参考にして実直に取り組んでください。
- ・学習プリントは各単元の終了後に提出してください。
- ・随時、内容確認のためのテストを実施します。予習と復習を心掛けてください。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	提出物		授業への取り組み姿勢			
70%	20%		10%			
使用テキスト						
書籍名		著者		出版社		
「最新 介護福祉士養成講座 2 社会の理解」(第 2 版)		介護福祉士養成講座編集委員会		中央法規出版		
「見て覚える! 介護福祉 ビ 2023」			いとう総研資格取得支援センター		中央法規出版	
参考書又は参考資料等						
「クエスチョン・バンク	介護福祉	上国家試験問題解説 2	2024			
その他〔受講に際しての	注意点、認	課題(試験やレポー	ト等)に対するフィ	ードバック	プについて]	
・提出物は成績評価に反映	映します。糸	帝 め切りを厳守し提出	出してください。			
・提出物及び確認テストは確認、解説の後に返却します。						
担当教員の連絡先等						
担当教員 E-mail			その他			

t.fumi@hcc.ac.jp

授	業	科	目	名	人間関係とコミュニケーシ	ョン					
担	当		者	名	廣藤 智之	実	務	家	教	員	0
科	目	コ	_	ド	2500031	授	業		形	態	講義
学				年	1	開		講		期	2023年度 後期
単		位		数	1	履				修	介護福祉士必修
ナ	ンパ	ĭ ļ	リン	グ	DP1-1-B						

の特記事項含む〕

- 授業の概要と方法・人間関係とコミュニケーションは、介護老人保健施設および通所リハビリテーションでの 〔実務家教員について 職務経験を持つ教員が、人間の理解を基礎として、自己理解、他者理解をもとに人間関係の 形成について理解を深める。また、人間関係形成における心理学的支援を踏まえたコミュニ ケーションの意義を学び、演習を通してコミュニケーション技法の基礎的な知識、技術を習 得することを目的とする。
 - ・今後の介護福祉の展開を展望し、チームマネジメントの基礎的な知識を身につけ、組織の 運営管理、人材の育成や活用等の人材管理、それらに必要なリーダーシップ・フォロワー シップ等の基本を理解する。

〔学習成果〕

- **授業の到達目標**1. 人間関係の形成やチームで働くための能力の基盤となるコミュニケーションのあり方と多 職種間のコミュニケーションについて理解できる。
 - 2.専門的コミュニケーションの技法を学び、基礎的な知識と技法を習得している。
 - 3.ヒューマンサービスとしての介護福祉サービスの特徴を踏まえ、介護実践におけるチーム マネジメントに必要な知識を理解し、その意義や展開について説明できる。

 授	業計画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間
	人間関係とコミュニケーション①	事前:テキストの指定範囲を読んでおく(45分)
] 1	(人間と人間関係)	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する(45分)
2	人間関係とコミュニケーション②	事前:テキストの指定範囲を読んでおく(45分)
4	(対人関係におけるコミュニケーション)	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する(45分)
3	人間関係とコミュニケーション③	事前:テキストの指定範囲を読んでおく(45分)
3	(対人援助関係とコミュニケーション)	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する(45分)
4	人間関係とコミュニケーション④	事前:テキストの指定範囲を読んでおく(45分)
4	(組織におけるコミュニケーション)	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する(45分)
	人間関係とコミュニケーション⑤	事前:テキストの指定範囲を読んでおく(演習準備)(45
5	演習:ブレーンストーミングをやってみる	分)
		事後:演習の振り返りをプリントに記入する(45分)
1 6	介護実践におけるチームマネジメント①	事前:テキストの指定範囲を読んでおく(45分)
	(介護実践におけるチームマネジメントの意義)	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する(45分)
7	介護実践におけるチームマネジメント②	事前:テキストの指定範囲を読んでおく(45分)
	(介護実践におけるチームマネジメントの取り組み	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する(45分)
8	介護実践におけるチームマネジメント③	事前:テキストの指定範囲を読んでおく(45分)
	(ケアを展開するためのチームマネジメント)	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する(45分)
g	介護実践におけるチームマネジメント④	事前:テキストの指定範囲を読んでおく(45分)
	(チームの力を最大化するためのマネジメント)	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する(45分)
	介護実践におけるチームマネジメント⑤	事前:テキストと配布されている関連資料を読んでおく(45
10	(介人育成・自己研鑽のためのチームマネジメント	分)
		事後:テキストと資料を参考に学習プリントに記入する(45
		分)

11	介護実践におけるチームマネジメント⑥	事前:テキストの指定範囲を読んでおく(45分)
	(介護福祉職のキャリアデザイン)	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する(45分)
12	介護実践におけるチームマネジメント⑦	事前:テキストの指定範囲を読んでおく(45分)
1	(組織の目標達成のためのチームマネジメント)	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する(45分)
12	介護実践におけるチームマネジメント⑧	事前:テキストの指定範囲を読んでおく(45分)
13	(介護サービスを支える組織の機能と役割)	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する(45分)
	介護実践におけるチームマネジメント⑨	事前:テキストの指定範囲を読んでおく(演習準備)(45
14	演習:スーパービジョンの機能について理解する	分)
		事後:演習の振り返りをプリントに記入する(45分)
15	確認とまとめレポートの作成	事前:確認テストの範囲を総復習しておく(45分)
13		事後:確認テストを見直し内容を理解する(45分)

- ・単元(若しくは授業)の終わりに、要点(まとめ)を伝えますので、各自で要点用のファイルを作成してください。
- ・授業ファイルおよび要点用ファイルは定期的に提出し内容を確認し返却します(必要に応じ、個別指導を行います)。
- ・教科書をもとに事前及び事後の自己学習を行ってください。また、準備学習以外でも、単元ごとにドリル・模擬問題を配布しますので、課題に取り組んでください。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	提出物	授業への取り組み姿勢	
70%	20%	10%	

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
『最新 介護福祉士養成講座1 人間の理解 第2版』	介護福祉士養成講座編集 委員会	中央法規出版
『見て覚える! 介護福祉士国試ナビ2022』	いとう総研資格取得支援 センター	中央法規出版

参考書又は参考資料等

『クエスチョン・バンク 介護福祉士国家試験問題解説2023』

その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

- ・提出物は成績評価に反映します。締め切りを厳守し提出してください。
- ・提出物及び確認テストは確認、解説の後に返却します。

担当教員E-mail	その他
hirofuji@hcc.ac.jp	

授	業 科 目 名	介護の基本 I					
担	当 者 名	田中 文佳、廣藤 智之	実 務 家 教	員	0		
科	目 コ ー ド	2500002	授業形	態	演習		
学	年	1	開講	期	前期		
単	位数	4	履	修	介護福祉士必修		
ナン	ノバリング	DP1-1-A		•			
授業	の概要と方法	介護福祉士は、個人の尊厳の係	R持と自立支援の理	念を基	に、介護を必要とされる一人ひ		
〔実	務家教員につい	とりの様々な生活背景や価値額	親を考慮しつつ最適	が生活	舌支援サービスを提供する。この		
ての	特記事項含む〕	科目ではそのために必要な基準	本的理念と倫理、専	門的役	と割及び責務について学ぶ。 事例		
		 検討やグループワーク演習、\$	芝外演習に取り組み	、利用	 者理解の視点と介護福祉士の専		
					通して、現状と課題、介護福祉の		
		考え方、支援のあり方について					
授業	 の到達目標		て歴史的な経緯か	ら学び			
	習成果〕	づく生活支援としての介護福祉					
()					日本介護福祉士会)について説明		
		できる。	"貝笏、よた、冊柱	·神·[史(F			
		0	ラ切 しの気中はしははアランシナスト級・サンチュロ (477) 「一 (477) 」「「一 (477) 」」「「一 (477) 」「「一 (477) 」「「一 (477) 」」「「「一 (477) 」」「「一 (477) 」「「一 (477) 」」「「一 (477) 」「「一 (477) 」」「「「一 (477) 」」」「「「一 (477) 」」「「「一 (477) 」」」「「「一 (477) 」」「「「一 (477) 」」」「「「一 (477) 」」「「「一 (477) 」」」「「「一 (477) 」」「「「一 (477) 」」」「「「一 (477) 」」」「「「一 (477) 」」」「「「「 (477) 」」」「「「「 (477) 」」」「「「 (477) 」」」「「「 (477) 」」」「「「 (477) 」」「「「 (477) 」」」「「「 (477) 」」」「「「 (477) 」」」「「 (477) 」」「「 (477) 」」」「「 (477) 」」「「 (477) 」」「「 (477) 」」「「 (477) 」」「「 (477) 」」「「 (477) 」」「「 (477) 」」「「 (477) 」」「「 (477) 」」」「「 (477) 」」「「 (477) 」」「「 (477) 」」「「 (477) 」」「「 (477) 」」「「 (477) 」」「「 (477) 」」」「「 (477) 」」」「「 (477) 」」「「 (477) 」」「「 (477) 」」「「 (477) 」」「「 (477) 」」「「 (477) 」」「「 (477) 」」「「 (477) 」」「「 (477) 」」」「「 (477) 」」「「 (477) 」」」「「 (477) 」」「「 (477) 」」「「 (477) 」」「「 (477) 」」「「 (477) 」」「「 (477) 」」」「「 (477) 」」「「 (477) 」」「「 (477) 」」「「 (477) 」」「「 (477) 」」				
			福祉士の役割と地域における機能を理解し、利用者主体の				
		介護実践のあり方について説明	明できる。 T				
授	業計画)の具体的な内容及び必要時間		
1	介護福祉とは何				色囲を読んでおく(60分)		
	介護の成り立ち 演習(視聴覚学習	(廣藤)			学習プリントに記入する(60分) 随囲を読んでおく(60分)		
2	介護福祉の現場		事後:配布した資料を読み自分の考えを記入する(60分)				
3		(1)1970年代・1980年代	事前:テキストの指定範囲を読んでおく(60分)				
	(廣藤)				学習プリントに記入する(60 分)		
4	 介護概念の変遷		一事的・ノイハトの	/1日/疋期			
	/ · /// / / / / / / / / / / / / / / / /	(2)1990 年代 () () () ()	事後:テキストを	参考に	色囲を読んでおく(60分)		
		(2) 1990 年代 (廣藤)					
	A att lim A o atvas		確認テスト 事前:テキストの	·の準備)指定範	道囲を読んでおく(60分) 二学習プリントに記入する 情 (60分) 道囲を読んでおく		
5	介護概念の変遷	(3) 2000 年以降 (廣藤)	確認テスト 事前: テキストの 確認テスト	の準備 指定範 の準備	施囲を読んでおく(60分) 二学習プリントに記入する 情 (60分) 施囲を読んでおく 情 (60分)		
5		(3) 2000 年以降 (廣藤)	確認テスト 事前: テキストの 確認テスト 事後: テキストを	の準備 指定範 の準備 参考に	道囲を読んでおく(60分) 二学習プリントに記入する 情 (60分) 道囲を読んでおく 情 (60分) 学習プリントに記入する(60分)		
5	演習(グループワ	(3) 2000 年以降 (廣藤) 'ーク)	確認テスト 事前:テキストの 確認テスト 事後:テキストを 事前:配布されて	か 指定 新 お き 者 に い る き れ る き れ る と り れ る り る り る り る り る り る り る り る り る り	施囲を読んでおく(60分) 二学習プリントに記入する 情 (60分) 施囲を読んでおく 情 (60分)		
	演習(グループワ	(3) 2000 年以降 (廣藤)	確認テスト 事前:テキストの 確認テスト 事後:テキストを 事前:配布されて 事後:配布した資 記入する(60	·の準備 指定範 の考に 参考に 料を読 O分)	施囲を読んでおく(60分)		
	演習(グループワ	(3) 2000 年以降 (廣藤) プーク) の理解と対応策の考察(廣藤)	確認テスト 事前:テキストの 確認テスト 事後:テキストを 事前:配布されて 事後:配布した資 記入する(60	の準備 指定 の 参考に いる き いる 説 り 分 り り 分 う に り り り り り り り り り り り り り り り り り り	施囲を読んでおく(60分)		
6	演習(グループワ 介護問題の現状	(3) 2000 年以降 (廣藤) 'ーク) の理解と対応策の考察(廣藤) 理念について (廣藤)	確認テスト 事前:テキストの 確認テスト 事後:テキストを 事前:配布されて 事後:配布した資 記入する(60 事前:テキストの 事後:テキストの	の準備 指定準備 の考に い を う り 治 に 関 う う う う う う う う う う う う う う う う う う	施囲を読んでおく(60分)		
6	演習(グループワ 介護問題の現状 介護福祉の基本 演習(視聴覚学 尊厳を支える介	(3) 2000 年以降 (廣藤) 'ーク) の理解と対応策の考察(廣藤) 理念について (廣藤) 習) 護福祉とは何か (廣藤)	確認テスト 事前:テキストの 確認テスト 事後:テキストを 事前:配布されて 事後:配布した資 記入する(60 事前:テキストの 事後:テキストを 事前:テキストを 事前:テキストを	の準備の準備の準定準に対して、料のを対して、対して、対して、対して、対して、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、	施囲を読んでおく(60分)		
6	演習(グループワ 介護問題の現状 介護福祉の基本 演習(視聴覚学 尊厳を支える介 演習(視聴覚学	(3) 2000 年以降 (廣藤) (7-ク) の理解と対応策の考察(廣藤) 理念について (廣藤) 習) 護福祉とは何か (廣藤)	確認テスト 事前: テキストの 確認テスト 事後: テキストを 事前: 配布されて 事後:配布した資 記入する(6) 事前: テキストの 事後: テキストを 事前: テキストの 事後: テキストの	の指の参い料の指参指参指の参い料の指数を対象を対象を対象を対象を対象を対象に重に重に重に重に重に重に重に重に重に重に重に重に重に重に重に重に重に重に重	施囲を読んでおく(60分)		
6 7 8	演習(グループワ 介護問題の現状 介護福祉の基本 演習(視聴覚学 尊厳を支える介	(3) 2000 年以降 (廣藤) (7-ク) の理解と対応策の考察(廣藤) 理念について (廣藤) 習) 護福祉とは何か (廣藤)	確認テスト 事前: テキストの 確認テスト 事後: テキストを 事前: 配布した資 記入する(60 事前: テキストの 事後: テキストの 事後: テキストの 事後: テキストの 事後: テキストの 事後: テキストの	の指の参い料の指参指参指参い料の指表を対して、対して、対して、対して、対して、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、	施囲を読んでおく(60分) 「学習プリントに記入する情 (60分) 施囲を読んでおく情 (60分) 芝習プリントに記入する(60分) 学習プリントに記入する(60分) 関連資料を読んでおく(60分) み学習プリントに自分の考えを 施囲を読んでおく(60分) 学習プリントに記入する(60分) 逆囲を読んでおく(60分) 施囲を読んでおく(60分) 逆囲を読んでおく(60分) 逆囲を読んでおく(60分)		
6 7 8 9	演習(グループワ 介護問題の現状 介護福祉の基本 演習(視聴覚学 尊厳を支える介 演習(視聴覚学 自立を支える介	(3) 2000 年以降 (廣藤) (7-ク) の理解と対応策の考察(廣藤) 理念について (廣藤) 習) 護福祉とは何か (廣藤)	確認テスト 事前: テキストの 確認テスト 事後: テキストを 事前: 配布した資 記入する(60 事前: テキストの 事後: テキストの 事後: テキストの 事後: テキストの 事後: テキストの 事後: テキストの	の指の参い料の指参指参指参い料の指表を対して、対して、対して、対して、対して、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、	施囲を読んでおく(60分)		
6 7 8	演習(グループワ 介護問題の現状 介護福祉の基本 演習(視聴覚学 尊厳を支える介 演習(視聴覚学 自立を支える介 演習(事例検討)	(3) 2000 年以降 (廣藤) (7-ク) の理解と対応策の考察(廣藤) 理念について (廣藤) 習) 護福祉とは何か (廣藤)	確認テスト 事前: テキストを 事後: テキストを 事前: 配布した資 記入する(60 事前: テキストを 事前: テキストを 事前: テキストを 事前: テキストを 事前: テキストを 事前: テキストを 事前: かる。	の指の参い料の指参指参指参い準定準考るを分定考定考定考えるの。	施囲を読んでおく(60分) 「学習プリントに記入する情 (60分) 「歯囲を読んでおく情 (60分) 「歯囲を読んでおく(60分) 「学習プリントに記入する(60分) 「事資料を読んでおく(60分) 「み学習プリントに自分の考えを (60分) 「学習プリントに記入する(60分) 「夢習プリントに記入する(60分) 「世野プリントに記入する(60分) 「歯囲を読んでおく (60分) 「夢習プリントに記入する(60分) 「夢習プリントに記入する(60分) 「夢習プリントに記入する(60分)		

	演習(グループワーク)		事前:配布されている事例資料を読み、自分の考えを まとめる (60分)
11	利用者主体に向けた課題	(廣藤)	事後:学習プリントに事例内容のまとめを記入する(60分)
	介護福祉士の役割と機能(1)		事前: テキストの指定範囲を読んでおく (60 分)
12	地域包括ケアシステム	(廣藤)	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する(60分)
	介護福祉士の役割と機能 (2)		事前: テキストの指定範囲を読んでおく (60分)
13	月 漫価性エグ役割と機能 (2) 介護予防 医療的ケア	(廣藤)	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する
	万 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2	()风(水)	確認テストの準備 (60 分)
1.4	介護福祉士の役割と機能(3)		事前: テキストの指定範囲を読んでおく (60分)
14	人生の最終段階の支援 災害時の支援	(廣藤)	事後: テキストを参考に学習プリントに記入する 確認テストの準備 (60分)
			事前: テキストの指定範囲を読んでおく (60分)
15	社会福祉士及び介護福祉士法の概要	(廣藤)	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する(60分)
16	介護福祉士の義務規定	(底茲)	事前: テキストの指定範囲を読んでおく (60分)
16	刀 護僧似工 少 義	(廣藤)	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する(60分)
17	演習(確認作業)	(. I . 	事前:確認テストの範囲を復習する (60分)
	介護福祉士の業務と義務	(廣藤)	事後:確認テストを見直し内容を理解する (60分)
18	介護福祉士養成教育の変遷	(廣藤)	事前: テキストの指定範囲を読んでおく (60分)
	介護福祉現場における役割の変遷と期		事後: テキストを参考に学習プリントに記入する(60分) 事前: テキストの指定範囲を読んでおく (60分)
19	(廣藤)	i,i	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する(60分)
	チームリーダーとしての介護福祉士	の役割	事前: テキストの指定範囲を読んでおく (60分)
20	(廣藤)		事後:テキストを参考に学習プリントに記入する(60分)
21	職能団体について	(廣藤)	事前: テキストの指定範囲を読んでおく (60分)
41		() () () ()	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する(60分)
22	介護福祉士を支える団体(1)	(p-t-a -+t-a \	事前: テキストの指定範囲を読んでおく (60 分)
	日本介護福祉士会 介護福祉士を支える団体 (2)	(廣藤)	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する(60分)
23	月		事前: テキストの指定範囲を読んでおく (60分)
20	日本介護福祉教育学会	(廣藤)	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する(60分)
0.4		(唐茲)	事前: テキストの指定範囲を読んでおく (60分)
24	倫理綱領(日本介護福祉士会) の理解	(廣藤)	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する(60分)
			事前:テキストの指定範囲を読んでおく
25	介護実践における倫理	(廣藤)	確認テストの準備 (60分)
			事後: テキストを参考に学習プリントに記入する(60分) 事前: テキストの指定範囲を読んでおく (60分)
26	倫理的判断と介護福祉士の対応	(廣藤)	事前: テキストの指定範囲を読んでおく (60 分) 事後: テキストを参考に学習プリントに記入する(60 分)
			事前:配布されている事例資料を読み、自分の考えを
0.7	演習(事例検討)		まとめる (60分)
27	倫理的介護実践のあり方	(廣藤)	事後:学習プリントに事例内容のまとめを記入する(60
			分)
	>+¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬¬		事前:配布されている事例資料を読み、自分の考えを
28	演習(グループワーク) 倫理的介護実践の方法	(底茲)	まとめる (60分) 東後、学習プリントに東側内容のましめな記しまる(60
	無连的	(廣藤)	事後:学習プリントに事例内容のまとめを記入する(60 分)
		/ <u></u>	カ) 事前: テキストの指定範囲を読んでおく (60 分)
29	自立支援とは何か	(廣藤)	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する(60分)
30	自立支援の考え方	(田中)	事前: テキストの指定範囲を読んでおく (60分)
30	ロエス版ツカん刀	(ШТ)	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する(60分)
	Complete to See Lift Aland Steen	(m !)	事前: テキストの指定範囲を読んでおく (60分)
31	ICF(国際生活機能分類)について	(田中)	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する
-			確認テストの準備 (60 分)
32	演習(視聴覚学習)		事前:テキストと事例資料を読み発表に向けた資料を
		-	

	介護福祉におけるICFのとらえ方	(田中)	作成する 小テストの準備 (60分)
			事後:テキストと事例資料を読み発表に向けた資料を
			作成する (60分)
	演習(事例検討と発表)		事前:発表に向けた資料の準備をしておく (60分)
33	ICFから考える個人と生活ニーズ	(田中)	事後:学習プリントに事例内容のまとめを記入する(60
	101からちんる個人と生情ー ハ	(田丁)	分)
34	ICFとストレングスの理解	(田中)	事前: テキストの指定範囲を読んでおく (60分)
54	1012ハトレンノハの建構	(田干)	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する(60分)
			事前:配布されている事例資料を読み、自分の考えを
35	演習(グループワーク)		まとめる (60分)
30	高齢者のストレングス	(田中)	事後:学習プリントに事例内容のまとめを記入する(60
			分)
36	リハビリテーションとは何か	(田中)	事前: テキストの指定範囲を読んでおく (60分)
50	ラ/(こう/ ション C (4)円が	(ШТ)	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する(60分)
37	リハビリテーションの実際	(田中)	事前: テキストの指定範囲を読んでおく (60分)
37	リハヒリケーションの夫除	(田中)	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する(60分)
38	自立の支援とリハビリテーション	(田中)	事前:テキストの指定範囲を読んでおく (60分)
36	日立の文抜とサバビサブ・フョン	(田中)	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する(60分)
39	演習(確認作業)		事前:確認テストの範囲を復習する (60分)
39	リハビリテーションの目的と役割	(田中)	事後:確認テストを見直し内容を理解する (60分)
40	介護予防の重要性	(田中)	事前: テキストの指定範囲を読んでおく (60分)
40	月晚了例》里安压	(田干)	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する(60分)
			事前: テキストの指定範囲を読んでおく (60分)
41	介護予防の種類と特徴	(田中)	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する
			確認テストの準備 (60分)
			事前:配布資料を読み、内容を理解しておく
42	介護予防の実際	(田中)	確認テストの準備 (60分)
			事後:アクティビティ実践に向けた準備をする (60分)
	演習(実践)		事前:アクティビティ実践に向けた準備をする (60分)
43	陳	(田中)	事後:演習の振り返り、評価について学習プリントに
	川暖「炒グノクノイモノイ	(田丁)	記入する (60分)
	海羽(1來到作業)		事前:確認テストに向けて内容の総復習をしておく(60
44	演習(確認作業) まとめレポートの作成(1)	(田中)	分)
	よこめレかっ トッ作成(1)	(田円)	事後:確認テストを見直し内容を理解する (60分)
	演習(確認作業)	<u></u>	事前:確認テストに向けて内容の総復習をしておく(60
45	- 興音(確認作業) - まとめレポートの作成(2)	(廣藤)	分)
	よこのレかっ FVJTFRX(2)	()更쨞/	事後:確認テストを見直し内容を理解する (60分)

- ・学習プリントを配布しますのでテキストを参考にして事前・事後学習として各自取り組んでください。
- ・随時、内容確認のためのテストを実施します。予習と復習を心掛けてください。
- ・介護福祉に関するニュースや文献を意識し、多くの情報を取得するようにしてください。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	提出物	授業への取り組み姿勢	
70%	20%	10%	

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
「最新 介護福祉士養成講座 3 介 護の基本 I 」 (第 2 版)	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版
「見て覚える!介護福祉士国試ナ ビ 2023」	いとう総研資格取得支援センター	中央法規出版

参考書又は参考資料等

「クエスチョン・バンク 介護福祉士国家試験問題解説 2024」

その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

- ・レポート、課題、確認テストは期日までに提出してください。授業の解説後に返却します。
- ・授業ファイルは適宜提出です。授業資料や課題、レポートのファイリングを心掛けてください。

担当教員 E-mail	その他
hirofuji@hcc.ac.jp t.fumi@hcc.ac.jp	

授 業 科	目 名	介護の基本Ⅱ				
担当	者名	田中 文佳、廣藤 智之	実 務 🦠	家 教	員	0
科目コ	— к	2500003	授業	形	態	演習
学	年	1	開	構	期	後期
単 位	数	4	履		修	介護福祉士必修
ナンバリ	リング	DP1-1-B				
授業の概要	 と方法	利用者の生活を支える仕組み	上地域包括·	ケアシ	ステム	の機能について学習する。また、
〔実務家教	損につい	保健・医療・福祉の多職種連携	の重要性と	チーム	アプロ	コーチに必要なコミュニケーショ
ての特記事	項含む〕	ン方法について学ぶ。利用者の	安全確保の	つための	リスク	ウマネジメントの具体的方法や感
		染症対策、介護職自身の健康管	管理、労働 導	環境のあ	らり方に	こついても理解を深める。講義と
		ともに、グループワーク演習や	学外演習等	等に取り	(組み)	ながら専門的知識を習得する。介
		護福祉士として現場で培った約	圣験をもとし	に、リス	クマン	ネジメントの実際や介護職の労働
		環境等について分かりやすく	数示してい	<。		
授業の到達	目標	1. 介護保険制度の理念及び各	·種サービス	くの内容 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	、地址	或包括ケアシステムについて説明
〔学習成果〕)	できる。				
		2. 介護サービス提供時におけ	る利用者の安全確保とリスクマネジメント、感染症対策			
等に関する基礎的知識を習得し			アルフ			
3. 介護福祉職の健康管理と労			している。			
			_	女善につ	いて旨	留意できる。
授業	計 画		働環境の改			留意できる。 等) の具体的な内容及び必要時間
1 私たt	計 画 ちの生活の の構造的理	 介護福祉職の健康管理と労 理解(1) 	動環境の改 準備学習 事前:テ	(予習・	復習 の指定	等) の具体的な内容及び必要時間 範囲を読んでおく(60分)
1 私たり 生活の 私たり	ちの生活の の構造的理 ちの生活の	3. 介護福祉職の健康管理と労 理解(1) 解 (廣藤) 理解(2)	働環境の改 準備学習 事前:テキ 事後:テキ	(予習・ キストの テストを	復習 か指定 ・参考(等) の具体的な内容及び必要時間 範囲を読んでおく(60分) こ学習プリントに記入する(60分)
1 私たt 生活の 私たt 2 演習(ちの生活の の構造的理 ちの生活の グループワ	3. 介護福祉職の健康管理と労理解(1)解(廣藤)理解(2)	働環境の改 準備学習 事前:テキ 事後:テキ	(予習・ キストの キストを キストの	復習 ②指定 ·参考(②指定	等) の具体的な内容及び必要時間 範囲を読んでおく(60分)
1 私たt 生活の 私たt 2 演習(生活の	ちの生活の の構造的理 ちの生活の	3. 介護福祉職の健康管理と労理解(1)解(廣藤)理解(2)ソーク) する討議(廣藤)	働環境の改 準備学習 事前:テキ 事後:テキ 事後:テキ	(予習・ キストの テストを キストの テストを	復習 の指定 が参考に の指定 が参考に	等) の具体的な内容及び必要時間 範囲を読んでおく(60分) こ学習プリントに記入する(60分) 範囲を読んでおく(60分)
1 私たな 生活の 私たな 2 演習(生活の 3 私たな 高齢者	ちの生活の の構造的理 ちの生活の グループワ の違いに関 ちの生活の 者の生活を	3. 介護福祉職の健康管理と労 理解(1) 解 (廣藤) 理解(2) ソーク) する討議 (廣藤) 理解(3) 支える視点 (廣藤)	働環境の改 準備学習 事前:テキ 事後:テキ 事後:テキ 事前:テキ 事後:テキ	(予習・ キストを キストを キストを キストを キストを	復習 D指表 D指表 D指表 D指表 D指表 D指表	等) の具体的な内容及び必要時間 範囲を読んでおく(60分) こ学習プリントに記入する(60分) 範囲を読んでおく(60分) こ学習プリントに記入する(60分) 範囲を読んでおく(60分)
1 私たt 生活の 私たt 2 演習(生活の 3 私たt 高齢者	ちの生活の の構造的理 ちの生活の グループワ の違いに関 ちの生活の 者の生活を ちの生活の	3. 介護福祉職の健康管理と労 理解(1) 解 (廣藤) 理解(2) アーク) する討議 (廣藤) 理解(3) 支える視点 (廣藤) 理解(4)	働環境の改 準備学習 事前:テキ 事後:テキ 事前:テキ 事前:テキ	(予習・ キストを キストを キストを キストを キストを キストを	復習 力指定 力指考 力指考 力指考 力指考 力指考 力指考 力 力 力 力 力 力 力 力 力	等) の具体的な内容及び必要時間 範囲を読んでおく(60分) こ学習プリントに記入する(60分) 範囲を読んでおく(60分) こ学習プリントに記入する(60分) 範囲を読んでおく(60分) で学習プリントに記入する(60分)
1 私たな 生活の 私たな 2 演習(生活の 3 高齢な 4 障害の	ちの生活の 力構造的理 ちの生活の グループリ 力違いに関 ちの生活の 者の生活を ちの生活の ちのま方々	3. 介護福祉職の健康管理と労 理解(1) 解 (廣藤) 理解(2) ソーク) する討議 (廣藤) 理解(3) 支える視点 (廣藤)	働環境の改準備学習事前:テキ事後:テキ事後:テキ事後:テキ事後:テキ	(予習・ キストを キストを キストを キストを キストを キストを	復習: ②指定者 の指考 の指考 の指考 に参指表 のお考え のお考え のおきる。 のまる。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の	等) の具体的な内容及び必要時間 範囲を読んでおく(60分) こ学習プリントに記入する(60分) 範囲を読んでおく(60分) こ学習プリントに記入する(60分) 範囲を読んでおく(60分)
1 私たな 生活の 私演生活の 3 富利を 4 下海 5	ちの生活の の構造的理 がループリアの生活の をの生活が のの生活が のの生活が のの生活が ののといるが ののとなるが ののは、 の。 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 ののは、 の。 のの。 の。 ののは、 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。	3. 介護福祉職の健康管理と労 理解(1) 解 (廣藤) 理解(2) アーク) する討議 (廣藤) 理解(3) 支える視点 (廣藤) 理解(4) の生活を支える視点 (廣藤) 」と「生活ニーズ」の理解(1)	働環境の改 準備学習 事後:テキ 事後:テキ 事後:テキ 事後:テキ 事後:テキ 事後:テキ 事後:テキ 事後:テキ	(予習・キストをキストをキストをキストをキストをキストを	復習 の指考 の指考 に参 指考に を指考に を に を に を に を に を に を に を に に を に に に に に に に に に に に に に	等) の具体的な内容及び必要時間 範囲を読んでおく(60分) こ学習プリントに記入する(60分) 範囲を読んでおく(60分) ご学習プリントに記入する(60分) 範囲を読んでおく(60分) ご学習プリントに記入する(60分) 範囲を読んでおく(60分) で学習プリントに記入する(60分) で学習プリントに記入する(60分)
1 私たな 生活の 私たな 2 損活の 3 高い 4 障害その 5 自己	ちの生活の の構造性の がようでは がようでは がなりで がなりで がない がない がない がない がない がない がない がない がない がない	3. 介護福祉職の健康管理と労 理解(1) 解 (廣藤) 理解(2) ワーク) する討議 (廣藤) 理解(3) 支える視点 (廣藤) 理解(4) の生活を支える視点 (廣藤)	働環境の改 事構学習 事事後:テテキ 事後:デテキ 事後:デテキ 事後:デテキ (60分) 事後:	(予習・キストをキストをキストをキストをキストをキストを	復習 の指考 の指考 に参 指考に を指考に を に を に を に を に を に を に を に に を に に に に に に に に に に に に に	等) の具体的な内容及び必要時間 範囲を読んでおく(60分) こ学習プリントに記入する(60分) 範囲を読んでおく(60分) こ学習プリントに記入する(60分) 範囲を読んでおく(60分) こ学習プリントに記入する(60分) 範囲を読んでおく(60分)
1 私たな 生活の 2 私海習(2 私海 3 高私に 3 高私に 6 下演自 (5 による)	ちの生活の 関係を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	3. 介護福祉職の健康管理と労 理解(1)解 (廣藤) 理解(2) ワーク) する討議 (廣藤) 理解(3) 支える視点 (廣藤) 理解(4) の生活を支える視点 (廣藤) 」と「生活ニーズ」の理解(1) 人らしさ」と「自分らしさ」	 働環境の改 事事場 事事後 前後 デララック 事後 前後 前分 (60分) 事前 (60分) (60分) 	(予習・ キストを キストを キストを キストを キストを カントを カントを カントを カントを カントを カントを カントを カン	復習に参加を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	等) の具体的な内容及び必要時間 範囲を読んでおく(60分) こ学習プリントに記入する(60分) 範囲を読んでおく(60分) ご学習プリントに記入する(60分) 範囲を読んでおく(60分) ご学習プリントに記入する(60分) 範囲を読んでおく(60分) で学習プリントに記入する(60分) で学習プリントに記入する(60分)
1 私たな 生活を 2 私演性 3 高れた 4 障子の 5 有 百 所 「その	ちの生活の 関係を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	3. 介護福祉職の健康管理と労 理解(1)解 (廣藤)理解(2)プーク)する討議 (廣藤)理解(3)支える視点 (廣藤)理解(4)の生活を支える視点 (廣藤)」と「生活ニーズ」の理解(1)人らしさ」と「自分らしさ」	働環境の 事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事後 前後:テテキョットの 第60後の 第60分) 第60分)	(予習・キストをキストをキストを) キストを アストーストーストーストーストーストーストーストーストーストーストーストーストース	復習に参り参りを記念いという。 ではまり、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	等) の具体的な内容及び必要時間 範囲を読んでおく(60分) こ学習プリントに記入する(60分) 範囲を読んでおく(60分) ご学習プリントに記入する(60分) 範囲を読んでおく(60分) ご学習プリントに記入する(60分) 範囲を読んでおく(60分) で学習プリントに記入する(60分) 資料を読み、内容を理解しておく 演習のまとめと感想を記入する
1 私法 1 私法 2 私演生 3 高利 4 本 5 有 6 演習(6 演習(たの性がある。 からの との との との との との との のの のの のの のの との との のの の	3. 介護福祉職の健康管理と労 理解(1)解 (廣藤)理解(2)プーク)する討議 (廣藤)理解(3)支える視点 (廣藤)理解(4)の生活を支える視点 (廣藤)」と「生活ニーズ」の理解(1)人らしさ」と「自分らしさ」	働環境の 事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事後 前後:テテキョットの 第60後の 第60分) 第60分)	(予習・キストをキストをキストを) キストを アストーストーストーストーストーストーストーストーストーストーストーストーストース	復習に参り参りを記念いという。 ではまり、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	等) の具体的な内容及び必要時間 範囲を読んでおく(60分) こ学習プリントに記入する(60分) 範囲を読んでおく(60分) こ学習プリントに記入する(60分) 範囲を読んでおく(60分) こ学習プリントに記入する(60分) 範囲を読んでおく(60分) で学習プリントに記入する(60分) 質料を読み、内容を理解しておく ・演習のまとめと感想を記入する
1 私たちなり 私たちなり 私たちなり 1 本を持ちない	らの性にある。 の構のようでは、 の構のようでは、 ののののののののののである。 ので関のをのでは、 ので関のをのできますが、 ので関いをのできますが、 ので関いをのできますが、 ので関いますが、 のでは、	3. 介護福祉職の健康管理と労 理解(1) (廣藤) 理解(2) (クーク) する討議 (廣藤) (廣藤) 理解(3) 支える視点 (廣藤) 理解(4) の生活を支える視点 (廣藤) 」と「生活ニーズ」の理解(1) 人らしさ」と「自分らしさ」 」と「自分らしさ」(2)	 動環境学習 事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事 (60 事のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	(予習・キストを) キストを トーキスト トート・トート アンススススト アンカー アンカー アンカー アンカー アンカー アンカー アンカー アンカー	復習を対象がある。というでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	等)の具体的な内容及び必要時間 範囲を読んでおく(60分) こ学習プリントに記入する(60分) 範囲を読んでおく(60分) ご学習プリントに記入する(60分) 範囲を読んでおく(60分) こ学習プリントに記入する(60分) 範囲を読んでおく(60分) ご学習プリントに記入する(60分) 資料を読み、内容を理解しておく 演習のまとめと感想を記入する 資料を読み、内容を理解しておく 演習のまとめと感想を記入する
1 私生 私 は は な は な は な は な は な は な は な は な は な	ちのちがからずらのの(覚蓁の視しのがない。 大変のののあん作知 人聴相 らんのの理ので関のをのを美「しまずは、しまでは、いったの理ので関のをのすさいの さぎと こうじん しきょうしん しきょうしん しきょうしん いんしょう しょく しょうしん しょく しょうしん はいい しょうしん はいいい しょうしん はいいい はいいい はいいい はいいい はいいい はいいい はいいい はい	3. 介護福祉職の健康管理と労 理解(1) (廣藤) 理解(2) (万夕) する討議 (廣藤) 理解(3) (廣藤) 理解(4) (廣藤) 」と「生活ニーズ」の理解(1) 人らしさ」と「自分らしさ」 」と「自分らしさ」(2) 受容について (廣藤) 」と「自分らしさ」(3)	 動環境 事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事	(予習・キストを) キストトトトトトト で プーカー で プーカー かっこう プーカー リーカー かんしゅう かんしゅん かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅん しんしん かんしん しんしん し	復習 定参 1参 1参 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を	等)の具体的な内容及び必要時間 範囲を読んでおく(60分) こ学習プリントに記入する(60分) 範囲を読んでおく(60分) ご学習プリントに記入する(60分) 範囲を読んでおく(60分) こ学習プリントに記入する(60分) 範囲を読んでおく(60分) ご学習プリントに記入する(60分) 資料を読み、内容を理解しておく 演習のまとめと感想を記入する 資料を読み、内容を理解しておく 演習のまとめと感想を記入する

(廣藤)

(廣藤)

「その人らしさ」を理解する(4)

「その人らしさ」を支える介護(1)

大正・昭和の社会背景の理解

利用者の心を支える専門性

演習(視聴覚学習)

事前: テキストの指定範囲を読んでおく(60分)

事前:テキストの指定範囲を読んでおく(60分)

事後:テキストを参考に学習プリントに記入する (60

事後:テキストを参考に学習プリントに記入する(60分)

			ませ 取せい インス 本屋 次回さまる カハのサンチ
	「その人らしさ」を支える介護(2)		事前:配布されている事例資料を読み、自分の考えを
10	演習(事例検討)		まとめる(60分) 事後:学習プリントに演習のまとめと感想を記入する
	多様な生き方を受容する(廣源	機)	(60分)
	演習(フィールドワーク)		事前: 資料を読み研修の準備をする (60分)
11	国際福祉機器展の視察 (田中		事後:学習プリントに視察のレポートを書く(60分)
12	演習(フィールドワーク)		事前: 資料を読み、研修の準備をする (60分)
12	国際福祉機器展の視察(田・		事後:学習プリントに視察のレポートを書く(60分)
	介護保険制度の理解(1)		事前: テキストの指定範囲を読んでおく(60分)
13	制度の概要 国・都道府県・市町村の機能		事後:テキストを参考に学習プリントに記入する
	(田中)		確認テストの準備(60分) 事前: テキストの指定範囲を読んでおく
	介護保険制度の理解(2)		確認テストの準備(60 分)
14	介護保険施設 (田)	中)	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する
	71 IZVNIJOGIJA	' /	確認テストの準備(60分)
			事前:テキストの指定範囲を読んでおく
15	介護保険制度の理解(3)		確認テストの準備(60分)
10	居宅サービス (田・	中)	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する
			確認テストの準備(60分)
	<u> </u>		事前:テキストの指定範囲を読んでおく
16	介護保険制度の理解(4) 地域密着型サービス (田)	н)	確認テストの準備(60分) 事後:テキストを参考に学習プリントに記入する
	地域密着型サービス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	十)	確認テストの準備(60分)
			事前:テキストの指定範囲を読んでおく
	介護保険制度の理解 (5)		確認テストの準備 (60分)
17	地域支援事業 (田)	中)	事後: テキストを参考に学習プリントに記入する
			確認テストの準備(60分)
			事前:テキストの指定範囲を読んでおく(60分)
18	介護保険制度の理解(6)		確認テストの準備
	地域包括ケアシステム(田・	屮)	事後:テキストを参考に学習プリントに記入し、内容をまためておく(60人)
	演習(確認作業)		まとめておく(60分)
19	介護保険制度の理解		事前:確認テストの範囲を復習する (60分)
	まとめレポートの作成 (田)	中)	事後:確認テストを見直し内容を理解する (60分)
	陪宝老公会士極壮の珊観 (1)		事前:テキストの指定範囲を読んでおく(60分)
20	障害者総合支援法の理解(1) 制度の概要 介護給付	山)	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する
	间及*/例及 月暖和日		確認テストの準備(60分)
			事前:テキストの指定範囲を読んでおく
21	障害者総合支援法の理解(2) 訓練等給付 地域支援事業 (田F	+1)	確認テストの準備(60分) 事後:テキストを参考に学習プリントに記入する
	訓練寺和竹 地域又拨事来 (田)	"	確認テストの準備(60分)
	演習(確認作業)		· · ·
22	障害者総合支援法の理解		事前:確認テストの範囲を復習する (60分)
	まとめレポートの作成 (田中	中)_	事後:確認テストを見直し内容を理解する(60分)
23	利用者の生活を支える地域社会 (田門	→ 1) 1	事前:テキストの指定範囲を読んでおく(60分)
20			事後:テキストを参考に学習プリントに記入する(60分)
24	インフォーマルサービスについて (田中	→) I	事前:テキストの指定範囲を読んでおく(60分)
	`		事後:テキストを参考に学習プリントに記入する(60分)
25	インフォーマルサービスの提供者と実際 (田中)		事前: テキストの指定範囲を読んでおく(60分) 事後: テキストを参考に学習プリントに記入する(60分)
	(H-17)		事前:テキストの指定範囲を読んでおく(60分)
26	地域連携の意義と目的(廣原)		事後:テキストを参考に学習プリントに記入する (60
			分)
27	地域連携に関わる機関の理解 (廣原)		事前:テキストの指定範囲を読んでおく (60 分)
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	14/	1 Ha · V · I · V I I · V I I / C POPUL C POPUL C (NO V (OO M))

		事後:テキストを参考に学習プリントに記入する
		確認テストの準備 (60分) 事前:配布されている資料を読み、演習の準備をしてお
28	演習(フィールドワーク)	〈(60分)
	利用者を取り巻く地域連携の実際① (廣藤)	事後:学習プリントに演習内容のまとめを記入する(60 分)
		事前:配布されている資料を読み、演習の準備をしてお
29	演習(フィールドワーク)	〈(60分)
	利用者を取り巻く地域連携の実際② (廣藤)	事後:学習プリントに演習内容のまとめと感想を記入する(60分)
30	介護実践における多職種連携(1)	事前:テキストの指定範囲を読んでおく(60分)
50	連携・協働の必要性(廣藤)	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する(60分)
31	介護実践における多職種連携(2) 保健、福祉、医療に関連する行政機関の機能	事前:テキストの指定範囲を読んでおく(60分)
01	の理解 (廣藤)	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する(60分)
32	介護における安全の確保(1)	事前:テキストの指定範囲を読んでおく(60分)
	リスクマネジメントについて (廣藤) 介護における安全の確保 (2)	事後: テキストを参考に学習プリントに記入する(60分) 事前: ヒヤリハットの事例をまとめておく (60分)
33	演習(事例発表)	事後:学習プリントに事例発表のまとめと感想を記入す
	介護実習中のヒヤリハット (廣藤)	る(60分)
34	介護における安全の確保(3) インシデントの対応と報告 (廣藤)	事前: テキストの指定範囲を読んでおく(60分) 事後: テキストを参考に学習プリントに記入する(60分)
		事前:テキストの指定範囲を読んでおく(60分)
35	介護における安全の確保(4) アクシデントの対応と報告 (廣藤)	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する
		確認テストの準備 (60 分) 事前: テキストの指定範囲を読んでおく
36	介護における安全の確保(5)	確認テストの準備(60分)
	生活の中のリスクと対策 (廣藤)	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する(60分)
37	感染管理のための方策(1) 高齢者介護施設における基本的な感染対策	事前:テキストの指定範囲を読んでおく(60分)
31	(廣藤)	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する(60分)
	感染管理のための方策(2)	事前:テキストの指定範囲を読んでおく(60分)
38	感染対策の基礎知識 感染源と感染経路 (廣藤)	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する(60分)
	感染管理のための方策(3)	事前・テキフトの化学築田も書)でかノ(60 /\)
39	集団感染をおこす感染症種別と対応 発生時	事前: テキストの指定範囲を読んでおく(60分) 事後: テキストを参考に学習プリントに記入する(60分)
	の届け出(廣藤)	事前:配布されている資料を読み、演習の準備をしてお
40	感染管理のための方策(4) 演習 (実践)	(60分)
40	手洗いの実施(廣藤)	事後:学習プリントに演習内容のまとめと感想を記入す
	演習(確認作業)	る(60分)
41	安全確保・感染管理の対策の理解	事前:確認テストに向けて内容の復習をしておく(60分) 事後:確認テストを見直し内容を理解する(60分)
	まとめレポートの作成 (廣藤)	` '
42	介護に携わる人の健康管理(1) こころとからだの健康管理 (廣藤)	事前: テキストの指定範囲を読んでおく(60分) 事後: テキストを参考に学習プリントに記入する(60分)
	介護に携わる人の健康管理(2)	事前:テキストの指定範囲を読んでおく(60分)
43	然え尽き症候群の理解と対応 (廣藤)	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する
		確認テストの準備 (60 分) 事前: テキストの指定範囲を読んでおく
44	安心して働ける環境づくり 介護労働者の労働環境と法制度 (廣藤)	確認テストの準備(60分)
		事後:テキストを参考に学習プリントに記入する(60分)
45	演習(確認作業) 介護の基本Ⅱの理解	事前:確認テストに向けて内容の総復習をしておく(60)分)
L	川啰ツ坐作=ツ牡肝	N1

まとめレポートの作成 (廣藤) 事後:確認テストを見直し内容を理解する(60分

- ・学習プリントを配布しますのでテキストを参考にして事前・事後学習として各自取り組んでください。
- ・随時、内容確認のための確認テストを実施します。予習と復習を心掛けてください。
- ・介護福祉に関するニュースや文献を意識し、多くの情報を取得するようにしてください。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	提出物	授業への取り組み姿勢	
70%	20%	10%	

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
「最新 介護福祉士養成講座 4 介護の基本Ⅱ」(第 2 版)	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版
「見て覚える!介護福祉士国試ナ ビ 2023」	いとう総研資格取得支援センター	中央法規出版

参考書又は参考資料等

「クエスチョン・バンク 介護福祉士国家試験問題解説 2024」

その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

- ・レポート、課題、確認テストは提出してください。授業の解説後に返却します。
- ・授業ファイルは適宜提出です。授業資料や課題、レポートのファイリングを心掛けてください。

担当教員 E-mail	その他
hirohuji@hcc.ac.jp t.fumi@hcc.ac.jp	

授	業科	目	名	コミュニケーション技術						
担	当	者	名	竹並 正宏	実	務	家	教	員	
科	目 コ	_	ド	2500004	授	業		形	態	演習
学			年	1	開		講		期	2023 年度 通年
崩	位		数	2	履				修	介護福祉士必修
ナン	ノバリ	リン	グ	DP1-1-C						
〔実ての	の概要 務家 事 到 成果	員に項含	つい	ョン技法についてより具体的に ションにおける意義と目的、記 にまとめる。 コミュニケーションをするの ョンの中心を常に利用者にお 通して生活を支援するという ーションとの関係を踏まえた。 ①介護技術の提供を通して生 望であるコミュニケーション	な記でい介か活と解す	解を保告 なか福り支関る	まず なるのある姿と	た絡・ のと門とが計	こ、相との性をうりに、多く、 ら切人得護いる	福祉士の専門性と人間の基本願いている。
授	業	計	画							等)の具体的な内容及び必要時間
1	コミニ	ュニク	ケーシ	ョンの意義とその原因	(4 事徒	5分) 後:キ	<u>— </u> ,	フート		したキーワードの意味を調べる。 いて理解した内容をアイデアノー
2	2 コミュニケーションの基本			事前: UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。 (45分) 事後:キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)						
3	利用者	首・3	家族と	の信頼関係の形成	事i (4 事i	前 : し 5 分) 後: キ	INIF	PA て	通知し	たキーワードの意味を調べる。 いて理解した内容をアイデアノー
4	1 利用者を深く理解するためのコミュニケーション技術		事前: UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。 (45分) 事後: キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)							
5	人間に携わるコミュニケーション願望と介護 の特性		事前: UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。 (45分) 事後: キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)							
6	生活ラョン	生活支援における介護技術とコミュニケーション			事前: UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。 (45分) 事後:キーワードを用いて理解した内容をアイデアノー					
			トにまとめる。(45 分) 事前: UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。							

(60分)

(60分)

トにまとめる。(60分)

事後:キーワードを用いて理解した内容をアイデアノー

事前:UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。

事後:キーワードを用いて理解した内容をアイデアノー

介護福祉士に求められるコミュニケーション

技術

話を聴く技法

		トにまとめる。(60分)
		事前:UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。
9	「事例」話を聴く技法	(60分)
	・予り」品で加く民間	事後:キーワードを用いて理解した内容をアイデアノー
		トにまとめる。(60分)
		事前: UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。 (60分)
10	感情表現を察する技法	(60 分) 事後:キーワードを用いて理解した内容をアイデアノー
		トにまとめる。(60分)
		事前: UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。
11	利用者の感情表現を察する技法	(60分)
11	不切に行う必用な元と来する民体	事後:キーワードを用いて理解した内容をアイデアノー
		トにまとめる。(60分)
		事前: UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。 (60分)
12	納得と同意を得る技法	(00 //) 事後:キーワードを用いて理解した内容をアイデアノー
		トにまとめる。(60分)
		事前:UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。
13	質問の技法	(60分)
10	Alm 小区内	事後:キーワードを用いて理解した内容をアイデアノー
		トにまとめる。(60分)
	相談・助言・指導の技法	事前: UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。 (60分)
14		もの ガナ
		トにまとめる。(60分)
	利用者とコミュニケーション	事前:UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。
15		(60分)
		事後:キーワードを用いて理解した内容をアイデアノー
		トにまとめる。(60分) 事前:UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。
	コミュニケーションの障害とその原因	(60 分)
16		事後:キーワードを用いて理解した内容をアイデアノー
		トにまとめる。(60分)
		事前:UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。
17	コミュニケーション障害の対応を考えるため の視点 コミュニケーション障害の対応の基本	(60分)
		事後:キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(60 分)
		下にまとめる。(60 分) 事前:UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。
		(60分)
18		事後:キーワードを用いて理解した内容をアイデアノー
		トにまとめる。(60分)
		事前:UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。
19	認知症に応じたコミュニケーション技術	(60分) 事後:キーワードを用いて理解した内容をアイデアノー
		事後: ヤーケートを用いて理解した内容をデオテテノー トにまとめる。(60分)
		事前:UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。
20	視力・聴力障害に応じたコミュニケーション 技術	(60 分)
20		事後:キーワードを用いて理解した内容をアイデアノー
		トにまとめる。(60分)
		事前:UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。
21	知的障害に応じたコミュニケーション技術	(60分) 事後:キーワードを用いて理解した内容をアイデアノー
		事後: ヤーソートを用いて理解した内容をデオテテノー トにまとめる。(60分)
		11-5-6-20 (00 1/1)

	精神障害に応じたコミュニケーション技術	事前: UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。 (60分)
22		、600 ガ/ 事後:キーワードを用いて理解した内容をアイデアノー
		予後、イータードを用いて建解した円谷をデイブテラー トにまとめる。(60分)
		事前:UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。
		新用: ONITA で通知したれ フェドの思外を調べる。 (60分)
23	チームのコミュニケーションとその方法	、(00 ガ) 事後:キーワードを用いて理解した内容をアイデアノー
		トにまとめる。(60分)
		事前:UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。
		(60分)
24	介護における記録の意義と目的	- 、
		トにまとめる。(60分)
		事前:UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。
		(60分)
25	記録の書き方と留意点	事後:キーワードを用いて理解した内容をアイデアノー
		トにまとめる。(60分)
	「報告」「連絡」「相談」の意義と目的	事前:UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。
0.0		(60分)
26		事後:キーワードを用いて理解した内容をアイデアノー
		トにまとめる。(60分)
		事前:UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。
27	「報告」「連絡」「相談」の具体的方法と留意	(60分)
41	点	事後:キーワードを用いて理解した内容をアイデアノー
		トにまとめる。(60分)
	会議の種類と運用	事前:UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。
28		(60分)
		事後:キーワードを用いて理解した内容をアイデアノー
		トにまとめる。(60分)
		事前:UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。
29	チームのコミュニケーションにおける会議の	(60分)
	必要性	事後:キーワードを用いて理解した内容をアイデアノー
		トにまとめる。(60分)
		事前:UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。
30	介護におけるコミュニケーションのまとめ	(60分)
	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	事後:キーワードを用いて理解した内容をアイデアノー
		トにまとめる。(60分)

介護福祉士がコミュニケーションを通してクライエントを支援しようとする時には、クライエントの疾病以外 も含めた生活全体を見渡す力を学習するため社会の諸問題に興味や関心を示す。コミュニケーション障害の理 解、傷害に応じたコミュニケーション技法について考え、適切にコミュニケーションを取ることができる。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	レポート	授業への取り組み姿勢	
50%	30%	20%	%

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
コミュニケーション技術	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規

参考書又は参考資料等

毎回、使用テキストのまとめのプリントを配布し重要点を記入して参考資料としていく。 視聴覚教育や KJ 法を使いながら、より具体的に進めていく。					
その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕					
コミュニケーションを通して、介護福祉士としての福	コミュニケーションを通して、介護福祉士としての福祉の向上に貢献することを要望する。				
担当教員の連絡先等					
担当教員 E-mail	その他				
takenami@knwu.ac.jp					

授	業	科	目	名	生活支援技術 I						
担	当		者	名	田中 文佳	実	務	家	教	員	
科	目	コ	_	ド	2500023	授	業		形	態	演習
学				年	1	開		講		期	2023 年度 前期
単		位		数	2	履				修	介護福祉士必修
ナン	/)	٠ <u>ا</u>	リン	グ	DP2-1-A						
(実務家教員につい ての特記事項含む) をサポートするための福祉用具を学ぶ。様々な演習を通じて、外			具の	活用、福祉の	住業の業	環境の 務と)整備、 生活支持	れる方々の安全・快適な日常生活 食生活及び被服生活の基本知識 爰の理論の統合を目指していく。 継続性を支えることが介護福祉			
	習成					暮ら	す様				ついて理解を深め、安全で快適 去、災害時の支援について説明で
授	業		計	画		準	備学習	图 (-	予習·	復習等	等)の具体的な内容及び必要時間
1				解する 可かを	視点(1) 学ぶ		後:				適囲を読んでおく (45分) に学習プリントに記入する (45
2	生活を理解する視点 (2) 演習(グループワーク) 「個々人の生活の受容と介護福祉支援の考え 方」		事前:配布されている資料を読み、自分の考えをまとめておく(45分) 事後:学習プリントにまとめと感想を記入する (45分)								
3	3 生活支援の基本的な考え方(1) 生活支援のポイント		事前: テキストの指定範囲を読んでおく (45分) 事後: テキストを参考に学習プリントに記入する (45 分)								
4			支援の概念		的な考え方(2)	事前: テキストの指定範囲を読んでおく (45分) 事後: テキストを参考に学習プリントに記入する (45分)					
5	生活支援の基本的な考え方(3) 演習(グループワーク) 「ICF に基づいた生活支援の事例を検討」		事前:配布されている事例資料を読み、自分の考えを まとめる(45分) 事後:学習プリントに演習のまとめと感想を記入して 提出する(45分)								
6	生活支援とチームアプローチ (1) 各種専門職の役割と業務内容		事前: テキストの指定範囲を読んでおく (45分) 事後: テキストを参考に学習プリントに記入する 確認テストの準備 (45分)								
7	生活支援とチームアプローチ (2) ライフステージとチームアプローチのあり方		事前: テキストの指定範囲を読んでおく 確認テストの準備 (45分) 事後: テキストを参考に学習プリントに記入する (45分)								
8					リエーション活動(1) ン活動の意義と効果		後:				施囲を読んでおく (45分) に学習プリントに記入する (45
9	演	習	(実足	夷)	リエーション活動(2) ョン計画書の作成」	(45	5分) 後: ⁻				資料を読み、内容を理解しておく 演習の振り返りをまとめる (45
10			予防 & 実践		リエーション活動(3)						り準備をする (45分) 『習のレポートを記入し提出する

	「レクリエーション活動の実践」	(45 分)
11	生活支援と自立の支援(1) リハビリテーションの考え方	事前:テキストの指定範囲を読んでおく (45分) 事後:テキストを参考に学習プリントに記入する (45分)
12	生活支援と自立の支援 (2) 介護保険制度とリハビリテーション	事前: テキストの指定範囲を読んでおく (45分) 事後: テキストを参考に学習プリントに記入する (45分)
13	生活支援と福祉用具の活用(1) 福祉用具とは何か 福祉用具を活用する際の専門的視点(実践演習)	事前:テキストの指定範囲を読んでおく (45分) 事後:テキストを参考に学習プリントに記入する (45分)
14	生活支援と福祉用具の活用(2) 演習 (グループワーク) 「機能障害に応じた支援に関する事例検討」	事前:配布されている事例資料を読み、自分の考えを まとめる(45分) 事後:学習プリントに事例内容のまとめを記入し提出す る(45分)
15	演習(フィールドワーク) 高齢者擬似体験 福祉用具活用の講義	事前: 資料を読み研修の準備をする (45分) 事後: 学習プリントに研修のレポートを記入する (45分)
16	演習(フィールドワーク) 高齢者擬似体験 福祉用具活用の講義	事前: 資料を読み、研修の準備をする (45分) 事後: 学習プリントに研修のレポートを記入し提出する (45分)
17	居住環境と住まいの役割 日本の住まいの特徴	事前: テキストの指定範囲を読んでおく (45分) 事後: テキストを参考に学習プリントに記入する (45分)
18	家庭内における事故の理解	事前: テキストの指定範囲を読んでおく 確認テストの準備 (45分) 事後: テキストを参考に学習プリントに記入する (45分)
19	高齢者の住まいの種別	事前: テキストの指定範囲を読んでおく 確認テストの準備 (45分) 事後: テキストを参考に学習プリントに記入する (45分)
20	住環境、道路・建物、公共交通機関に関する 法制度	事前: テキストの指定範囲を読んでおく 確認テストの準備 (45分) 事後: テキストを参考に学習プリントに記入する (45分)
21	生活と環境問題:環境ホルモン、環境保全の 取り組み	事前: テキストの指定範囲を読んでおく (45分) 事後: テキストを参考に学習プリントに記入する(45分)
22	高齢者などに配慮した住宅各所の空間構成 (1) 玄関、廊下、階段、浴室、トイレ	事前: テキストの指定範囲を読んでおく (45分) 事後: テキストを参考に学習プリントに記入する 確認テストの準備 (45分)
23	高齢者などに配慮した住宅各所の空間構成 (2) 台所、寝室、照明、色、騒音	事前: テキストの指定範囲を読んでおく 確認テストの準備 (45分) 事後: テキストを参考に学習プリントに記入する 確認テストの準備 (45分)
24	住まいの管理 温度・湿度、防虫、災害への準備	事前: テキストの指定範囲、配布資料を読んでおく (45分) 事後: テキスト、資料を参考に学習プリントに記入する (45分)
25	住宅改修と介護保険制度	事前:配布資料を読んでおく (45分) 事後:テキストを参考に学習プリントに記入する (45分)
26	住環境の整備における多職種の連携の実際	事前: 事例資料を読み、自分の考えをまとめておく (45分)

		事後:学習プリントに事例検討のまとめを記入し提出す
		る(45分)
27	応急手当の知識と技術 (1) 想定される事故と予防の視点	事前: テキストの指定範囲を読んでおく (45分) 事後: テキストを参考に学習プリントに記入する (45分)
28	応急手当の知識と技術(2) 演習(実践) 「止血法、骨折の固定」	事前: テキストの指定範囲を読んでおく、必要物品を 準備する(45分) 事後: テキストを参考に学習プリントに記入する (45 分)
29	災害時における生活支援	事前: テキストの指定範囲を読んでおく (45分) 事後: テキストを参考に学習プリントに記入する 確認テストの準備 (45分)
30	まとめ 生活支援の考え方と具体的実践内容の確認	事前:確認テストの範囲を総復習する (45分) 事後:確認テストを見直し内容を理解する (45分)

- ・次回授業の内容を提示します。教科書や配布資料を読み、事前・事後学習の一環として学習プリントに取り組んでください。
- ・随時、内容確認のためのテストを実施します。予習と復習を心掛けてください。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	提出物	授業への取り組み姿勢	
70%	20%	10%	

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
「最新 介護福祉士養成講座 6 生活支援技術 I」(第 2 版)	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版
「見て覚える!介護福祉士国試ナ ビ 2023」	いとう総研資格取得支援センター	中央法規出版

参考書又は参考資料等

「クエスチョン・バンク 介護福祉士国家試験問題解説 2024」

その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

- ・レポート、課題、確認テストは期日までに提出してください。授業の解説後に返却します。
- ・授業ファイルは適宜提出です。授業資料や課題、レポートのファイリングを心掛けてください。

担当教員 E-mail	その他	
t.fumi@hcc.ac.jp		

授業科目名	生活支援技術Ⅱ		
担 当 者 名	廣藤 智之	実務家教員	0
科目コード	2500024	授 業 形態	演習
学 年	1	開 講 期	2023 年度 通年
単 位 数	3	履修	介護福祉士必修
ナンバリング	DP2-1-C		
授業の概要と方法	・生活支援技術Ⅱの講義・演習は、介護老人保健施設および通所リハビリテーションで		

授業の概要と方法 〔実務家教員につい ての特記事項含む〕

- ・生活支援技術 II の講義・演習は、介護老人保健施設および通所リハビリテーションでの職務経験を持つ教員が、対象者の能力を活用し、安全・安楽に配慮し、自立に向けた生活支援の基礎的な知識・技術を習得することを目的とする。そのため介護福祉士に求められる役割と機能について理解し、専門職としての態度を養うこと、また各分野の介助技術の基本的な手順や留意点について講義で詳述し、さらにグループでの介助技術の演習および介助方法等をディスカッションすることにより、その根拠を考察し理解を深めていく。
- ・介護実習の段階に沿って、介護を必要とする人がどのような状態であってもその人ら しく生きるための生活環境作りや生活の楽しみ、生活上の支障の解決について支援する ことを狙いとした講義・演習を構成し、学生自らもその視点についてグループワーク等 で検討する。

授業の到達目標 〔学習成果〕

- 1. 基本的な介護の知識、技術、態度を修得し、利用者の状態に応じた適切な技法を活用した支援ができる。
- 2. 生活は、それぞれが単独で機能しているのではなく連続性をもって成り立っている こと、また、生活支援技術は、その連続した生活を断ち切らないよう支援することの重 要性が理解できる。
- 3. 介護の援助に応じた福祉用具、福祉機器の活用方法が習得できる。
- 4. 介護技術の根拠を理解し、ICF の概念に基づいたアセスメントから、個々の利用者の生活活動の違いや、気づき等を系統的に整理できる。

授	業計画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間
1	生活支援技術における意義と目的① 実習室物品・使用時の留意点	事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20分) 事後:実習室物品の取り扱い等の留意点をまとめる(25分)
2	生活支援技術における意義と目的② ICF に基づくアセスメントについて	事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20分) 事後:ICFの生活機能モデル(図)をまとめる(25分)
3	休息と睡眠の介護:意義と目的 ・リネンの取り扱い・ベッドメイキング	事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20分) 事後:リネンの取り扱いの練習を行う(25分)
4	休息と睡眠の介護① ・ベッドメイキング(下シーツ 三角コーナー)	事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20分) 事後:下シーツの三角コーナーの練習を行う(25分)
5	休息と睡眠の介護② ・ベッドメイキング(下シーツ 四角コーナ ー)	事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20分) 事後:下シーツの四角コーナーの練習を行う(25分)

6	休息と睡眠の介護③ ・ベッドメイキング (防水シーツ・枕カバー)	事前: テキスト等の指定範囲 (事前指示) を通読する (20分) 事後: ベッドメイキングの技術を習得できるよう練習を
7	自立に向けた移動の介護:意義と目的 ・車いす移動介助(基本操作方法)	行う(25分) 事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20分) 事後:車いす移動介助の留意点をまとめ、実技練習を行
8	自立に向けた移動の介護 ・車いす移動介助(段差昇降・坂道・砂利道)	う (25 分) 事前:テキスト等の指定範囲 (事前指示) を通読する (20 分) 事後:車いす移動介助の留意点等をまとめ、実技練習を 行う (25 分)
9	自立に向けた移動の介護:意義と目的 ・歩行介助 (片麻痺:平地)	事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20分) 事後:歩行介助の留意点等をまとめ、実技練習を行う(25分)
10	自立に向けた移動の介護 ・歩行介助(片麻痺:段差・溝越え、階段昇 降)	事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20分) 事後:歩行介助の留意点等をまとめ、実技練習を行う(25分)
11	自立に向けた移動の介護:意義と目的 ・ボディメカニクス (立位・着座介助)	事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20分) 事後:ボディメカニクスについてまとめ、実技練習を行う(25分)
12	自立に向けた移動の介護 ・ボディメカニクス(体位変換:仰臥位⇔側 臥位)	事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20分) 事後:ボディメカニクスについてまとめ、実技練習を行う(25分)
13	自立に向けた移動の介護 ・ボディメカニクス(体位変換:水平・上方 移動)	事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20分) 事後:ボディメカニクスについてまとめ、実技練習を行う(25分)
14	自立に向けた身じたくの介護:意義と目的 ・身だしなみ(爪切り・軟膏・湿布・点眼等)	事前: テキスト等の指定範囲 (事前指示) を通読する (20分) 事後: 講義内容のポイント・留意点等をまとめる (25分)
15	自立に向けた身じたくの介護:意義と目的 ・身だしなみ(医師法第17条(通知)等)	事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20分) 事後:講義内容のポイント・留意点等をまとめる(25分)
16	自立に向けた身じたくの介護:意義と目的 ・衣服の着脱更衣(座位 前開き)	事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20分) 事後:衣服の着脱の留意点等をまとめ、実技練習を行う(25分)
17	自立に向けた身じたくの介護 ・衣服の着脱更衣(座位 かぶり)	事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20分) 事後:衣服の着脱の留意点等をまとめ、実技練習を行う(25分)
18	自立に向けた身じたくの介護 ・衣服の着脱更衣(臥位 前開き)	事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20分) 事後:衣服の着脱の留意点等をまとめ、実技練習を行う(25分)
19	自立に向けた身じたくの介護 ・衣服の着脱更衣(臥位 がぶり)	事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20分) 分) 事後:衣服の着脱の留意点等をまとめ、実技練習を行う

		(25分)
20	自立に向けた身じたくの介護:意義と目的 ・口腔ケア(自歯)	事前: テキスト等の指定範囲 (事前指示) を通読する (20分) 事後: 口腔ケアの意義・目的、実施時の留意点等をまとめる (25分)
21	自立に向けた身じたくの介護 ・口腔ケア(義歯)	事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20分) 事後:口腔ケアの意義・目的、実施時の留意点等をまとめる(25分)
22	自立に向けた食事の介護:意義と目的 ・食事のメカニズム	事前: テキスト等の指定範囲 (事前指示) を通読する (20分) 事後: 食事のメカニズム・介助時の留意点等をまとめる (25分)
23	自立に向けた食事の介護 ・食事介助 (座位・臥位)	事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20分) 事後:食事介助演習の振り返り、留意点等をまとめる(25分)
24	自立に向けた食事の介護 ・口腔ケア介助	事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20分) 事後:口腔ケア介助演習の振り返り、留意点等をまとめる(25分)
25	自立に向けた排泄の介護:意義と目的 ・排泄のメカニズム	事前: テキスト等の指定範囲 (事前指示) を通読する (20分) 事後: 排泄のメカニズム・介助時の留意点等をまとめる (25分)
26	自立に向けた排泄の介護 ・排泄介助(布おむつ交換)	事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20分) 事後:布おむつ交換の留意点等をまとめ、実技練習を行う(25分)
27	自立に向けた排泄の介護 ・排泄介助(紙おむつ交換)	事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20分) 事後:紙おむつ交換の留意点等をまとめ、実技練習を行う(25分)
28	自立に向けた入浴・清潔保持の介護:意義と 目的 ・入浴のメカニズム	事前: テキスト等の指定範囲 (事前指示) を通読する (20分) 事後: 入浴のメカニズム・介助時の留意点等をまとめる (25分)
29	自立に向けた入浴・清潔保持の介護 ・入浴介助(一般浴)	事前: テキスト等の指定範囲 (事前指示) を通読する (20分) 事後: 入浴介助演習の振り返り、留意点等をまとめる (25分)
30	自立に向けた入浴・清潔保持の介護 ・入浴介助(一般浴)	事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20分) 事後:入浴介助演習の振り返り、留意点等をまとめる(25分)
31	自立に向けた入浴・清潔保持の介護:意義と 目的 ・入浴介助(機械浴)	事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20分) 事後:機械浴介助演習の振り返り、留意点等をまとめる(25分)
32	自立に向けた排泄の介護 ・排泄介助(尿器・差し込み便器)	事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20分) 事後:排泄介助演習の振り返り、留意点等をまとめる(25分)

45	・終末期における介護技術(エンゼルケア技 法)	事後:エンゼルケア演習の振り返り、留意点等をまとめる(25分)
4 5	人生の最終段階における介護 ・終末期における介護技術(エンゼルケア共	事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20 分)
44	人生の最終段階における介護:意義と目的 ・多職種連携と協働	(全国記する (20 分) 事後:他職種の業務内容および連携の必要性等をまとめる (25 分)
43	自立に向けた住環境の整備 ・シーツ交換	分) 事後:シーツ交換介助の留意点等をまとめ、実技練習を 行う(25分) 事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20
		る (25 分) 事前: テキスト等の指定範囲 (事前指示) を通読する (20
42	休息・睡眠の介護:意義と目的 ・安楽体位と褥瘡の予防	事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20分) 事後:安楽体位介助演習の振り返り、留意点等をまとめ
41	休息・睡眠の介護:意義と目的 ・罨法の介助	事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20分) 事後:罨法介助演習の振り返り、留意点等をまとめる(25分)
40	自立に向けた入浴・清潔保持の介護:意義と 目的 ・部分浴の清潔介助(全身清拭)	事前: テキスト等の指定範囲 (事前指示) を通読する (20分) 事後:全身清拭介助の振り返り、留意点等をまとめる (25分)
39	自立に向けた入浴・清潔保持の介護:意義と目的 ・部分浴の清潔介助(ベッド上の洗髪)	事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20分) 事後:洗髪介助の振り返り、留意点等をまとめる(25分)
38	自立に向けた入浴・清潔保持の介護:意義と 目的 ・部分浴の清潔介助(足浴)	事前: テキスト等の指定範囲 (事前指示) を通読する (20分) 事後: 足浴介助の振り返り、留意点等をまとめる (25分)
37	自立に向けた移動の介護:意義と目的 ・ストレッチャー移乗介助(全介助)	事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20分) 事後:ストレッチャー移乗介助の振り返り、留意点等をまとめる(25分)
36	自立に向けた移動の介護 ・車いす移乗介助(全介助)	事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20分) 事後:車いす移乗介助の留意点等をまとめ、実技練習を行う(25分)
35	自立に向けた移動の介護:意義と目的 ・車いす移乗介助(一部介助)	事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20分) 事後:車いす移乗介助の留意点等をまとめ、実技練習を行う(25分)
34	自立に向けた移動の介護 ・起居動作(一部・全介助)、水平・上方移動 介助	事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20分) 事後:起居動作介助の留意点等をまとめ、実技練習を行う(25分)
33	自立に向けた排泄の介護 ・排泄介助(ポータブルトイレ・障害者用ト イレ)	事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20分) 事後:ポータブルトル介助の留意点等をまとめ、実技練習を行う(25分)

- ・テキストおよび配布プリントをもとに事前及び事後の学習を行い、重要となる分野の終了時にドリル・模擬問題を配布し提出してもらいます。
- ・放課後等を利用し繰り返し実技練習を行うことで、介助時の留意点や根拠を理解し、基本となる介護技術の習得に努めてください。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	課題(提出物)	小テスト	
60%	20%	20%	

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
『最新 介護福祉士養成講座 7 生活支援技術Ⅱ·6 生活支援技術 Ⅰ 第 2 版』	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版
『見て覚える! 介護福祉士国試 ナビ 2023』	いとう総研資格取得支援センター	中央法規出版

参考書又は参考資料等

『クエスチョン・バンク 介護福祉士国家試験問題解説 2024』

その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

- ・事前準備等があるため必ず時間厳守し、実習室や物品の使用方法を守ってください。
- ・資料整理のためのファイルを用意してくだい。

担当教員 E-mail	その他
hirofuji@hcc.ac.jp	

授 業 科 目 名	生活支援技術Ⅲ		
担 当 者 名	廣藤 智之	実務家教員	0
科目コード	2500025	授 業 形 態	演習
学 年	1	開 講 期	2023 年度 後期
単 位 数	2	履修	介護福祉士必修
ナンバリング	DP2-1-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員につい ての特記事項含む〕	・生活支援技術Ⅲの講義・演習は、介護老人保健施設および通所リハビリテーションでの職務経験を持つ教員が、対象者の能力を活用し、安全・安楽に配慮し、自立に向けた生活支援の基礎的な知識・技術を習得することを目的とする。そのため介護福祉士に求められる役割と機能について理解し、専門職としての態度を養うこと、また各分野の介助技術の基本的な手順や留意点について講義で詳述し、さらにグループでの介助技術の演習および介助方法等をディスカッションすることにより、その根拠を考察し理解を深めていく。 ・「障害の理解」で学んだ知識を基に、運動機能障害、内部障害、知的・発達・精神障害等の各障害に応じて必要となる介護技術や介助時の留意点等を学んでいく。さらにグループワークを通し ICF の視点を生活支援に活かし、生活の豊かさや実践の根拠について説明できる能力を身につけていく。また、適切な介護技術を用いて安全・安楽に援助できる技術や知識および介護環境の工夫や福祉機器の活用法を学び、自立と健康を守る介助方法を習得する。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	力を引き出した技術が実践でる 2. 障害のある方々が、生活を ともに、それぞれの障害の特性 解できる。	きる。 対む上でどのような不自 生に応じた生活支援を行う	び障害に応じた技術や、潜在能 由さを感じているか理解すると うための知識や技術、留意点が理 選択、活用方法について理解し

授	業計画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間
1	生活支援技術Ⅲ オリエンテーション	事前: テキスト (事前指示) を通読し、プリントに記載する (20分) 事後:「障害の理解」との関連性についてまとめる (25分)
2	肢体不自由に応じた介護① ・脊髄損傷について	事前: テキスト(事前指示)を通読し、プリントに記載する(20分) 事後: 脊髄損傷の要点・支援方法のポイントをまとめる(25分)
3	肢体不自由に応じた介護② ・脳性麻痺について	事前: テキスト(事前指示)を通読し、プリントに記載する(20分) 事後: 脳性麻痺の要点・支援方法のポイントをまとめる(25分)
4	視覚障害に応じた介護	事前: テキスト (事前指示) を通読し、プリントに記載する (20分) 事後: 視覚障害の要点・支援方法のポイントをまとめる (20分)
5	聴覚障害に応じた介護	事前: テキスト(事前指示)を通読し、プリントに記載する(20分) 事後: 聴覚障害の要点・支援方法のポイントをまとめる(25分)
6	言語障害に応じた介護	事前: テキスト (事前指示) を通読し、プリントに記載する (20分) 事後: 言語障害の要点・支援方法のポイントをまとめる

		(25 分)
7	重複障害(盲ろう)に応じた介護	事前: テキスト (事前指示) を通読し、プリントに記載する (20 分) 事後: 重複障害の要点・支援方法のポイントをまとめる (25 分)
8	【内部障害】 心臓機能障害に応じた介護① ・心臓機能障害の理解等	事前: テキスト (事前指示) を通読し、プリントに記載する (20分) 事後:心臓機能障害の要点をまとめる (25分)
9	【内部障害】心臓機能障害に応じた介護② ・観察の視点、支援の展開	事前: テキスト(事前指示)を通読し、プリントに記載する(20分) 事後:心臓機能障害の支援方法のポイントをまとめる(25分)
10	【内部障害】呼吸機能障害に応じた介護① ・呼吸機能障害の理解等	事前: テキスト (事前指示) を通読し、プリントに記載する (20分) 事後: 呼吸機能障害の要点をまとめる (25分)
11	【内部障害】呼吸機能障害に応じた介護② ・観察の視点、支援の展開	事前: テキスト(事前指示)を通読し、プリントに記載する(20分) 事後: 呼吸機能障害の支援方法のポイントをまとめる(25分)
12	【内部障害】腎臓機能障害に応じた介護① ・腎臓機能障害の理解等	事前: テキスト (事前指示) を通読し、プリントに記載する (20分) 事後: 腎臓機能障害の要点をまとめる (25分)
13	【内部障害】腎臓機能障害に応じた介護② ・観察の視点、支援の展開	事前: テキスト(事前指示)を通読し、プリントに記載する(20分) 事後: 腎臓機能障害の支援方法のポイントをまとめる(25分)
14	【内部障害】膀胱・直腸機能障害に応じた介護① ・膀胱・直腸機能障害の理解等	事前: テキスト (事前指示) を通読し、プリントに記載する (20分) 事後: 膀胱・直腸機能障害の要点をまとめる (25分)
15	【内部障害】膀胱・直腸機能障害に応じた介護② ・観察の視点、支援の展開	事前: テキスト(事前指示)を通読し、プリントに記載する(20分) 事後:膀胱・直腸機能障害の支援方法のポイントをまとめる(25分)
16	【内部障害】小腸機能障害に応じた介護	事前: テキスト (事前指示) を通読し、プリントに記載する (20分) 事後: 小腸機能障害の要点、支援方法のポイントをまとめる (25分)
17	【内部障害】HIV による免疫機能障害に応じた介護	事前: テキスト(事前指示)を通読し、プリントに記載する(20分) 事後: 免疫機能障害の要点、支援方法のポイントをまとめる(25分)
18	【内部障害】肝臓機能障害に応じた介護① ・肝臓臓機能障害の理解等	事前: テキスト (事前指示) を通読し、プリントに記載する (20分) 事後: 肝臓臓機能障害の要点をまとめる (25分)
19	【内部障害】肝臓機能障害に応じた介護② ・観察の視点、支援の展開	事前: テキスト (事前指示) を通読し、プリントに記載する (20分) 事後: 肝臓臓機能障害の支援方法のポイントをまとめる (25分)
20	内部障害についてのポイント整理	事前:指定範囲を復習し、課題(ドリル等)を解答する (20分) 事後:課題の誤答を再度解答し、要点を整理する(25分)
21	知的障害に応じた介護に応じた介護	事前: テキスト (事前指示) を通読し、プリントに記載する (20分)

		事後:知的障害の要点、支援方法のポイントをまとめる (25分)
22	精神障害に応じた介護に応じた介護	事前: テキスト (事前指示) を通読し、プリントに記載する (20分) 事後: 精神障害の要点、支援方法のポイントをまとめる (25分)
23	高次脳機能障害に応じた介護	事前: テキスト (事前指示) を通読し、プリントに記載する (20分) 事後: 高次脳機能障害の要点、支援方法のポイントをまとめる (25分)
24	発達障害に応じた介護に応じた介護	事前: テキスト(事前指示)を通読し、プリントに記載する(20分) 事後: 発達障害の要点、支援方法のポイントをまとめる(25分)
25	知的・発達・精神障害等についてのポイント 整理	事前:指定範囲を復習し、課題(ドリル等)を解答する (20分) 事後:課題の誤答を再度解答し、要点を整理する(25分)
26	【難病】筋萎縮性側索硬化症(ALS)に応じた 介護	事前: テキスト(事前指示)を通読し、プリントに記載する(20分) 事後: ALS の要点、支援方法のポイントをまとめる(25分)
27	【難病】パーキンソン病に応じた介護	事前: テキスト(事前指示)を通読し、プリントに記載する(20分) 事後: パーキンソン病の要点、支援方法のポイントをまとめる(25分)
28	【難病】悪性関節リウマチに応じた介護	事前: テキスト (事前指示) を通読し、プリントに記載する (20分) 事後: 悪性関節リウマチの要点、支援方法のポイントをまとめる (25分)
29	【難病】筋ジストロフィーに応じた介護	事前: テキスト(事前指示)を通読し、プリントに記載する(20分) 事後: 筋ジストロフィーの要点、支援方法のポイントをまとめる(25分)
30	難病についてのポイント整理	事前:指定範囲を復習し、課題(ドリル等)を解答する (20分) 事後:課題の誤答を再度解答し、要点を整理する(25分)

- ・教科書をもとに事前及び事後の学習を行ってください。その際、「障害の理解」と関連付けながら勉強していくと整理しやすいため、各障害の特性や解剖・生理学を各自でまとめておいてください。
- ・障害に応じた介助技術習得のため、安全・安楽へ配慮し繰り返しの実技練習を行うとともに、その根拠を理解してください。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	レポート課題(提出物)	授業への取組み姿勢	
60%	20%	20%	

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
『最新 介護福祉士養成講座 8 生活支援技術Ⅲ 14 障害の理解	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版

第2版』		
『見て覚える! 介護福祉士国試 ナビ 2022』	いとう総研資格取得支援センター	中央法規出版

参考書又は参考資料等

『クエスチョン・バンク 介護福祉士国家試験問題解説 2023』

その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

- ・資料整理のためのファイルを用意してください。
- ・各障害に対する理解を深め、それぞれの障害に応じた介護や支援方法を学びます。そのため、基本と根拠を 大切にし、演習を通して介助手順、安全・安楽への留意点等を学び、さらに習得していくための繰り返しの復 習(練習)を行って介護実習に臨んでください。

担当教員 E-mail	その他
hirofuji@hcc.ac.jp	

授	業	科	目	名	生活支援技術(形態別)						
担	当		者	名	尾形 満歳	実	務	家	教	員	0
科	目	П	_	۲	2500008	授	業		形	態	演習
学				年	1	開		講		期	2023年度 前期
単		位		数	1	履				修	介護福祉士必修
ナ	ン・	(I	」 ン	グ	DP2-1-A						

授業の概要と方法

の特記事項含む〕

この授業では視覚特別支援学校教員の経験をもち、かつ介護福祉士の資格のある教員が、 〔実務家教員について 視覚障がい者の文字である点字の必要性と特性について学び、グループワークを通して基礎 から応用へと段階的に学習を進める。授業の後半では、パソコンを利用しての点字入力方法 を学び、情報機器の進歩を知る。また視覚障がい疑似体験による歩行や、日常生活動作の演 習、視覚に頼らない生活の知恵などを知ることで視覚障がい者への理解を深め、ディスカッ ションを行いながら視覚の衰えている高齢者の介護・支援の工夫や方法を考える。

〔学習成果〕

- 授業の到達目標 1) 点字および点訳の知識と技術を習得し初歩的な点字の読み書きを習得する。
 - 2) 視覚障がい者の特性を理解した上で、点字をコミュニケーションツールとして利用できる ようになる。
 - 3) 視覚障がい疑似体験で、視覚障がい者に対しての支援・介助の方法を習得する。
 - 4) 点字や疑似体験を通して、高齢者施設で個人に応じた介助・支援を考えられるようにな る。

授	業計画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間
	視覚障がい者とコミュニケーション	事前:シラバスを熟読し視覚障がい者のことを想像してみ
1	…視覚障がい者の特性や点字の必要性について	る(20分)
		事後:障がい者は、どんな種類に分けられているかを調べ
		る(25分)
	点字表記法①…点字の歴史と基礎、50音	事前:点字はどんな場所にあるのか調べる(20分)
2		事後:点字の五十音(母音と子音)の読み書きを復習する
		(25分)
	点字表記法②	事前:点字表記表の濁点・半濁点・拗音の規則性を見る。
3	…点字の基礎、濁音、半濁音、拗音	(20分)
		事後:濁点・半濁点・拗音の読み書きの復習をする(25
		分)
4	点字表記法③…点字の構成(数字、英字)	事前:点字表記表の数字・英字の規則性を見る。(20分)
		事後:数字・英字の読み書きの復習をする。(25分)
	点字表記法④	事前:点字表記表のカッコなどの記号類を見ておく(20
5	…点字の構成(カッコなどの記号類)	分)
		事後:カッコや記号のついた、文章を書いて復習する(25
		分)
	演習①視覚障がい擬似体験(歩行)グループで視	事前:見えない生活を想像し、全盲の方にどんな困難があ
6	覚障がい者の歩行の困難さと、介助で気を付ける	るか考える(20分)
	ことを話し合う。	事後:事前に想像していたことと、実際に疑似体験して感
		じたことをまとめる(25分)

	演習②視覚障がい擬似体験(弱視の日常生活動	事前:見えにくい生活を想像し、弱視の方にどんな困難が
7	作)弱視の見え方の種類を体験し、見えにくさに	あるか考える(20分)
	応じた支援を考える。	事後:事前に想像していたことと、実際に疑似体験して感
		じたことをまとめる(25分)
	点字表記法⑤	事前:これまでに学習した、点字のかな・英数の復習をし
8	…点字の分かち書き(かな・英数の混じり文)	ておく(20分)
		事後:分かち書きした、短文を点字で書いてみる(25分)
	点字表記法⑥	事前:長い文章になった時の形式を教科書で見ておく(20
a	…前回までの表記法を利用し、文章を書く	分)
9		事後:自分で五行以上の文章を点字で書いてみる。(25
		分)
	演習③…地図や絵等の触図を作成する。グループ	事前:手触りの違う、身近な素材にはどんなものがあるか
1.0	でいろんな手触りの違いを話し合い、触図の検討	考え準備しておく(20分)
10	をする。	 事後:高齢者施設のどんな場面で、触察認知が必要であるか
		考える (25分)
	演習④…高齢者施設のレクリエーション	事前:臨床美術について調べておく(20分)
11	「臨床美術」を体験する	事後:臨床美術を体験して、感じたことをまとめておく
		(25分)
	演習⑤…視覚障がい者の遊び	事前:視覚障がい者は、どんな遊びができるか想像してお
1.0	演習⑤…視覚障がい者の遊び	事前:視覚障がい者は、どんな遊びができるか想像しておく(20分)
12	演習⑤…視覚障がい者の遊び	
12	演習⑤…視覚障がい者の遊び	く(20分) 事後:体験した遊びから、高齢者施設でのレクの工夫を考え
	演習⑤…視覚障がい者の遊び パソコンを利用した点訳①…点訳ソフトの基礎	く(20分)
12		く (20分) 事後:体験した遊びから、高齢者施設でのレクの工夫を考え る (25分)
13		く (20分) 事後:体験した遊びから、高齢者施設でのレクの工夫を考える (25分) 事前:パソコンの基本操作を学習しておく (20分)
	パソコンを利用した点訳①…点訳ソフトの基礎	く (20分) 事後:体験した遊びから、高齢者施設でのレクの工夫を考える (25分) 事前:パソコンの基本操作を学習しておく (20分) 事後:点字六点入力の指使いを復習する (25分)
13	パソコンを利用した点訳①…点訳ソフトの基礎パソコンを利用した点訳②	く (20分) 事後:体験した遊びから、高齢者施設でのレクの工夫を考える (25分) 事前:パソコンの基本操作を学習しておく (20分) 事後:点字六点入力の指使いを復習する (25分) 事前:点字での文章表記の規則を復習しておく (20分)
13	パソコンを利用した点訳①…点訳ソフトの基礎 パソコンを利用した点訳② …パソコン六点入力での文章作成 パソコンを利用した点訳③…点訳資料の作成(点	く (20分) 事後:体験した遊びから、高齢者施設でのレクの工夫を考える (25分) 事前:パソコンの基本操作を学習しておく (20分) 事後:点字六点入力の指使いを復習する (25分) 事前:点字での文章表記の規則を復習しておく (20分) 事後:パソコンを使って点字の文章を書いてみる (25分) 事前:点字六点入力がスムーズにできるよう練習しておく
13	パソコンを利用した点訳①…点訳ソフトの基礎 パソコンを利用した点訳② …パソコン六点入力での文章作成	く (20分) 事後:体験した遊びから、高齢者施設でのレクの工夫を考える (25分) 事前:パソコンの基本操作を学習しておく (20分) 事後:点字六点入力の指使いを復習する (25分) 事前:点字での文章表記の規則を復習しておく (20分) 事後:パソコンを使って点字の文章を書いてみる (25分) 事前:点字六点入力がスムーズにできるよう練習しておく (20分)
13	パソコンを利用した点訳①…点訳ソフトの基礎 パソコンを利用した点訳② …パソコン六点入力での文章作成 パソコンを利用した点訳③…点訳資料の作成(点	く (20分) 事後:体験した遊びから、高齢者施設でのレクの工夫を考える (25分) 事前:パソコンの基本操作を学習しておく (20分) 事後:点字六点入力の指使いを復習する (25分) 事前:点字での文章表記の規則を復習しておく (20分) 事後:パソコンを使って点字の文章を書いてみる (25分) 事前:点字六点入力がスムーズにできるよう練習しておく

点字は積み重ねて学習するため、一回の欠席でかなり理解が遅れてしまいます。休まないようにしてください。

成績評価の万法し	、評価埧目と割合丿
----------	-----------

定期試験	毎時間の取り組み姿勢と課題	演習体験レポート	
50%	30%	20%	

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
初めての点訳[第二版]	全国視覚障害者情報提供	全国視覚障害者情報提
	施設協会	供施設協会

参考書又は参考資料等

特になし

その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

演習・体験で学んだことを中心としたレポート提出があります。その都度、ノートにまとめておくようにしてください。講義の日程等は、オリエンテーション時に説明します。

担当教員E-mail	その他
oga41mitsu@yahoo.co.jp	毎講義終了後、10分程度質問などの対応可。

授	業	科	目	名	上活支援技術(福祉住環境)						
担	当	者		名	村田 奈保子	実	務	家	教	員	
科	目	_	_	4	2500009	授	業		形	態	講義
学				年	1	開		講		期	2023年度 前期
単	1	立		数	2	履				修	介護福祉士必修
ナ	ンバ	IJ	ン	グ	DP2-1-A						

授業の概要と方法 多様な障害を持つ者の生活環境についての理解を深める。その理解をもとに、障害者に対す 〔実務家教員について る具体的な生活環境支援の在り方等について学習する。

授業の到達目標。在宅環境の整備、構築という観点から、障害者や高齢者に対する生活支援の具体策を提示す 〔学習成果〕 ることができる。

授業計画 準備学習・復習等の具体的な内容及び必要時間 オリエンテーション(シラバスの説明、福祉住環事前:数科書の該当箇所を通読しておくこと(90分)事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(90分)	(7-1	1八木)	
1 境コーディネーターとは) 事後: 講義の要点・ポイントについてまとめること (90 分) 第1章 暮らしやすい生活環境をめざして 事前: 教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第2節 福祉住環境整備の重要性・必要性 事前: 教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第3節 在宅生活の維持とケアサービス 事前: 教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第3節 在宅生活の維持とケアサービス 事前: 教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第2章 健康と自立をめざして 事前: 教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第2章 障害者が生活の不自由を克服する道 事後: 講義の要点・ポイントについてまとめること (90分) 第2節 障害者が生活の不自由を克服する道 事前: 教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第3章パリアフリーとユニバーサルデザイン 事前: 教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第2節 生活を支えるさまざまな用具① 事前: 教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第2節 生活を支えるさまざまな用具② 事前: 教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第2節 生活を支えるさまがまな用具の 事前: 教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分)	授	業計画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間
第1章 暮らしやすい生活環境をめざして 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第2節 福祉住環境整備の重要性・必要性 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第3節 在宅生活の維持とケアサービス 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第2章 健康と自立をめざして 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第2章 健康と自立をめざして 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第2節 障害者が生活の不自由を克服する道 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第2節 障害者が生活の不自由を克服する道 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第3章パリアフリーとユニバーサルデザイン 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第3章パリアフリーをコニバーサルデザイン 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第2節 生活を支えるさまざまな用具① 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第2節 生活を支えるさまざまな用具② 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第4章 安全・安心・快適な住まい 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第4章 安全・安心・快適な住まい 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること (90分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること (90分)		オリエンテーション(シラバスの説明、福祉住環	事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと(90分)
第1章 暮らしやすい生活環境をめざして 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第2節 福祉住環境整備の重要性・必要性 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第3節 在宅生活の維持とケアサービス 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第2章 健康と自立をめざして 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第2節 障害者が生活の不自由を克服する道 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第2節 障害者が生活の不自由を克服する道 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第2節 障害者が生活の不自由を克服する道 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第2節 は活を支えるさまざまな用具① 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第2節 生活を支えるさまざまな用具② 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第4章 安全・安心・快適な住まい 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 10 第1節 住まいの整備のための基本技術 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分)	1	境コーディネーターとは)	事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(90
2 第1節 少子高齢社会と共生社会への道 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること (90分) 第2節 福祉住環境整備の重要性・必要性 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第3節 在宅生活の維持とケアサービス 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第2章 健康と自立をめざして 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第2節 障害者が生活の不自由を克服する道 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第2節 障害者が生活の不自由を克服する道 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第3章パリアフリーとユニバーサルデザイン 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第2節 生活を支えるさまざまな用具① 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第2節 生活を支えるさまざまな用具② 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第6 安全・安心・快適な住まい 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第4章 安全・安心・快適な住まい 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第6 安全・安心・快適な住まい 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分)			分)
第2節 福祉住環境整備の重要性・必要性 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと(90分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(90分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(90分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(90分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(90分) 第2章 健康と自立をめざして 第1節 高齢者の健康と自立 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと(90分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(90分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(90分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(90分) 第3章パリアフリーとユニバーサルデザイン 第1節 バリアフリーデザインとユニバーサルデザイン 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと(90分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(90分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(90分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(90分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(90分) 第2節 生活を支えるさまざまな用具② 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと(90分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(90分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(90分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(90分) 第4章 安全・安心・快適な住まい 10 第1節 住まいの整備のための基本技術 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと(90分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(90分)		第1章 暮らしやすい生活環境をめざして	事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと(90分)
# 2 節 福祉住環境整備の重要性・必要性 事前: 教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 事後: 講義の要点・ポイントについてまとめること (90分)	2	第1節 少子高齢社会と共生社会への道	事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(90
事後:講義の要点・ポイントについてまとめること (90分) 字(3) 第3節 在宅生活の維持とケアサービス 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること (90分) 事後: 講義の要点・ポイントについてまとめること (90分) 事後: 第4章 安全・安心・快適ない 第4章 安全・安心・特別を表情ない 第4章 安心・特別を表情ない 第4章 安全・安心・特別を表情ない 第4章 安全・安心・安心・安心・安心・安心・安心・安心・安心・安心・安心・安心・安心・安心・			分)
# 第 3 節 在宅生活の維持とケアサービス		第2節 福祉住環境整備の重要性・必要性	事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと(90分)
# 第 3 節 在宅生活の維持とケアサービス	3		事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(90
4 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること (90分) 第2章 健康と自立をめざして 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第1節 高齢者の健康と自立 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること (90分) 第2節 障害者が生活の不自由を克服する道 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第3章バリアフリーとユニバーサルデザイン 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 7第1節 バリアフリーデザインとユニバーサルデザインとユニバーサルデザインを考える 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること (90分) 第2節 生活を支えるさまざまな用具① 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第2節 生活を支えるさまざまな用具② 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第2節 生活を支えるさまざまな用具② 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第4章 安全・安心・快適な住まい 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第1節 住まいの整備のための基本技術 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること (90分)			分)
第2章 健康と自立をめざして 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第1節 高齢者の健康と自立 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること (90分) 第2節 障害者が生活の不自由を克服する道 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第3章パリアフリーとユニバーサルデザイン 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 7第1節 バリアフリーデザインとユニバーサルデザインを考える 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること (90分) 第2節 生活を支えるさまざまな用具① 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第2節 生活を支えるさまざまな用具② 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第2節 生活を支えるさまざまな用具② 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第4章 安全・安心・快適な住まい 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第1節 住まいの整備のための基本技術 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること (90分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること (90分)		第3節 在宅生活の維持とケアサービス	事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと(90分)
第2章 健康と自立をめざして事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分)第1節 高齢者の健康と自立事後:講義の要点・ポイントについてまとめること (90分)第2節 障害者が生活の不自由を克服する道事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分)第3章パリアフリーとユニバーサルデザイン事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分)第1節 バリアフリーデザインとユニバーサルデザインを考える事後:講義の要点・ポイントについてまとめること (90分)第2節 生活を支えるさまざまな用具①事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分)第2節 生活を支えるさまざまな用具②事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分)第2節 生活を支えるさまざまな用具②事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分)第2節 生活を支えるさまざまな用具②事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分)第2節 生活を支えるさまざまな用具②事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分)第4章 安全・安心・快適な住まい事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分)第4章 安全・安心・快適な住まい事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分)第1節 住まいの整備のための基本技術事後:講義の要点・ポイントについてまとめること (90	4		事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(90
第1節 高齢者の健康と自立 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること (90分) 第2節 障害者が生活の不自由を克服する道 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第3章バリアフリーとユニバーサルデザイン 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第1節 バリアフリーデザインとユニバーサルデザインを考える 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第2節 生活を支えるさまざまな用具① 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第2節 生活を支えるさまざまな用具② 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第2節 生活を支えるさまざまな用具② 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第2節 生活を支えるさまざまな用具② 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第4章 安全・安心・快適な住まい 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第1節 住まいの整備のための基本技術 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること (90			分)
分)第2節 障害者が生活の不自由を克服する道事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること (90分)第3章バリアフリーとユニバーサルデザイン事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分)7第1節 バリアフリーデザインとユニバーサルデ ザインを考える事後:講義の要点・ポイントについてまとめること (90分)第2節 生活を支えるさまざまな用具①事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分)第6:講義の要点・ポイントについてまとめること (90分)事後:講義の要点・ポイントについてまとめること (90分)第6:講義の要点・ポイントについてまとめること (90分)事後:講義の要点・ポイントについてまとめること (90分)第4章 安全・安心・快適な住まい事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分)第1節 住まいの整備のための基本技術事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分)事後:講義の要点・ポイントについてまとめること (90分)事後:講義の要点・ポイントについてまとめること (90分)		第2章 健康と自立をめざして	事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと(90分)
第2節 障害者が生活の不自由を克服する道事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること (90分)第3章バリアフリーとユニバーサルデザイン事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分)7第1節 バリアフリーデザインとユニバーサルデザインを考える事後:講義の要点・ポイントについてまとめること (90分)第2節 生活を支えるさまざまな用具①事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること (90分)第2節 生活を支えるさまざまな用具②事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること (90分)第4章 安全・安心・快適な住まい事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分)第4章 安全・安心・快適な住まい事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分)第4章 安全・安心・快適な住まい事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分)第6年 第4章 安全・安心・快適な住まい事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分)第5日 第4章 安全・安心・快適な住まい事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分)第6年 第5日	5	第1節 高齢者の健康と自立	事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(90
事後:講義の要点・ポイントについてまとめること (90分)			分)
(タ) 第3章バリアフリーとユニバーサルデザイン 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと(90分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(90 分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(90分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(90分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(90分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(90分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(90分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(90分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(90分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(90分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(90分) 事が:教科書の該当箇所を通読しておくこと(90分) 事が:教科書の該当箇所を通読しておくこと(90分) 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと(90分) 事前:教科書の該当		第2節 障害者が生活の不自由を克服する道	事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと(90分)
第3章バリアフリーとユニバーサルデザイン 第1節 バリアフリーデザインとユニバーサルデ ザインを考える事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること (90分)	6		事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(90
7 第1節 バリアフリーデザインとユニバーサルデ ザインを考える 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること (90 分) 第2節 生活を支えるさまざまな用具① 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第2節 生活を支えるさまざまな用具② 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第2節 生活を支えるさまざまな用具② 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること (90分) 第4章 安全・安心・快適な住まい 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第1節 住まいの整備のための基本技術 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること (90			分)
ザインを考える分)第2節 生活を支えるさまざまな用具①事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと(90分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(90分)第2節 生活を支えるさまざまな用具②事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと(90分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(90分)第4章 安全・安心・快適な住まい 第1節 住まいの整備のための基本技術事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと(90分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(90		第3章バリアフリーとユニバーサルデザイン	事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと(90分)
第 2 節 生活を支えるさまざまな用具① 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと(90分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(90分) 第 2 節 生活を支えるさまざまな用具② 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと(90分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(90分) 分) 第 4 章 安全・安心・快適な住まい 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと(90分) 第 1 節 住まいの整備のための基本技術 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(90	7	第1節 バリアフリーデザインとユニバーサルデ	事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(90
8事後:講義の要点・ポイントについてまとめること (90分)第2節 生活を支えるさまざまな用具②事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分)事後:講義の要点・ポイントについてまとめること (90分)第4章 安全・安心・快適な住まい事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分)第1節 住まいの整備のための基本技術事後:講義の要点・ポイントについてまとめること (90		ザインを考える	分)
分)第2節 生活を支えるさまざまな用具②事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること (90分)第4章 安全・安心・快適な住まい 10 第1節 住まいの整備のための基本技術事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること (90		第2節 生活を支えるさまざまな用具①	事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと(90分)
第 2 節 生活を支えるさまざまな用具② 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること (90分) 分) 第 4 章 安全・安心・快適な住まい 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分) 第1節 住まいの整備のための基本技術 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること (90	8		事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(90
9事後:講義の要点・ポイントについてまとめること (90分)第4章 安全・安心・快適な住まい事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと (90分)10 第1節 住まいの整備のための基本技術事後:講義の要点・ポイントについてまとめること (90			分)
分) 第4章 安全・安心・快適な住まい 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと(90分) 10 第1節 住まいの整備のための基本技術 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(90)		第2節 生活を支えるさまざまな用具②	事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと(90分)
第4章 安全・安心・快適な住まい 10 第1節 住まいの整備のための基本技術 事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと(90分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(90	9		事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(90
10 第1節 住まいの整備のための基本技術 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(90			分)
		第4章 安全・安心・快適な住まい	事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと(90分)
分)	10	第1節 住まいの整備のための基本技術	事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(90
			分)

	第2節 生活行為別に		事前:耄	数科書の該当箇所を通記	売しておくこと(90分)			
11	まい①			事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(90				
			分)					
	第2節 生活行為別に	見る安全・安心・快適な住	事前:教	数科書の該当箇所を通詞	読しておくこと(90分)			
12	まい②		事後:講	講義の要点・ポイント (についてまとめること ((90		
			分)					
	第5章 安心できる住宅	生活とまちづくり	事前:教	枚科書の該当箇所を通詞	読しておくこと(90分)			
13	第1節 ライフスタイク	ルの多様化と住まい	事後:譚	構義の要点・ポイントに	についてまとめること ((90		
			分)					
	第2節 安心できる住	生活	事前:教	枚科書の該当箇所を通記	読しておくこと(90分)			
14			事後:講	構義の要点・ポイント(についてまとめること((90		
			分)					
	第3節 安心して暮ら	せるまちづくり	事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと(90分)					
15			事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(90					
			分)					
準備学	学習・事後学習等につ	いての補足説明						
・事前	対学習で分からない箇所	は授業で積極的に質問してく	ださい					
成績評	平価の方法 〔評価項目	と割合]						
小テス	: 1	サブノート						
70% 30%		30%						
使 用	用テキスト							
書籍名	<u> </u>			著者	出版社			
福祉住	環境コーディネーター	検定試験3級公式テキスト			東京商工会議所			
介護福	福祉士養成講座6 生活家	支援技術 I			中央法規出版			
4 4 4	サフルシュ次ツ笠			•	•			

参考書又は参考資料等

・適宜資料を配布します

その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

秋に実施される福祉住環境コーディネーター試験の勉強も合わせて進めて下さい

担当教員E-mail	その他
murata@knwu.ac.jp	

授	業	科	目	名	生活支援技術(家事の介護)							
担	当		者	名	田中 文佳、	梅林 千恵子	実	務	家	教	員	0
科	目	П	-	۲	2500010		授	業		形	態	講義・演習
学				年	1		開		講		期	2023年度 後期
単		位		数	2		履				修	介護福祉士必修
ナ	ン ハ	ر ا	レン	グ	DP2-1-B		· · ·					

の特記事項含む〕

- 授業の概要と方法 1. 「生活」を構造的に捉え、人々の暮らしが衣食住及び家計経済、家族機能の連続かつ相互 〔実務家教員について 作用において形成されていることを理解する。また、個々人の生活を支える上で必要となる 生活機能全般に関する基礎知識を習得する。
 - 2. 衣食住における安全で健康的な支援が、介護を必要とする方たちのADL及びQOLの維 持、向上に深くかかわっていることを認識し、その具体的実践方法を習得する。食について は管理栄養士の実践経験を通して、栄養、調理、衛生管理等について分かりやすく教示す る。

- 授業の到達目標1. 生活設計に関する基礎知識が身についている。
 - 〔学習成果〕
- 2. 五大栄養素や食事のバランスについて説明できる。
- 3. 高齢者にふさわしい食事形態に留意でき、安全で衛生的な調理方法が理解できる。
- 4. 被服機能の基礎知識及び洗濯等管理方法を説明できる。

授	業計画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間
1	[講義](田中)	事前:テキストの指定範囲を読んでおく(90分)
	家庭生活の理解と家庭を取り巻く社会状況	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する(90分)
2	[講義](梅林)	事前:テキストの指定範囲を読んでおく(90分)
	食生活の基本知識、高齢者の食事への配慮	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する(90分)
3	[講義](梅林)	事前:テキストの指定範囲を読んでおく(90分)
	調理の基本について	事後:配布資料を熟読し演習の準備をする(90分)
4	[演習] 調理実習(梅林)	事前:配布資料を読み、実習に臨む準備をする(90分)
	軟らかく食べやすい食事 ① 粥	事後:学習プリントに内容をまとめる(90分)
5	[演習] 調理実習(梅林)	事前:配布資料を読み、実習に臨む準備をする (90分)
	軟らかく食べやすい食事 ②軟菜	事後:演習を振り返り、課題レポートを作成する(90分)
	[講義](田中)	事前:テキストの指定範囲を読んでおく(90分)
6	生活設計の考え方(1)	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する(90分)
	家計における収入と支出	
	[講義](田中)	事前:テキストの指定範囲を読んでおく(90分)
7	生活設計の考え方(2)	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する(90分)
	悪徳商法と消費者保護の法制度	
	[演習] 確認作業(田中)	事前:確認テストの範囲を復習する(90分)
8	生活設計の考え方(3)まとめ	事後:確認テストを見直し内容を理解する(90分)
	① 家計の支出入の分類と計算	
	② 悪徳商法の事例検討	
	[講義」(田中)	事前:テキストの指定範囲を読んでおく(90分)
9	被服生活の基礎知識(1)	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する(90分)
	① 被服の機能	
	② 繊維の取り扱い表示(ISO表示)	

	「講義」(田中)	事前:テキストの指定範囲及び学習プリントを読んでおく			
10	被服生活の基礎知識 (2)	(90分)			
10	① 繊維の種類と特徴	事後:自宅の洗剤等を確認し学習プリントに記入する(90			
	② 被服の洗濯方法と洗剤の種類	分)			
	[講義」(田中)	事前:テキストの指定範囲及び学習プリントを読んでおく			
11	被服生活の基礎知識 (3)	(90分)			
'-	高齢者の身体機能に応じた被服の工夫	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する			
		確認テストの準備(90分)			
	[演習] 家事の実践(田中)	事前:配布されている関連資料を読み演習の準備をする			
12	① 掃除の方法(洗剤、掃除器具)	(90分)			
12	② 洗濯	事後:演習を振り返り、課題レポートを作成する(90分)			
	③ アイロンがけ				
	[講義](田中)	事前:配布されている関連資料を読んでおく(90分)			
13	在宅生活を支える家事援助(1)	事後:配布した資料を読み学習プリントに自分の考えを			
	在宅家事の理解	記入する(90分)			
	[講義](田中)	事前:配布されている関連資料を読んでおく(90分)			
14	在宅生活を支える家事援助(2)	事後:配布した資料を読み学習プリントに自分の考えを			
	多職種連携支援の実際	記入する(90分)			
15	[演習] 確認作業(田中)	事前:確認テストに向けて内容の総復習をしておく(90分)			
15	まとめレポートの作成	事後:確認テストを見直し内容を理解する(90分)			

- ・テキスト及び資料を熟読し、予習と復習を心掛けてください。
- ・演習のレポート及び自己学習プリントは成績評価に反映します。学習プリントは随時提出してください。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	提出物	授業への取り組み姿勢	
40%	30%	30%	

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
「最新 介護福祉士養成講座 6 生活支援技術 I 」 (第2版)	介護福祉士養成講座編集 委員会	中央法規出版
「見て覚える!介護福祉士国試ナビ2023」	いとう総研資格取得支援 センター	中央法規出版

参考書又は参考資料等

「クエスチョン・バンク 介護福祉士国家試験問題解説2024」

その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

- ・調理実習及びその他演習のレポート課題は締め切りを厳守し、適宜提出してください。
- ・レポート、課題は確認の後に返却します。

担当教員E-mail	その他
t.fumi@hcc.ac.jp	

授	業和	4 目	名	介護過程I							
担	当	者	名	廣藤 智之	実	務	家	教		Į	0
科	目二	ı —	ド	2500026001	授	業		形	痕	態	演習
学			年	1	開		講		į	朝	2023 年度 前期
単	亿	Ĺ	数	3	履				作	多	介護福祉士必修
ナン	ノバ	リン	グ	DP2-1-A							
授業	の概要	要と方	法	・介護過程は利用者を主体とす	トる生	上活す	と援	活動	の	展開力	方法である。本科目の講義・演習
〔実	務家都	数員に	つい	は、介護老人保健施設および追	所り	リハヒ	ごリ	テー	ショ	ョンで	での職務経験を持つ教員が、他科
ての	特記事	項含	to)	目で学習した対人援助者として	てのエ	専門的	内知	識お	は	び技術	析を統合し、利用者を総合的に理
				解し適切な介護を実践するため	かの !	思考证	過程	を習	得	する	学習とする。
				・利用者の望む生活の実現を表	を援っ	よるた	こめ	課題	と角	解決に	こついて、アセスメント、自立支
				援に沿った介護計画の立案・第	を しゅうしゅう とうしゅ とうしゅ とうしゅ とうしゅ しゅうしゅ とうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅう しゅうしゃ しゅう	評価	Б、 §	多職和	種協	協働に	よるチームアプローチの必要性
				について習得する。							
				・さまざまな生活課題(ニース	ぐ) に	対し	て	の解	決負	食やサ	ーービス内容を、グループワーク
				を通しディスカッションし、多角的な視点を育む。							
授業	の到達	性目標		1. 生活上のニーズを把握するための情報収集、および課題抽出の方法が理解できる。							
〔学	習成界	人(2. 介護(生活支援)の意義が理解でき、一連の介護過程の展開方法が説明できる。							
				3. 社会資源を活用し、介護、医療、保健との連携・協働を活かした介護計画の立案、							
				および実践・評価ができる							
授	業	計	画		準値	#学習	国 (-	予習	・復	复習等	等)の具体的な内容及び必要時間
	^ =#	*\D 40 .	الدندا م			前:テ	キン	スト	等の)指定	(範囲 (事前指示) を通読する (20
1	介護 ショ		ク授業 かっこう かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	内容について(オリエンテー	分) 事?	糸・ラ	ナ リ	エン	/テ	ーシ	ョン用プリントを再読する(25
	7	•			分)	× · /	y /				1 0 /11 / 0 1 5 11 mm / 0 (20
9	介護	過程と	とは ①			前:テ	キン	スト	等の)指定	至範囲 (事前指示)を通読する (20
2	• 介	護過程	星の意	義・目的	分) 事行	後: 介	護	過程	<u>の</u>	意義。	・目的の要点をまとめる(25 分)
					事詞						で範囲 (事前指示) を通読する (20
3		過程 & 過程 Ø			分)	% . <i>!</i> :	⋋ =#`	.田土口	σ E	記明の	つぶれ (人体係) ナオトルフ (95
	刀픦	運性(ソ王仲	家	事後:介護過程の展開の流れ(全体像)をまとめる(25 分)						
介護過程とは ③ 4 ICIDH (国際障害分類) と ICF (国際生活 分類)				前:テ	キン	スト	等の)指定	至範囲 (事前指示) を通読する (20		
		際障害	善分類)と ICF(国際生活機能	分) 事後:ICIDH と ICF の概念についてまとめる(25分)							
			1.14 ((第三年) (20 (20 元) (20
5		過程と 過程と) (国際生活機能分類)	分)						
	, н,х				-						既念についてまとめる(25分) (範囲(事前指示)を通読する(20
6	生活	支援に	こおけ	る介護過程の必要性 ①	分)	ייו • י	1/	, 1. <u>-</u>	4,0	~1 日 \€	- 中D 区 (中 D 11日 11 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17
Ю	• 生	活支持	爰にお	ける介護過程の意義	事行	後:生	活:	支援に	にま	さける	介護過程の意義についてプリン

トを再読する (25分)

を再読する(25分)

分)

生活支援における介護過程の必要性 ②

・介護過程と事例検討

事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20

事後:事例検討の具体的な方法・要点についてプリント

8	アセスメントの思考の方法、視点について	事前: テキスト等の指定範囲 (事前指示) を通読する (20分) 事後: アセスメントの意義・目的をまとめる (25分)
9	介護過程の展開① (アセスメント・介護計画の立案)	事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20分) 事後:一連の介護過程の展開の流れを具体的にまとめる(25分)
10	介護過程の展開② (介護の実施・評価)	事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20分) 事後:一連の介護過程の展開の流れの要点をまとめる (25分)
11	アセスメント(情報収集)① ・情報収集の意義	事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20分) 事後:情報収集の意義について要点をまとめる(25分)
12	アセスメント(情報収集)② ・アセスメントと情報収集	事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20分) 事後:アセスメントにおける情報収集の具体的内容をま とめる(25分)
13	アセスメント(情報収集)② ・情報収集の方法(ICF モデルの活用)	事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20分) 事後:情報収集の方法・留意点をまとめる(25分)
14	事例 A の介護過程の展開方法について ・アセスメント用紙(情報収集)の記載	事前:アセスメント用紙の現状の情報の具体的内容を確認する(20分) 事後:情報の記載方法の確認する(25分)
15	事例 A の現状の情報整理 ① (GW) ・食事、排泄の情報収集の内容等	事前: 事例 A の食事・排泄の情報を記載する(20分) 事後:講義で追加された情報を清書用のアセスメント用 紙に整理する(25分)
16	事例 A の現状の情報整理 ②(GW) ・移乗・移動、コミュニケーションの情報収集の内容等	事前: 事例 A の移乗・移動、コミュニケーションの情報を記載する(20分) 事後:講義で追加された情報を清書用のアセスメント用 紙に整理する(25分)
17	事例 A の現状の情報整理 ③ (GW) ・入浴・清潔保持、身じたくの情報収集の内 容等	事前: 事例 A の入浴・清潔保持、身じたくの情報を記載する(20分) 事後:講義で追加された情報を清書用のアセスメント用紙に整理する(25分)
18	事例 A の現状の情報整理 ④ (GW) ・睡眠、精神・行動障害、豊かさの情報収集 の内容等	事前: 事例 A の睡眠、精神行動障害、豊かさの情報を 記載する(20分) 事後:講義で追加された情報を清書用のアセスメント用 紙に整理する(25分)
19	アセスメント (解釈・関連づけ・統合化) ① ・情報の解釈・関連づけ・統合化とは	事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20分) 事後:情報の解釈・関連づけ・統合化についてプリント を再読する(25分)
20	アセスメント (解釈・関連づけ・統合化) ②・生活課題の明確化とは	事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20分) 事後:生活課題の明確化についてプリントを再読する(25分)
21	事例 A の介護過程の展開方法について (GW) ・アセスメント用紙 (解釈・関連づけ・統合 化)記載	事前: 事例 A の解釈・関連づけ・統合化を考え記載する(20分) 事後:講義内容を清書用のアセスメント用紙に整理する(25分)
22	介護実習 I -A での介護過程の展開について	事前:介護実習 I -A における介護過程の必要事項をま とめる (20分) 事後:介護実習 I -A の介護過程の展開 (課題) 内容を

		再確認する (25分)
23	介護実習 I -A での介護過程の展開の振り返り	事前:介護実習 I -A における介護過程での学びや課題をまとめる(20分) 事後:発表や質疑応答から、自己の課題および今後の対策を考察する(25分)
24	事例 A の介護過程の展開方法について ・アセスメント用紙(生活課題・ニーズ)記載	事前: 事例 A の生活課題・ニーズを考え記載する(20分) 事後:講義内容を基に清書用のアセスメント用紙に整理する(25分)
25	介護計画の立案 ① ・介護計画とは	事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20分) 事後:介護計画の内容についてプリントを再読する(25分)
26	介護計画の立案 ② ・長期目標の設定について	事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20分) 事後:長期目標の設定についてプリントを再読し要点を まとめる(25分)
27	介護計画の立案 ③ ・短期目標の設定について	事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20分) 事後:短期目標の設定についてプリントを再読し要点を まとめる(25分)
28	介護計画の立案 ④ ・具体的な支援内容・支援方法の決定につい て	事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20分) 事後:具体的な支援内容等についてプリントを再読し要点をまとめる(25分)
29	事例 A の介護過程の展開方法について ・介護計画の立案	事前:事例Aの介護計画を立案し記載する(20分) 事後:講義内容を基に介護計画書に整理する(25分)
30	介護の実施 ① ・介護の実施とは	事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20分) 事後:介護の実施についてプリントを再読する(25分)
31	介護の実施 ② ・実施における留意点	事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20分) 事後:実施における留意点について要点をまとめる(25分)
32	介護の実施 ③ ・実施の記録	事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20分) 事後:実施の記録についてプリントを再読する(25分)
33	介護実習 I -B での介護過程の展開について	事前:介護実習 I -B における介護過程の必要事項をまとめる (20分) 事後:介護実習 I -B の介護過程の展開 (課題) 内容を再確認する (25分)
34	介護実習 I -B での介護過程の展開の振り返り	事前:介護実習 I -B における介護過程での学びや課題をまとめる (20分) 事後:発表や質疑応答から自己の課題および今後の対策を考察する (25分)
35	介護実習 I -B 対象者のアセスメント内容確認	事前:介護実習 I -B の対象者のアセスメント記入内容 を確認する (20分) 事後:介護計画立案における準備(生活課題・支援内容 等)を考える (25分)
36	介護実習 I -B 対象者の介護計画の立案 (GW)	事前:介護計画を立案する(20分) 事後:GWで出された意見を基に、介護計画の修正する (25分)
37	評価 ① ・評価の意義と目的	事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20 分)

		東後、萩畑の辛業し日始についてプリントも再誌より
		事後:評価の意義と目的についてプリントを再読する(25分)
		事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20
38	評価 ②	分)
30	・評価の内容と方法	事後:評価の内容と方法について要点をまとめる(25)
		分)
		事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20
0.0	評価 ③	分)
39	介護計画修正の必要性	事後:介護計画修正の必要性について要点をまとめる
		(25分)
	介護実習 I -B 対象者の介護計画の実施記録作	事前: 実施の記録についてプリントを再読する (20分)
40	成	事後:講義での実施記録の個別指導の内容を整理し記載
40	(仮定)	する(25分)
		事前: 実施の評価についてプリントを再読する (20分)
4.1	介護実習 I -B 対象者の介護計画の評価作成	
41	(仮定)	事後:講義での評価の個別指導の内容を整理し記載する
		(25分)
		事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20
42	介護過程とケアマネジメント ①	分)
12	・ケアマネジメントの全体像	事後:ケアマネジメントの全体像についてプリントを再
		読する(25分)
		事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20
43	介護過程とケアマネジメント ② ・ケアプランと個別援助計画の関係性	分)
45		事後:ケアプランと個別援助計画の関係性について要点
		をまとめる(25 分)
	イー・ファー・インマン・ユットフ 人 芸石 灯 し の 須肉	事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20
	チームアプローチにおける介護福祉士の役割	分)
44		事後:チームアプローチの意義についてプリントを再読
	・チームアプローチの意義	する (25分)
		事前:テキスト等の指定範囲(事前指示)を通読する(20
	チームアプローチにおける介護福祉士の役割	分)
45	2	事後:チームアプローチの実際についてプリントを再読
	・チームアプローチの実際	する (25分)
		/ S (20 /J)

- ・各単元(若しくは授業)の終わりに要点(まとめ)を伝えますので、配布プリントの内容を確認してください。
- ・アセスメントシート、介護計画書等を提出してもらい、内容を確認し返却します(必要に応じ、個別指導を 行います)。
- ・テキストをもとに事前及び事後の学習をし、3回の介護実習を通して段階的に介護過程の意義や重要性が理解できるように授業を展開していきます。実習中に担当利用者(アセスメント対象者)について総合的に理解できるよう、疾患の特徴や必要な支援・留意点等を自ら調べたり、職員や教員に質問したりすることで、生活課題および適切な支援方法を考えてください。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	提出物 (アセスメントシート 等)	
60%	40%	

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
『最新 介護福祉士養成講座 9 介護過程 第2版』	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版

『最新 介護福祉士養成講座 陪実の理解 第2 版』	14	△淮ヶ
障害の理解 第2版』		刀 護怕

介護福祉士養成講座編集委員会

中央法規出版

参考書又は参考資料等

『クエスチョン・バンク 介護福祉士国家試験問題解説 2024』

その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

- ・プリントを配布するため、授業ファイルを作成してください。
- ・各段階の介護実習と連動して授業展開していくため、提出物の期日は厳守してください。
- ・提出物(アセスメント用紙・介護計画書等)は添削・校正を行い返却します。アセスメントの視点を再確認し、介護実習での介護過程の展開の参考にしてください。
- ・アセスメントは、「その人らしい生活を支援する」ために必要なものです。介護実習で得た個人情報等について守秘義務があることを絶対に忘れないでください。

	担当教員 E-mail	その他
	hirofuji@hcc.ac.jp	

-				
授 業 科 目 名	介護過程Ⅱ			
担 当 者 名	廣藤 智之	実務家教員	0	
科目コード	2500027	授 業 形 態	演習	
学 年	1	開 講 期	後期	
単 位 数	2	履修	介護福祉士必修	
ナンバリング	DP2-1-B			
授業の概要と方法 〔実務家教員につい ての特記事項含む〕	・介護過程は利用者を主体とする生活支援活動の展開方法である。本科目の講義・演習は、介護老人保健施設および通所リハビリテーションでの職務経験を持つ教員が、他科目で学習した専門的知識・技術を統合し、利用者の全体像を理解することで、個々の利用者への適切な介護実践に結び付けるための思考過程を習得する学習とする。・チームアプローチの重要性と介護福祉士として求められる専門性の自覚、専門職としてのアイデンティティの確立を目指し、問題解決の思考過程を養う講義・演習を実施する。・介護保険制度における「ケアマネジメント」(ケアプラン)と、介護福祉職が実践する「介護過程の展開(介護計画)」の違いについて論理的に説明できるように学習していく。・実際の介護過程の展開を通して、個別支援の重要性、その人らしさを大切にしたICFの視点を取り入れた支援方法の模索をグループワークやカンファレンスを通して、広い視点で捉えられるように授業を展開し、事例研究発表(プレゼンテーション)を行う。			
[学習成果] 1. 社会資源を活用し、介護、医療、保健との連携・協働を活かした多職種で学のでは、会には、会には、企業を必要性が説明できる。 2. 各領域で学んだ知識と技術を統合し、介護実践に必要な観察力・判断力をおいての、の利学的な根拠が説明できる。 3. ICF の視点から論理的に発表できるよう事例研究としてまとめ、プレゼンンできる。			、要な観察力・判断力及び思考力 な根拠が説明できる。	
授 業 計 画		準備学習(予習・復習等	等)の具体的な内容及び必要時間	
事例研究の書き	•		(プリント)を通読する(20分) を理解できるよう復習を行う(25	

授	業計画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間
1	事例研究の書き方について① (事例研究の意義・目的)	事前:過去の事例研究(プリント)を通読する(20分) 事後:研究の意義・目的を理解できるよう復習を行う(25分)
2	事例研究の書き方について② (事例研究作成スケジュール・書式)	事前:過去の事例研究(プリント)を通読し、書式・構成を理解する(20分) 事後:介護実習IIでの介護過程の展開方法を考える(25分)
3	事例研究の書き方について③ (PowerPoint 作成方法)	事前:過去の PowerPoint (プリント) を通読する (20分) 事後:自己の PowerPoin と事例研究の内容の構成を考える (25分)
4	事例研究の書き方について④ (事例研究のプレゼンテーション方法)	事前:過去の PowerPoint (プリント) を通読し事例研究と比較する (20分) 事後:デモンストレーションを聞き、自分のプレゼン内容考える (25分)
5	介護実習Ⅱでの介護過程の展開について	事前:介護実習Ⅱにおける介護過程の必要事項をまとめる(20分) 事後:介護実習Ⅱの介護過程の展開(課題)内容を再確認する(25分)
6	介護実習Ⅱでの介護過程の展開の振り返り	事前:介護実習Ⅱにおける介護過程での学びや課題をま とめる(20分) 事後:各学生の発表から、自己の課題および今後の対策 を考察する(25分)

		本子 IOF の出げ機器をご2(図)の信取またさ(00)
7	介護実習Ⅱ対象者の ICF への転換	事前: ICF の生活機能モデル (図) の復習を行う (20分) 事後: 介護実習Ⅱ対象者の情報を ICF の 6 項目に分類
		し記入する(25分)
8	事例研究 第 1 稿作成(Word 入力)① ・フェイスシート、アセスメント	事前: 入力するフェイスシート、アセスメントの内容を まとめる (20分)
		事後:指定日までに入力を終わらせる(25分)
9	事例研究 第1稿作成(Word 入力)② ・介護計画、実施記録	事前:入力する介護計画・実施記録の内容をまとめる(20 分)
	7 晚时回 、	事後:指定日までに入力を終わらせる(25分)
10	事例研究 第 1 稿作成(Word 入力)③ ・考察、まとめ	事前: 入力する考察・まとめの内容をまとめておく(20分)
	7,X,(3, C)	事後:指定日までに入力を終わらせる(25分)
11	事例研究 第2稿作成(Word 入力)④	事前: 事例研究をプリントアウトし各自確認後、提出する (20 分)
	・添削・校正	事後:教員の添削・校正後、指定日までに再入力し提出
	* ETT *	する (25分) まさ、まだ!!
12	事例研究	事前: 事例研究を基に PowerPoin を作成する (20 分)
	・PowerPoint 作成	事後:指定日までに入力を終わらせる(25分)
	TO THE TANK OF A SHEET	事前:PowerPoin を基にプレゼンテーションを練習する
13	事例研究発表会準備	
	・発表の方法・進行等について	事後: 教員の助言・指導内容を参考にプレゼンを練習す
		る (25分)
		事前:プレゼンテーションを練習し、他学生の質問を考
14	事例研究発表会(プレゼンテーション)①	える (20分)
	・前半の学生の事例発表、及び質疑応答	事後:自己のプレゼンテーションを振り返り課題をまと
		める (25分)
	事例研究発表会(プレゼンテーション)② ・後半の学生の事例発表、及び質疑応答	事前:プレゼンテーションを練習し、他学生の質問を考
15		える(20 分) 事後:自己のプレゼンテーションを振り返り課題をまと
		争仮: 日このノレセンナーションを振り返り誅題をよと める(25 分)
		ある (25 万)
	記録の種類と方法について	新加・ケケケケ と
16	・ケアプランと個別援助計画の関係性(復習)	事後:フィールドワークの流れを確認し、質問等を考え
	// / / CIDAHAMAH HIVIMINIA (IXII)	る (25 分)
		事前:居宅介護支援事業者の役割および質問等をまとめ
1 =	居宅介護支援事業者見学(フィールドワーク)	る (20分)
17	(1)	事後:フィールドワークからの学びをレポートとして提
	・介護支援専門員からの説明	出する (25分)
	居宅介護支援事業者見学(フィールドワーク)	事前:居宅介護支援事業者の役割および質問等をまとめ
18	店七月 護又後事来自兄子(ノイールトリーク) ②	る (20分)
10	・質疑応答等	事後:フィールドワークからの学びをレポートとして提
	>	出する (25分)
	事例で考える利用者の生活と介護過程の展開	事前: テキスト等の指定範囲(事例①) を通読する(20
19		分) 東海の中容なられいコートンフ(以上社)の維佛
	・感染性疾患のある利用者の生活支援	事後: 事例の内容からカンファレンス(KJ 法)の準備 たんこ (25 /)
		を行う(25分)
		事前:進行・議事録役等を選出し、カンファレンスの準備を行う(20分)
20	①の事例に対するカンファレンス	備を行う(20分)
		事後:カンファレンスから得られた気づき、学びをまとしなる (25分)
		める (25 分) 事前:発表の準備を行う (20 分)
21	①の事例に対する発表	事前:発表の準備を行う(20分) 事後:発表から得られた気づき、学びをまとめる(25
41	し、シャナルリーン リングスタ	争後: 光衣がり待りれた X フさ、子いをまとめる (23 分)
		N1

	事例で考える利用者の生活と介護過程の展開	事前:テキスト等の指定範囲(事例②)を通読する(20
22		
	・在宅でターミナルを迎える高齢者と家族の	事後:事例の内容からカンファレンス(KJ法)の準備
	生活支援	を行う(25分)
		事前:進行・議事録役等を選出し、カンファレンスの準
23	②の事例に対するカンファレンス	備を行う(20分)
		事後:カンファレンスから得られた気づき、学びをまと
		める (25分)
0.4	の本切ったナスジェ	事前:発表の準備を行う(20分)
24	②の事例に対する発表	事後:発表から得られた気づき、学びをまとめる(25
		分)
	事例で考える利用者の生活と介護過程の展開	事前: テキスト等の指定範囲(事例③)を通読する(20分)
25	3	´ガ´ 事後:事例の内容からカンファレンス(KJ 法)の準備
	・医療的な処置が必要な高齢者の生活支援	
		を行う(25 分) 事前:進行・議事録役等を選出し、カンファレンスの準
	③の事例に対するカンファレンス	争削:連行・議争球仗寺を選出し、ガンファレン人の単 備を行う(20分)
26		´´
		争後: ガンファレンへから待られたべつさ、子いをまと める (25 分)
		事前:発表の準備を行う(20 分)
27	③の事例に対する発表	事前: 先級の平偏を行う (20 カ) 事後: 発表から得られた気づき、学びをまとめる (25)
21	(回り) 事例に対する光衣	新俊: 光級がら待ちれいに対して、手がをよどめる (20 分)
		■ 事前:3つの事例に対する気づき、学びをまとめ発表の
		準備を行う(20分)
28	3つの事例に対するまとめ、発表	事後:発表から得られた気づき、学びをまとめる(25)
		分)
		事前:プレゼンテーションを練習し、他学生の質問を考
	介護職実践セミナー (事例研究発表会)①	える (20分)
29	・他養成校学生の事例研究発表	事後: 各学生のプレゼンテーションを振り返り課題をま
	, <u></u>	とめる (25分)
		事前:プレゼンテーションを練習し、他学生の質問を考
00	介護職実践セミナー (事例研究発表会)②	える (20 分)
30	・質疑応答、情報交換会	事後:各学生のプレゼンテーションを振り返り課題をま
		とめる(25 分)

- ・単元(若しくは授業)の終わりに要点(まとめ)を伝えますので、配布プリントの内容を確認してください。
- ・授業ファイルは定期的に提出し内容を確認し返却します(必要に応じ、個別指導を行います)。
- ・実習での実践内容を必ず記録し、メモについても残しておいてください。
- ・学内および他養成校との事例研究発表を行う予定にしておいるため、日頃の授業でのグループワーク、カンファレンス等の機会を大切にし、プレゼンテーション力の向上に努めてください。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕

介護過程事例研究レポート	提出物 (介護計画書、支援記録 等)	授業への取組み姿勢	
50%	30%	20%	

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
『最新 介護福祉士養成講座 9 介護過程 第2版』	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版
『見て覚える! 介護福祉士国試 ナビ 2023』	いとう総研資格取得支援センター	中央法規出版

参考書又は参考資料等

hirofuji@hcc.ac.jp

『クエスチョン・バンク 介護福祉士国家試験問題解説 2024』

その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

- ・授業ファイルを作成してください。
- ・アセスメントシート、介護計画書等、書類の提出物の期日は厳守してください。
- ・提出物(アセスメント用紙・介護計画書・事例研究レポート等)は添削・校正を行い返却します。
- ・情報収集やアセスメントは、「その人らしい生活を支援する」ために必要なものです。介護実習で得た個人情報等に実習中のみならず、卒業後も守秘義務があることを絶対に忘れないでください。

担当教員の連絡先等 その他

授	業	科	目	名	介護総合演習						
担	当		者	名	田中 文佳	実	務	家	教	員	
科	目	П	_	ド	2500028	授	業		形	態	演習
学				年	1	開		講		期	2023年度 前期
単		位		数	1	履				修	介護福祉士必修
ナ	ンノ	ĭ J	リン	グ	DP1-1-A						

の特記事項含む〕

授業の概要と方法 介護実習施設の概要を理解し、実習に出向く心構えや基礎知識の学習、学びの視点等を深め 〔実務家教員についてる。また、生活支援技術やコミュニケーション技術、こころとからだ等、他の教科を融合し ながら、介護を必要とされる方々の個別支援に必要なケアのあり方について自ら考える力を 培う。グループワーク、個別課題、実習報告会への取り組みを通して専門職意識の向上を目 指す。

授業の到達目標 1.介護福祉士養成教育における実習の意義・目的を説明できる。

〔学習成果〕

- 2. 介護を必要とされる方に寄り添い、利用者理解に努めることができる。
- 3. 介護福祉士の役割と業務内容について説明できる。
- ▲4. 実習生として必要な礼儀、学ぶ態度、コミュニケーション能力、記録の記載、「報告・連 絡・相談」等の社会性が身についている。

授	業計画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間
1	介護総合演習の位置づけと目的	事前:テキストの指定範囲を読んでおく (15分)
	求められる介護福祉士像の理解	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する (30分)
	介護実習Iの目的と内容	事前:テキストの指定範囲及び配布資料を読んでおく
2		(15分)
		事後:テキスト、資料を参考に学習プリントに記入する
		(30分)
	事前学習の意義と目的	事前:テキストの指定範囲及び配布資料を読んでおく
3	介護実習開始までの流れと事前学習	(15分)
		事後:テキスト、資料を参考に学習プリントに記入する
		(30分)
	書類の作成と準備について	事前:資料を読み、必要物品を準備する(15分)
4	(個人票・実習計画書・オリエンテーション準備	事後:実習提出書類を作成する (30分)
	等)	
	介護実習記録の書き方(1)	事前:テキストと資料を読み、記録の書き方の概要を理解
5	記録の際の留意事項、評価、考察の書き方	しておく (15分)
		事後:資料を参考に記録の一例を作成する (30分)
6	介護実習記録の書き方(2)	事前:資料を読み、考察の書き方を再度確認する(15分)
	実際の記入と書き方の確認	事後:資料を参考に記録(考察)の一例を作成する(30分)
	介護保険制度と介護実習の種類	事前:テキストの指定範囲と配布資料を読んでおく(15分)
7	実習先の特徴と学ぶべきポイント	事後:テキストと配布資料を参考に学習プリントに
		記入する(30分)
	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)の	事前:テキストの指定範囲との手引きを読んでおく(15分)
8	概要	事後:実習の注意事項について学習プリントに記入する
	入所者の理解と支援(視聴覚教材)	(30分)

	介護実習I-Aの事前指導	事前:テキストの指定範囲と配布資料を読んでおく
		確認テストの準備(15分)
9		1
		事後:テキストと配布資料を参考に学習プリントに記入
		する(30分)
	介護実習I-Aの事後指導	事前:実習の課題を準備する
10	介護実習I-A報告書の作成	(日誌、レクリエーション活動計画書等)(15分)
		事後:教員の個別実習事後指導をまとめ報告書の作成に
		取り組む (30分)
	レクリエーション活動について	事前:レクリエーション活動の種類について
11	(計画書の作成と準備)	調べておく(15分)
		事後:レクリエーション活動の計画書を作成する(30分)
	介護老人保健施設の概要	事前:テキストの指定範囲と配布資料を読んでおく(30分)
12	入所者の理解と支援(既習の統合)	確認テストの準備
12		事後:テキストと配布資料を参考に学習プリントに
		記入する (15分)
	介護実習I-Bの事前指導	事前:テキストの指定範囲と手引きを読んでおく(15分)
13		事後:実習の注意事項について学習プリントに記入する
		(30分)
	介護実習I-Bの事後指導	事前:実習の課題を準備する
1.4	実習後指導 自己評価・実習報告書の作成	(日誌、レクリエーション活動計画書等)(30分)
14		 事後:教員の個別実習事後指導をまとめ報告書の作成に
		取り組む(30分)
	介護実習 実習 報告会	事前:配布資料を読み、自分の考えをまとめておく(30分)
15		事後:実習全体の振り返りと自己評価を学習プリントに
-		記入する (15分)
		□□// y ⊘ (IO/J)

- ・既得した基礎的介護技術は実習室等を利用し自主的に復習に取り組み、実習先での応用実践につなげてください。
- ・実習現場ではレクリエーションを実践する機会がありますので、高齢者や介護が必要な方々に適した造形、音楽、 体操等を調べ、準備をしてください。
- ・実習記録の記載に向け、日頃から活字を読み、論理的な文章の組み立てを意識してください。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕

発表(実習報告会)	提出物	授業への取り組み姿勢	
50%	30%	20%	

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
「最新 介護福祉士養成講座10 介護総合演習・介護実習」(第2版)	介護福祉士養成講座編集 委員会	中央法規出版

参考書又は参考資料等

「2023年度(令和5年度) 介護実習の手引き (東筑紫短期大学専攻科(介護福祉専攻))」

その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

- ・課題やレポート等の提出物は、適宜、提出期日を厳守して提出してください。
- ・提出物は確認、解説の後に返却します。
- ・各実習の振り返りと自身の課題を明確にして、実習報告会の内容をまとめてください。

に自然長の住権が守							
担当教員E-mail	その他						
t.fumi@hcc.ac.jp (田中)							

授	業	科	目	名	介護総合演習Ⅱ						
担	当	;	者	名	田中 文佳	実	務	家	教	員	
科	目	П	_	ド	2500029	授	業		形	態	演習
学				年	1	開		講		期	2023年度 後期
単		位		数	1	履				修	介護福祉士必修
+	ン ハ	()	ン	グ	DP1-1-B						

の特記事項含む〕

授 業 の 概 要 と 方 法 この科目では、介護実習 II の実習前準備と確認作業及び実習後の評価とまとめを行う。授業 〔実務家教員について では既得した学習内容を融合し、保健、医療、福祉の分野における介護福祉士の役割と独自 性を明確に理解できることを目指す。また、理論的根拠に基づく実践、記録の記載の習得に 向けて、グループワークや事例研究に取り組む。実習終了後にはパワーポイント資料による 実習報告会を実施する。様々な事例や意見交換を通して介護福祉実践に必要な多角的視点を 養う。

〔学習成果〕

- 授 業 の 到 達 目 標 1. 利用者の個別性を把握し理論的根拠に基づいた介護過程の展開を理解している。
 - 2. 多職種連携によるチームアプローチの重要性を認識し、介護福祉士の専門性と役割を理解 できる。
 - 3. 正確かつ根拠に基づく記録ができる。
 - 4. 実習報告書及び研究発表をまとめ、介護福祉士の自覚と職業倫理を身につけている。

授	業計画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間
1	介護実習Ⅱの目的と内容	事前:テキストの指定範囲を読んでおく (15分)
		事後:テキストを参考に学習プリントに記入する(30分)
	多様な介護福祉の現場の理解	事前:テキストの指定範囲を読んでおく (15分)
2	訪問事業、通所事業、相談支援	事後:テキストを参考に学習プリントに記入する
		確認テストの準備(30分)
	介護老人福祉施設の概要	事前:テキストの指定範囲を読んでおく
3	入所者の理解と支援 (既習の統合①)	確認テストの準備 (30分)
		事後:テキストを参考に学習プリントに記入する(30分)
	介護実習Ⅱの実習前指導	事前:テキスト、資料を読んでおく(15分)
4	演習(グループワーク)事例検討(既習の統合②)	事後:テキスト、資料を参考に学習プリントに記入する
		(30分)
	書類の作成と準備について	事前:資料を読み、必要物品を準備する (15分)
5	(個人票・実習計画書・オリエンテーション準備	事後:実習提出書類を作成する (30分)
	等)	
	時間外勤務、夜間勤務の概要	事前:テキストの指定範囲と配布資料を読んでおく(15分)
6	多職種連携の具体的実践例	事後:テキストと配布資料を参考に学習プリントに
		記入する(30分)
	実習帰校日:実習前半の評価、介護過程の指導	事前:実習前半の日誌と介護過程の課題をまとめておく
7		(15分)
		事後:教員からの指導をまとめ介護過程の見直し作業を
		行う (30分)
	実習帰校日:実習前半の評価、介護過程の指導	事前:実習前半の日誌と介護過程の課題をまとめておく
8		(15分)
		事後:教員からの指導をまとめ介護過程の見直し作業を
		行う(30分)

	介護実習Ⅱの実習後指導	事前:実習の課題を準備する
9	演習(グループワーク)事例検討	(日誌、レクリエーション活動計画書等)(30分)
		事後:教員からの指導をまとめ各用紙に記録する(30分)
	自己評価表及び報告書の作成	事前:事前に配布された評価表を記入しておく(30分)
10		事後:教員の個別実習事後指導の内容を学習プリントに
		記入する(15分)
11	報告書・パワーポイント資料の作成	事前:指定用紙に報告書を作成する (15分)
11	(構成の検討及び資料調べ)	事後:教員の指導内容をもとに報告書を修正する (30分)
	報告書・パワーポイント資料の作成	事前:各自の報告会のテーマに沿った報告資料を作成する
12		(15分)
		事後:教員の指導内容をもとに報告資料を修正する(30分)
	報告書・パワーポイント資料の作成 発表の準備	事前:各自の報告会のテーマに沿った報告資料を作成する
13		(30分)
15		事後:教員の指導内容をもとに報告資料を修正、完成する
		(30分)
	実習報告会	事前:発表の練習、準備をしておく (30分)
14		事後:発表を振り返り、評価した内容を学習プリントに
		記入する(15分)
	介護実習全体の振り返りとまとめ	事前:配布資料を読み、自分の考えをまとめておく(15分)
15		事後:実習全体の振り返りと自己評価を学習プリントに
		記入する(30分)

- ・既得した基礎的介護技術は実習室等で自主的に復習し、実習先での実践応用につなげてください。
- ・実習現場では、レクリエーションを実践する機会がありますので、介護が必要な方々に適した造形、音楽、体操等を調べ、準備をしてください。
- ・実習記録の記載に向けて日頃から活字を読み、論理的な文章の組み立てを意識してください。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕

発表(研究発表)	提出物	授業への取り組み姿勢	
50%	30%	20%	

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
「最新 介護福祉士養成講座10 介護総合演習・介護実習」(第2版)	介護福祉士養成講座編集 委員会	中央法規出版

参考書又は参考資料等

「2023年度(令和5年度)介護実習の手引き(東筑紫短期大学専攻科(介護福祉専攻))」

その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

- ・提出物及び実習報告(発表)は成績評価に大きく反映しますので実直に取り組んでいきましょう。
- ・提出物は確認、解説の後に返却します。

担当教員E-mail	その他
------------	-----

	t.fumi@hcc.ac.jp	
--	------------------	--

授 業 科 目 名	介護実習I						
担 当 者 名	田中 文佳、廣藤 智之、久門 裕子						
科目コード	2500015	授 業 形態	実習				
学 年	1	開 講 期	前期				
単 位 数	2	履修	介護福祉士必修				
ナンバリング	DP1-1-A						
授業の概要と方法 〔実務家教員につい ての特記事項含む〕	多様な介護福祉サービスに対応できる介護福祉士の育成を目指し、5日間と10日間に分けて二種の介護福祉現場に出向く。実習を通して、地域社会における生活支援の実践並びに介護を必要とされる方々の様々な暮らしの場の理解を深める。また、介護福祉士の役割と業務内容を理解する。二回の実習を、介護の基本、生活支援技術、コミュニケーション能力、こころとからだのしくみ等を融合する総合学習の場と捉え、基礎知識と技術の確認を目指す。						
授業の到達目標 〔学習成果〕	1. 介護を必要とされている方々を理解する多角的な視点を養い、生活支援における尊厳の保持と自立支援の理念の重要性を理解できる。 2. 介護福祉士の役割と業務内容を説明できる。 3. 介護福祉の様々な暮らしの場を認識し、実習施設や事業所等の概要と機能を説明できる。 4. 根拠に基づく安全かつ快適な介護技術を見学、体験する。 5. 一人ひとりの個別のニーズを洞察しながら介護過程におけるアセスメントが実践できる。						

授業計画〔学外実習の内容含む〕

【 実習区分 介護実習 I -A 〔5 日間〕]

・施設種別:認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)

・実習期間:前期(5日間)5月下旬を予定

• 実習目標

- 1. 尊厳の保持と自立の支援の意義を体得し生活支援者としての介護福祉士の役割を認識する
- 2. 個別ケアの視点を学び、利用者の方々の状況に応じた介護過程の情報収集を実践する
- 3. 認知症の諸症状の理解に努め、コミュニケーションや介護技術の体験を通して認知症の方々への支援のあり方を学ぶ
- 4. 認知症対応型共同生活施設の機能と役割、介護福祉士の業務内容を理解する
- 5. 日々の目標を明確にし、理論的根拠に基づく実習記録の作成に努める

【 実習区分 介護実習 I - B [10 日間]】

·施設種別:介護老人保健施設

・実習期間:前期(10日間)7月初旬から中旬を予定

・実習目標

- 1. 介護老人保健施設の機能と役割を認識し、尊厳の保持と自立を支援した個別ケアの実際を学ぶ
- 2. 個々の要介護者に応じた安心、安全かつ根拠のある介護技術の重要性を理解し、見学または体験をする
- 3. 利用者主体の介護福祉実践に向けた介護過程の情報収集及びアセスメントを実践する
- 4. 多職種との連携の重要性を理解する

*実習期間中は実習担当教員が1週間に一度訪問指導を行う

準備学習・事後学習等についての補足説明

- ・施設オリエンテーションへの参加及び事後報告を行う。
- ・実習記録、介護過程の課題など、提出物の日時は厳守する。
- ・実習に相応しい服装、髪型、化粧を心掛ける。
- ・既得した基礎的介護技術は実習室等を利用して自主的に復習に取り組み、実習先での実践、応用につなげてください。
- ・実習現場では、レクリエーションを実践する機会がありますので、高齢者や介護が必要な方々に適した造形、音楽、体操等を調べ、事前に準備をしてください。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕

実習施設の評価	提出物	実習に対する取り組み・姿勢	
60%	20%	20%	

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
「最新 介護福祉士養成講座 10 介護総合演習·介護実習」(第2版)	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版

参考書又は参考資料等

「2023年度(令和5年度)介護実習の手引き (東筑紫短期大学専攻科(介護福祉専攻))」

その他〔実習に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

- ・実習日誌及び課題は、提出期限を厳守し提出してください。成績評価に反映します。
- ・提出物は確認、解説の後に返却します。

担当教員 E-mail	その他
t.fumi@hcc.ac.jp (田中)	
hirofuji@hcc.ac.jp (廣藤)	
hisakado@hcc.ac.jp (久門)	

授 業 科 目 名	介護実習Ⅱ						
担 当 者 名	田中 文佳、廣藤 智之、久門 裕子	実務家教員	0				
科目コード	2500016	授業形態	実習				
学 年	1	開講講	後期				
単 位 数	3	履	介護福祉士必修				
ナンバリング	DP1-1-B						
授業の概要と方法 〔実務家教員につい ての特記事項含む〕	介護保険施設(介護老人福祉施設)において実習を 20 日間実施する。介護福祉の展開が、根拠に基づく実践であることを理解したうえで、個々の利用者の心身の状況に応じた安心・安全、快適な介護技術の実践、個別支援計画の立案と実施(介護過程の展開)、多職種との連携、時間外勤務(夜勤等)の体験を通し、既得した知識と技術を統合しながら実践力の習得を目指す。また、地域社会における事業所、施設の役割に目を向け、地域共生社会における介護保険サービスの展開を考察する視点を養う。実習期間中に帰校日を設け、実習目標の達成度や介護過程の進捗状況等の確認、指導を行う。						
授業の到達目標 〔学習成果〕	介護過程の一連の展開を習得する。(情報収集及びアセスメント、立案 プランの実						

授業計画[学外実習の内容含む]

【 実習区分 介護実習Ⅱ〔20日間〕】

· 施設種別:介護老人福祉施設

・実習期間:後期(20日間)9月中旬から10月中旬を予定

・中間帰校日:介護総合演習Ⅱとして登校し実習前半の振り返りと後半の目標設定の評価、修正を行う

また、担当教員とともに、介護過程の展開、実施に関する考察を行う

• 実習目標

- 1. 一人の利用者を受け持ち、介護過程を展開する実践能力を養う
- 2. 個々の要介護者の方々に応じた根拠に基づく安全な介護技術、個別ケアの展開方法を習得する
- 3. 夜勤や変則勤務実習を通して、日中以外の利用者の様子及び介護福祉士の業務が理解できる
- 4. 他職種の役割や業務内容を学び、多職種連携によるチームアプローチの重要性が理解できる
- ※ 実習期間中は実習担当教員が 1週間に一度訪問指導を行う

準備学習・事後学習等についての補足説明

- ・施設オリエンテーションへの参加及び事後報告を行う。
- ・実習記録、介護過程の課題など、提出物の日時は厳守する。
- ・実習に相応しい服装、髪型、化粧を心掛ける。
- ・既得した基礎的介護技術は実習室等を利用して自主的に復習に取り組み、実習先での実践、応用につなげてください。
- ・実習現場では、レクリエーションを実践する機会がありますので、高齢者や介護が必要な方々に適した造形、音楽、体操等を調べ、準備をしてください。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕

実習施設の評価	提出物		実習に対する取り	組み・姿		
60%	20%		20%			
使用テキスト				·		
書籍名		著者		出版社		
「最新 介護福祉士養成 介護総合演習・介護実習 版)		介護福祉士養成講座編集委員会		中央法規出版		
参考書又は参考資料等						
「2023 年度(令和 5 年度	E) 介護実	習の手引き (東筑紫	短期大学専攻科(介語	雙福祉専攻)) 」		
その他〔実習に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕						
・実習日誌及び課題は、・ 提出物は確認の後に返		対験守し提出してくた	どさい。成績評価に	文映します。		
担当教員の連絡先等						
担当教員 E-mail			その他			
t.fumi@hcc.ac.jp(田中) hirofuji@hcc.ac.j(廣藤) hisakado@hcc.ac.jp (久門	月)				-	

授	業	科	E	1	名	こころとからだのしくみl						
担	当		者		名	久門 裕子	実	務	家	教	員	0
科	目	П	-	-	۲	2500020	授	業		形	態	講義
学					年	1	開		講		期	2023年度 前期
単		位			数	2	履				修	介護福祉士必修
ナ	ンパ	, i	J	ン	グ	DP3-1-A						

の特記事項含む〕

授 業 の 概 要 と 方 法 介護実践に必要な知識という観点から、介護を必要とする人の生活支援を行うため、からだ 〔実務家教員について とこころのしくみについての知識を養い、介護実践に必要な観察力、判断力の基本となる知 識を学び、根拠に基づいた介護技術を修得できることを目的とする。さらに、介護技術の根 本となる人体の構造や機能及び介護サービスの提供における安全への留意点や心理的側面へ の配慮について理解できるように学習をすすめる。講義を中心とし、演習やグループワーク などを通して、人を理解できるように取り組んでいきたい。

〔学習成果〕

授業の到達目標1.人体の基本的な構造や機能及びその疾病の発生メカニズムについて理解できる。

この講義は看護師として臨床および看護管理者としての経験をいかし、授業を行う

- 2. こころの代表的な疾病についてその概要を理解することができる。
- 3. こころとからだのしくみを具体的に学び、介護実践に必要な観察力、判断力の基盤となる 拠を理解することができる。
- 4. こころとからだのしくみを学び、健康を意識した介護実践能力を培うことができる。

授	業計画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間
	健康とは何か:	事前:健康に関連する書物を読み、健康の定義を学んでお
1	レポート 健康の定義と設立について	〈(90分)
		事後:授業の要点をまとめ、復習する(90分)
	人間の欲求について:基本的欲求・社会的欲求	事前:テキストの指定範囲を熟読しておくこと(90分)
2		事後:学んだ内容を含め自身の欲求について熟慮する(90
		分)
	自己実現と尊厳について:自己実現といきがい	事前:自己概念、自己実現について、考えてみよう(90
3		分)
		事後:講義の要点をまとめ、復習する(90分)
	高齢者の理解 DVD観賞:感想をレポート	事前:高齢者の方を観察し、レポートしてみよう(90分)
4		事後:高齢者とその家族の思いについて考えてみよう(90
		分)
5	こころのしくみの基礎:脳とこころについて	事前:脳の仕組みについて学んでおくこと(90分)
		事後:授業の要点をまとめて復習する(90分)
	こころのしくみの基礎 :脳のもつ機能について	事前:関連する書物を読み脳・解剖図を覚えておくこと
6		(90分)
		事後:脳に関連する働きや名称を覚える(90分)
	からだのしくみ:からだの部位の名称と役割①	事前:テキストの身体各部の名称を覚えておくこと(90
7		分)
		事後:授業の要点をまとめて、復習する(90分)
8	からだのしくみ:からだの部位の名称と役割②	事前:消化器系とは何かを学んでおくこと(90分)
		事後:授業の要点をまとめて復習する(90分)
9	からだのしくみ:からだの部位の名称と役割③	事前:循環器系とは?何かを学んでおくこと(90分)
		事後:授業の要点をまとめて復習する(90分)

	からだのしくみ:からだの部位の名称、関節可動	事前:関連する図書を読み骨格系・解剖図を学んでおく
10	域	(90分)
		事後:授業の要点をまとめて復習する(90分)
	からだのしくみ:人体模型を用いて理解	事前:人体解剖模型、人体骨格模型使用し名称を覚える
11		(90分)
		事後:授業の要点をまとめ、復習する(90分)
12	からだのしくみ:関連する役割、薬の知識	事前:テキストの指定範囲を熟読すること(90分)
12		事後:授業の要点をまとめて、復習する(90分)
	老年期の機能、症状について:各自がレポートに	事前:高齢者の生活場面について考えてみよう(90分)
13	まとめ、グループワーク	事後:グループワークの内容を根拠に基づきまとめる(90
		分)
	老年期の機能、症状について:グループワーク	事前:老年期の機能が低下する要因につ考えてみよう(90
14		分)
1 14		事後:グループワークの内容を根拠に基づきまとめる(90
		分)
	まとめ	事前:前半授業を振り返り、不明点を押さえておく(90
15	授業全体の重要項目について再確認	分)
		事後:前半授業を振り返り、定期試験に備える(90分)

- ・グループワークの課題は、事前にレポートで宿題としています。提出期限を守って下さい。
- ・適時、学習成果を知るために確認テストを実施する。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	レポート及び確認テスト	
80%	20%	

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
	介護福祉士養成講座編集 委員会	中央法規出版

参考書又は参考資料等

- ・『クエスチョン・バンク 介護福祉士国家試験問題解説2024』 『見て覚える! 介護福祉士国試ナビ2023』
- ・参考書や参考資料、プリント等は適宜紹介・配布する。

その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

- ・上記の計画は、授業のガイドラインです。授業の進行状況により変更する場合もあります。
- ・授業で分からなかった点や質問がある場合は、メールでも受け付けます。
- ※課題提出について:当日欠席者も、必ず提出すること。

担当教員E-mail	その他
hisakado@hcc.ac.jp	

授	業	科	目	名	こころとからだのしくみⅡ						
担	当	:	者	名	久門 裕子	実	務	家	教	員	0
科	目	コ	_	ド	2500021	授	業		形	態	講義
学				年	1	開		講		期	2023年度 後期
単		位		数	2	履				修	介護福祉士必修
ナ	ンノ	ヾリ	ン	グ	DP3-1-B						
授訓	業の相	既要	と方	法	こころとからだのしくみを理解	したよ	こで、生活	活場面	に応じ	じたこ	ころとからだのしくみ、およ
〔〕	ミ務家:	教員	につし	いて	び心身の機能低下や障害が生活の	こ及ほ	ぼす影響(に関す	る基礎	き的な知	印識を理解する。さらに、生
の特	詩記事	項含	む)		活場面ごとに、こころとからだり	のしく	、み、心:	身の機	能の但	手や	障害が生活に及ぼす影響を踏
					まえた介護におけるアセスメン			の連携	售などの	必要怕	生をアクティブ・ラーニング
					などで理解できるように取り組ん						
授	業の	到:	達目	標	1. 移動・食事・入浴・排泄・睡	眠に関	₹連した	こころ	らとから	たの	しくみを学び、根拠のある介
〔学	学習成:	果〕			護						
					実践を行う必要性が理解できる。			1	知士っ	- 1. <i>L</i>	シーナフ
					2. 死にゆく人のこころとからだる 3. 医療職や他職種との連携の必						-
					3. 区原戦や個職権との建協の必須 *この講義は看護師として臨床は						-
授	 業	-	 計	画	C 1 HIS SOURCE ENGINEERS OF THE PROPERTY OF						具体的な内容及び必要時間
	移動	力に関	<u></u> 連しか	٠ د ح	 ころとからだのしくみ:移動行						 について考えてみよう(90
	1 為 0)生理	的意。	未、	安全・安楽な移動、歩行のしく	分)					
	み					事後	:高齢者	が移	動手段	につい	てまとめる(90分)
			能の値	氏下	が移動に及ぼす影響:グループ	事前	:移動か	不自	由にな	る要因	について考えてみよう(90
	2 7-	- ク				分)					
	<u> </u>	s 1. 7	/ - BB \-	+ 1	1 7 \ 1 \ N & 1 \ 1 7 \ D					-	[習する(90分)
					たこころとからだのしくみ:身 的意味、口の観察と予防(演	事前:テキストの指定範囲を熟読しておくこと (90分) 事後:高齢者の口腔ケアの方法を復習すること (90分)					
	習)	Z ∖ 1.	一角の言	上哇	的息味、口の観祭と予防(演	争仮	・ 同断を	∃ 07 LI.	腔グブ	の力法	で仮首すること (90万)
	. 身l	じたく	に関連	重し	 たこころとからだのしくみ:心	事前	:なぜ、	身じ	たくが	必要か	 考えてみよう(90分)
					支度に及ぼす影響	事後	:授業 <i>の</i>	要点	をまと	めて復	[習する(90分)
	5 食事	事に関	連した	たこ	ころとからだのしくみ:栄養素	事前	:なぜ、	人は	食が必	要なの	か調べておくこと(90分)
	と1	事									まとめて復習(90分)
					ころとからだのしくみ:心身の						考しておくこと(90分)
	6 機削	6低下	が食事	事に.	及ぼす影響		:病気に	こよる	嚥下障:	害の原	因についてまとめる(90
	ス シ	4. 洼	製化 ^t	キ 1-	 関連したこころとからだのしく	分) 事前	・関連さ	- ステ	キマト	でコ	
	_ / \ /	→ /F	3 /JK /N]	,, vC	ス是したことうとか りためしく	ן אין ארן	・内生り	· W /	1 // 1	· 、 / ·	NA /H/示とpm ' か / (JU

分)

分)

事後:講義の要点をまとめて復習する(90分)

事後:講義の要点をまとめて復習する(90分)

事前:テキストの指定範囲を熟読しておくこと(90分)

事前:排泄介助を要する高齢者の心理を考えてみよう(90

事後:GWの発表を通しての学びをレポートにまとめる(90

7 み

9

排泄に関連したこころとからだのしくみ:排泄の

排泄に関連したこころとからだのしくみ:心身機

能の低下が及ぼす排泄への影響:グループワーク

しくみ、排尿と排便のしくみ(演習)

	休息・睡眠に関連したこころとからだのしくみ:	事前:テキストを読み人間と睡眠について考えてみよう				
10	睡眠のしくみ	(90分)				
		事後:睡眠のしくみについてまとめて復習する(90分)				
	休息・睡眠に関連したこころとからだのしくみ:	事前:加齢による睡眠の変化について調べてみよう(90				
11	心身の機能の低下が及ぼす休息・睡眠への影響:	分)				
11	グループワーク	事後:睡眠障害と良質な睡眠についてまとめてみよう(90				
		分)				
	生活場面おけるこころとからだの変化の気づきと	事前:テキストの指定範囲を熟読しておくこと(90分)				
12	医療職との連携:グループワーク	事後:医療職との連携の必要性について復習しよう(90				
		分)				
	人生の最終段階のケアに関連したこころとからだ	事前:自分の死生について深く考えてみよう(90分)				
13	のしくみ:人生の最終段階に関する「死」のとら	事後:人の死、特に身近な人のについて考えてみよう(90				
	え方とこころの理解	分)				
	人生の最終段階のケアに関連したこころとからだ	事前:テキストの指定範囲を熟読しておくこと(90分)				
14	のしくみ:終末期から死後のからだの理解、医療	事後:看取りから家族ケアについて復習する(90分)				
	職との連携					
	授業の重要項目についての再確認と他科目との関	事前:後半授業を振り返り、不明点を押さえておくこと				
15	連性について	(90分)				
		事後:後半授業を振り返り、定期試験に備える(90分)				

- ・グループワークの課題は、事前にレポートで宿題としています。提出期限を守って下さい。
- ・適時、学習成果を知るために確認テストを実施する。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	レポート及び確認テスト	
80%	20%	

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
	介護福祉士養成講座編集 委員会	中央法規出版

参考書又は参考資料等

- ・『クエスチョン・バンク 介護福祉士国家試験問題解説2024』 『見て覚える! 介護福祉士国試ナビ2023』
- ・参考書や参考資料、プリント等は適宜紹介・配布する。 ・国家試験対策の資料も適宜配布します。

その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

- ・上記の計画は、授業のガイドラインです。授業の進行状況により変更する場合もあります。
- ・授業で分からなかった点や質問がある場合は、メールでも受け付けます。
- ※課題提出について:当日欠席者も、必ず提出すること。

担当教員E-mail	その他
hisakado@hcc.ac.jp	

授	業	科	F	1	名	発達と老化の理解						
担	当		者		名	久門 裕子	実	務	家	教	員	0
科	目	П	-	-	7	2500017	授	業		形	態	講義
学					年	1	開		講		期	2023年度 後期
単		位			数	2	履				修	介護福祉士必修
ナ	ンノ	K j	J	ン	グ	DP3-1-B						
授	業の	概要	三 と	方	法	人間の成長と発達の過程における	 5、身′	体的・心	沙理的	・社会的	内変化	L及び老化が生活に及ぼす影

の特記事項含む〕

〔実務家教員について 響を理解し、ライフサイクルの特徴に応じた生活を支援するために必要な基礎知識を学ぶこ とを目的とする。授業は、講義を中心とし、グループワークを通し、高齢者の理解を深めて いく。

この講義は、看護師としての臨床および看護管理者の経験をいかし、授業をすすめる

授業の到達目標 1. 人間の成長と発達の観点から老化を理解することができる。

〔学習成果〕

- 2. 老化に伴う心理や身体的機能の変化及びその特徴に関する基礎的な知識を理解することが できる。
- 3. 老年期の今日の課題を理解することができる。

授	業計画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間
	人間の成長と発達の基礎知識:成長・発達の原	事前:成長・発達の原則・法則について通読しておくこと
1	則、法則	(90分)
1		事後:講義の要点・ポイント(成長・発達)についてまと
		めること(90分)
	人間の成長と発達の基礎知識:器官・臓器による	事前:GW用の課題をレポートにまとめておこくこと(90
2	成長、発達の違いを学ぶ、グループワーク	分)
		事後:GWの発表を通して重要事項等をレポートに追記す
		ること(90分)
	成長・発達に影響する要因 :成長・発達に関す	事前:成長・発達に関する遺伝子要因について通読してお
3	る遺伝子要因	くこと(90分)
		事後:講義の要点・ポイント(遺伝子要因)についてまと
		めること(90分)
	成長・発達に影響する要因 :成長・発達に関す	事前:成長・発達に関する環境要因について通読しておく
4	る環境要因	こと(90分)
		事後:講義の要点・ポイント(環境要因)についてまとめ
		ること(90分)
	人間の発達段階と発達課題:人間の発達段階	事前:人間の発達段階(ピアジェ等)について通読してお
5		くこと(90分)
		事後:講義の要点・ポイント(発達段階)についてまとめ
		ること(90分)
	人間の発達段階と発達課題:人間の発達課題	事前:人間の発達課題(エリクソン等)について通読して
6		おくこと(90分)
		事後:ピアジェ、エリクソン等の発達段階・発達課題をま
		とめること(90分)

	************************************	ませ・0.00円の理師ナーピートによったマイスト(00
	老化の定義、老化とは:80歳の自分の全体像を描	事前:GW用の課題をレポートにまとめておこくこと(90
7	き老年期についてグループワーク	分)
		事後:GWの発表を通して重要事項等をレポートに追記す
		ること(90分)
	老化に伴う身体的変化と生活への影響:加齢に伴	事前:加齢に伴う生理機能・身体機能について通読してお
8	う生理機能・身体機能	くこと (90分)
		事後:講義の要点・ポイント(疾患等)についてまとめる
		こと (90分)
	老化に伴う身体的変化と生活への影響:生理機	事前:加齢に伴う日常生活に及ぼす影響について通読して
۵	能・身体機能の低下が日常生活に及ぼす影響	おくこと(90分)
]		事後:講義の要点・ポイント(具体例等)についてまとめ
		ること(90分)
	老化に伴う心理的変化と生活への影響:老化によ	事前:老化による認知・知的機能等の変化について通読し
10	る認知機能・知的機能、パーソナリティの変化	ておくこと(90分)
10		事後:講義の要点・ポイント(具体例等)についてまとめ
		ること(90分)
	老化に伴う心理的変化と生活への影響:老化によ	事前:老化による適応や動機づけへの影響について通読し
11	る適応や動機づけへの影響	ておくこと(90分)
11		事後:適応規制の内容を表にまとめて整理すること(90
		分)
	老年期の発達課題:老年期の発達の特徴	事前:老化期の発達の特徴について通読しておくこと(90
10		分)
12		事後:講義の要点・ポイント(老年期の発達課題)をまと
		めること(90分)
	老年期の発達課題:喪失体験とその後の心理過程	事前:老化期の発達の特徴について通読しておくこと(90
10	の支援の視点	分)
13		 事後:講義の要点・ポイント(喪失体験等)をまとめるこ
		と (90分)
	老年期の発達課題:老年期における今日の課題	事前:老化期における今日の課題について通読しておくこ
1.1		と (90分)
14		 事後:講義の要点・ポイント(多様性等)をまとめること
		(90分)
	まとめ	事前:人間の発達段階・発達課題の要点をまとめておくこ
	 授業全体の重要項目について再確認	と (90分)
15		 事後:発達と老化の関連性および理解と支援の重要性を整
		理すること (90分)
準備学	型・事後学習等についての補足説明	
	ープワークの課題は、事前にレポートで宿題としま	す ゆえに レポートの提出期限は空って下さい
	ーファータの味趣は、事前にレホードで信題としま :、学習成果を知るために確認テストを実施する。	70、アルドに、レカ・1 ツル上田州政はり フ(一〇 い。
成績計	評価の方法 〔評価項目と割合〕	

|成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	レポート及び確認テスト	
80%	20%	

使用テキスト

	書籍名	著者	出版社
--	-----	----	-----

『最新 介護福祉士養成講座12 発達と老化の理解 第2版』	介護福祉士養成編集委員 中央法規出版				
	会				
参考書又は参考資料等					
・『クエスチョン・バンク 介護福祉士国家試験問題解説2024』 『見て覚える! 介護福祉士国試ナビ2023』					
・授業の中で参考書や文献を紹介、国家試験対策の資料なども配布します。					
その他 〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕					
グループワークの課題は、事前にレポートで宿題とします。ゆえに、レポートの提出期限は守って下さい。					
担当教員の連絡先等					
担当教員E-mail その他					
hisakado@hcc.ac.jp					

授 業 科 目 名	認知症の理解				
担 当 者 名	久門 裕子	実務家教員	0		
科目コード	2500018	授 業 形態	講義		
学 年	1	開 講 期	通年		
単 位 数	4	履修	介護福祉士必修		
ナンバリング	DP3-1-B				
授業の概要と方法 〔実務家教員につい ての特記事項含む〕 授業の到達目標 〔学習成果〕	高齢化に伴う認知症の人数は、増加傾向にある。高齢者人口の増加に伴い、有病率も増加しているため、介護福祉業務には認知症の理解は不可欠である。この授業では、認知症ケアの理念を理解するとともに、認知症の人の身体機能、心理的・社会的側面に関する基礎的な知識を習得する目指す。認知症の人への支援のあり方、また、家族支援、地域社会におけるサポートの重要性等について学ぶ。授業では、グループワーク、DVIを使用し、認知症に対する知識を深める。 *この講義は、看護師としての臨床および看護管理者の経験をいかし、授業を行う* 1. 認知症を取り巻く社会的背景・制度について理解できる。 2. 医学的側面から見た認知症の基礎的知識について理解できる。 3. 認知症に伴うこころとからだの変化を具体的に学び、観察力を養うことができる。 4. 認知症の人に対する介護の基本を学び、介護実践力を培うことができる。 5. 認知症に伴うこころとからだの変化を具体的に学び、介護に役立てることができる。 6. 認知症に関する制度や地域におけるサポート体制等について学び、理解することができる。				
授 業 計 画		準備学習(予習・復習等	(の具体的な内容及び必要時間		
1 認知症とは:認	知症についてグループワーク	事後:グループワークの			
2 認知症の人の体	験の理解:グループワーク	事前: テキストの指定範囲を熟読し自分の意見をまとめておく(90分) 事後: グループワークの内容をまとめる(90分)			

授	業	計画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間
1	認知	症とは:認知症についてグループワーク	事前:テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事後:グループワークの内容をまとめる(90分)
2	認知	症の人の体験の理解:グループワーク	事前: テキストの指定範囲を熟読し自分の意見をまとめておく (90分) 事後: グループワークの内容をまとめる (90分)
3	脳の	機能・記憶のメカニズム	事前:テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事後:脳の機能について内容をまとめ、復習する(90分)
4	老化	のしくみ 加齢に伴う身体機能の変化	事前: テキストの指定範囲を熟読しておく (90分) 事後: 加齢に伴う機能変化について内容をまとめ、復習 する (90分)
5	認知ク	症の人の行動・心理症状:グループワー	事前:テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事後:グループワークの内容をまとめる(90分)
6	認知	症の症状:中核症状	事前: テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事後: 中核症状についてまとめ、復習する(90分)
7	認知	症の症状:BPSD	事前:テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事後:BPSDについて内容をまとめ、復習する(90分)
8	生活	障害の理解:演習	事前: テキストの指定範囲を読み、演習に向けて考えを まとめる (90分) 事後: 演習の内容をまとめる (90分)
9	認知妄	症と間違えられやすい症状:うつ・せん	事前: テキストの指定範囲を熟読しておく (90分) 事後: 認知症と間違えられやすい症状について復習する (90分)
10	認知	症の診断と重症度:演習	事前:テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事後:演習で行った認知症の診断方法について復習する(90分)
11	認知	症の原因疾患と症状・生活障害	事前:テキストの指定範囲を熟読しておく(90分)

事前:テキストの指定範囲を熱読しておく(90分) 事前:テキストの指定範囲を熱読しておく(90分) 事前:テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事前:テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事前:テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事前:テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事後:認知症の子防について内容をまとめ、復習す分(90分) 事後:が護和症の世界について再確認 事前:お知症の概要について復習しておく(90分) 事後:認知症の概要について復習しておく(90分) 事後:認知症の概要について復習しておく(90分) 事後:認知症の概要について復習しておく(90分) 事後:認知症の概要と現状について内容をまとめ、方る(90分) 事前:テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事前:テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事前:テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事前:テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事前:テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事前:テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事前:テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事前:テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事前:野ストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事前:野ストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事後:専門的コミュニケーションの基本をまとめ、行る(90分) 事後:専門的コミュニケーションの基本をまとめ、行る(90分) 事後:専門的コミュニケーションの基本をまとめ、行る(90分) 事後:即症の大への様々なアプローチと環境づく(90分) 事後:即症の大への様々なアプローチと環境づく(90分) 事後:即症の大への様をなアプローチと環境づく(90分) 事後:即症の大の指定範囲を熟読しておく(90分) 事後:記知症の大の指定範囲を熟読しておく(90分) 事後:記知症の家族に対する支援策について意見をまとを復習する(90分) 事後:記知症の家族に対する支援策について意見をまとを復習する(90分) 事後:部記・職につって意見をまととを復習する(90分) 事後:部記・職につって意見をまととを復習する(90分) 事後:部記・職にへの支援について意見をまととを復習する(90分) 事後:部記・職にへの支援について意見をまととを復習する(90分) 事後:部記・職にへの支援について意見をまととを復習する(90分) 事後:部記・職にへの支援について意見をまととを復習する(90分) 事後:部記・職にへの支援について意見をまととを復習する(90分)	5 (90
13 認知症の予防	
14 響、生活機能障害 DVD 鑑賞後グループワークの内容をまとめ、生活機能順力いて復習する (90 分) まとめ 授業全体の重要項目について再確認 事態 2 部の	
15 授業全体の重要項目について再確認 認しておく (90 分) 事後:認知症の概要について復習しておく (90 分) 事後:認知症の概要について復習しておく (90 分) 事後:認知症の歴史と現状について内容をまとめ、する (90 分) 事前: テキストの指定範囲を熟読しておく (90 分) 事前: テキストの指定範囲を熟読しておく (90 分) 事後:認知症ケアの理念及と視点について内容をき復習する (90 分) 事後:認知症ケアの実際:認知症の人の理解とアセスメント 20 認知症ケアの実際:認知症の人のコミュニケーション (関わりの基本) ロールプレイング 第前: 記知症の方とのコミュニケーション方法になる (90 分) 事後: 認知症の方とのコミュニケーション方法になる (90 分) 事前: 認知症の人のの様々なアプローチと環境づくり: 認知症の人への様々なアプローチと環境づくり: 認知症に伴う機能の変化と日常生活への影響: グルーブワーク 認知症の人への様々なアプローチと環境づくり: 認知症に伴う機能の変化と日常生活への影響: グルーブワーク 20 20 21 22 介護者支援: 家族への支援 22 介護者支援: 家族への支援 23 介護者支援: 介護福祉職への支援、演習 24 平前: テキストの指定範囲を熟読しておく (90 分) 事後: 証知症の家族に対する支援策について度 まとめ、復習する (90 分) 事後: 認知症の家族に対する支援策について度 まとめ、復習する (90 分) 事後: 認知症の家族に対する支援策について度 事前: テキストの指定範囲を熟読しておく (90 分) 事後: 認知症の家族に対する支援策について度 1 24 25 26 26 27 27 27 28 29 29 29 29 29 29 29	
16 認知症を取り巻く状況 歴史と今後 事後:認知症の歴史と現状について内容をまとめ、する (90 分) 事前:テキストの指定範囲を熟読しておく (90 分) 事前:テキストの指定範囲を熟読しておく (90 分) 事前:テキストの指定範囲を熟読し、アセスメント スメント	
17 と権利 上権利 上権利 上権利 上権利 上権利 上権利 上権利 上権利 上 接利 上 接 上 E 上 接 上 E 上 接 上 接 上 接 上 E 上 E 上 E 上 E 上 E 上 E 上 E 上 E 上 E 上 E 上 E 上 E 上 E 上 E	
18 認知症ケアの実際:認知症の人の理解とアセスメント スメント メージする (90 分) 事後:認知症ケアの実践について内容をまとめ、後る (90 分) 事前:認知症の方とのコミュニケーション方法にてまとめる (90 分) 事後:専門的コミュニケーションの基本をまとめ、する (90 分) 事前:テキストの指定範囲を熟読しておく (90 分) 事前:テキストの指定範囲を熟読しておく (90 分) 事前:テキストの指定範囲を熟読しておく (90 分) 事前:テキストの指定範囲を熟読しておく (90 分) 事後:超知症の人への様々なアプローチと環境づくり:認知症に伴う機能の変化と日常生活への影響:グループワーク 東後:症状に応じた機能変化と生活支援について対象と変し、復習する (90 分) 事前:テキストの指定範囲を熟読しておく (90 分) 事後:介護福祉職にへの支援について意見をまとめて復習する (90 分)	とめ
記知症ケアの実際:認知症の人のコミュニケーション (関わりの基本) ロールプレイング まとめる (90分) 事後:専門的コミュニケーションの基本をまとめ、する (90分) 事前:テキストの指定範囲を熟読しておく (90分) 事前:テキストの指定範囲を熟読しておく (90分) 事前:テキストの指定範囲を熟読し、演習のイメーク(30分) 事前:テキストの指定範囲を熟読し、演習のイメーク(30分) 事後:症状に応じた機能変化と生活支援について対象をまとめ、復習する (90分) 事前:テキストの指定範囲を熟読しておく (90分) 事後:介護福祉職にへの支援について意見をまとめを復習する (90分)	
20 認知症の人へのケア 事後:認知症のケアについて内容をまとめ、復習す分) 認知症の人への様々なアプローチと環境づくり:認知症に伴う機能の変化と日常生活への影響:グループワーク 事後:症状に応じた機能変化と生活支援について対象と数、復習する(90分) 事前:テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事前:テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事前:テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事前:テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事前:テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事前:テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事前:テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事前:テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事前:テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事後:介護福祉職にへの支援について意見をまとめて復習する(90分)	
21 認知症の人への様々なアプローナと環境つく り:認知症に伴う機能の変化と日常生活への 影響:グループワーク 事後:症状に応じた機能変化と生活支援について	
22 介護者支援:家族への支援 事後:認知症の家族に対する支援策について復習(90分) 23 介護者支援:介護福祉職への支援、演習 事前:テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 24 事後:介護福祉職にへの支援について意見をまとめを復習する(90分)	
23 介護者支援:介護福祉職への支援、演習 事後:介護福祉職にへの支援について意見をまとめ を復習する (90 分)	
24 認知症の人を取り巻く制度:認知症の人の権 事前:テキストの指定範囲を熟読しておく (90 分 事後:権利擁護制度について内容をまとめ、復習す 分)	
25 認知症の人を取り巻く制度:認知症に関する 事前:テキストの指定範囲を熟読し生活課題をまる おく (90分) 事後:法制度の理解と深め、社会的課題に関する まとめる (90分)	
26 認知症の人と家族を取り巻く他職種連携の実際:地域や施設での取り組み 事前:テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事後:他職種連携の実際について内容をまとめ、後る(90分)	
27 認知症の人や家族の社会資源について:在宅 事例検討	考察

28	認知症の人や家族の社会資源について:在宅 事例検討	事前: テキストの指定範囲を熟読し、事例に関して考察しておく (90分) 事後: 事例をまとめ、在宅生活の支援方法について復習をする (90分)
29	DVD 観賞 「認知症の人といっしょに生きる」 感想をレポートする	事前: テキスト・資料を読み、認知症支援の概要について復習する(90分) 事後: DVD 学習のレポートを作成する(90分)
30	まとめ 授業全体の重要項目について再確認	事前: テキスト、資料、ノートをまとめ再確認をしておく (90分) 事後: 認知症を取り巻く課題とケアのあり方についてま とめる (90分)

- ・課題やレポートの提出期限を守って下さい。
- ・適時、学習成果を知るために確認テストを実施する。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕

定期試験	レポート及び確認テスト	
80%	20%	

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
『最新 介護福祉士養成講座 13 認知症の理解 第 2 版』	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規
『ぜんぶわかる 認知症の事典』	河野和彦 監修	成美堂出版

参考書又は参考資料等

- ・『クエスチョン・バンク 介護福祉士国家試験問題解説 2024』 『見て覚える! 介護福祉士国試ナビ 2023』
- ・参考書や参考資料は適宜紹介します。
- ・国家試験対策の資料を適宜配布します。

その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

- ・上記の計画は、授業のガイドラインです。授業の進行状況により変更する場合もあります。
- ・授業で分からなかった点や質問がある場合は、メールでも受け付けます。
- ※課題提出について:当日欠席者も、必ず提出すること。提出物は確認後に返却します。

担当教員 E-mail	その他
hisakado@hcc.ac.jp	

授	業	科	目	名	障害の理解						
担	当	:	者	名	廣藤 智之	実	務	家	教	員	0
科	目	_	_	ド	2500019	授	業	•	形	態	講義
学				年	1	開		講		期	2023年度 前期
単		位		数	2	履				修	介護福祉士必修
ナ	ンノ	ヾ リ	レン	グ	DP3-1-A						
で の 特 (生)	実務家 寺記事 学習成	教 項	につい む〕 達目	で 標	医学的・心理的側面から、障害による心身への影響や心理的な変化を理解することを目的とする。 ・さまざまな障害の理解と、障害に応じた安全・安楽な援助への知識や技術、及び介護環境の工夫や福祉機器の活用法を学び、自立と健康を守る学習を行う。 ・講義では視覚教材を用い、障害のある人の身体機能に関する基礎的知識を習得するとともに、ロールプレイングやケースカンファレンスを通し、障害のある人のみならず家族を含めた周囲の環境に配慮した介護の視点とチームケアのあり方を学ぶ。 1. 障害の概念や障害に関する法的・医学的知識(障害の種類・原因・特性)を理解する。 2. 各々の障害の特徴を捉え、介護上の留意点を列挙できる。 3. 障害が及ぼす心理的影響や障害の受容過程に配慮した生活支援を介護実践に繋げることができる。 4. 家族支援・関連職種とのチームアプローチのあり方、また地域におけるサポート体制について列挙できる。						
授	業		計	画						-, -	
		章害の)概念)		念と障害者福祉の基本理念 念と障害者福祉の基本理念	と(! 事後	90分) :専門	用語等	の意味	をプリ	定義について通読しておくこ ントに追記する(90分) について通読しておくこと
	2 (1)	章害者	番組40	が基	本理念)	(90		田哥笙	の辛叶	<i>t.</i> →° 11	> , 1 , 1− `白言□ + フ (00八)

授	業 計 画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間
	第1章 障害の概念と障害者福祉の基本理念	事前:ICIDH、ICF、障害者の定義について通読しておくこ
1	(障害の概念)	と (90分)
		事後:専門用語等の意味をプリントに追記する(90分)
	第1章 障害の概念と障害者福祉の基本理念	事前:ノーマライゼーション等について通読しておくこと
2	(障害者福祉の基本理念)	(90分)
		事後:専門用語等の意味をプリントに追記する(90分)
	第2章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援	事前:指定範囲を復習し、ドリル・模擬問題を解答するこ
3	(障害者のある人の心理)	と (90分)
		事後:課題の誤答について再度、解答し要点を整理する
		(90分)
	第2章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援	事前:脊髄損傷、脳性麻痺について通読しておくこと(90
4	(肢体不自由)	分)
		事後:配布プリントのポイントをまとめる(90分)
	第2章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援	事前:眼の仕組み、視覚障害について通読しておくこと
5	(視覚障害)	(90分)
		事後:配布プリントのポイントをまとめる(90分)
	第2章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援	事前:耳、言語野の仕組みについて通読しておくこと(90
6	(聴覚・言語・重複障害)	分)
		事後:配布プリントのポイントをまとめる(90分)

	第2章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援	事前:心臓、呼吸器の仕組みについて通読しておくこと
7	(内部障害① 心臓機能障害、呼吸器機能障害)	(90分)
		事後:配布プリントのポイントをまとめる(90分)
	第2章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅰ	事前:腎臓、膀胱・直腸の仕組みについて通読しておくこ
8	(内部障害② 腎臓機能障害、膀胱・直腸機能障	と (90分)
	害)	事後:配布プリントのポイントをまとめる(90分)
	第2章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅰ	事前:HIV、肝臓の仕組みについて通読しておくこと(90
9	(内部障害③ 免疫機能障害、肝臓機能障害)	分)
		事後:配布プリントのポイントをまとめる(90分)
10	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅱ	事前:知的障害の特徴について通読しておくこと(90分)
10	(知的障害)	事後:配布プリントのポイントをまとめる(90分)
	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅱ	事前:精神障害の種類・特徴について通読しておくこと
11	(精神障害)	(90分)
		事後:配布プリントのポイントをまとめる(90分)
	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅱ	事前:高次脳機能障害、発達障害の特徴について通読して
12	(高次機能障害・発達障害)	おくこと(90分)
		事後:配布プリントのポイントをまとめる(90分)
	第3章 障害別の基礎的理解と特性に応じた支援Ⅱ	事前:難病の種類・特徴について通読しておくこと(90
13	(難病)	分)
		事後:配布プリントのポイントをまとめる(90分)
	第4章 連携と協働	事前:指定範囲を復習し、ドリル・模擬問題を解答するこ
14	(地域でのサポート体制・チームアプローチ)	と(90分)
14		事後:課題の誤答について再度、解答し要点を整理する
		(90分)
	第5章 家族への支援	事前:指定範囲を復習し、ドリル・模擬問題を解答するこ
1 -		と(90分)
15		事後:課題の誤答について再度、解答し要点を整理する
		(90分)

『最新 介護福祉士養成テキスト14 障害の理解 第2版』

- ・単元(若しくは授業)の終わりに、要点(まとめ)を伝えますので、各自で要点用のファイルを作成してください。
- ・授業ファイルおよび要点用ファイルは定期的に提出し内容を確認し返却します(必要に応じ、個別指導を行います)。
- ・教科書をもとに事前及び事後の自己学習を行ってください。また、準備学習以外でも、単元ごとにドリル・模擬問題を配布しますので、課題に取り組んでください。
- ・臓器の働き等(解剖・生理学の医学的分野)について専門書等を読み、各自でまとめておくと授業が理解しやすくなると思います。

成績評価の万法 し評価項目と割合」				
定期試験	レポート(自宅課題)	小テスト		
60%	20%	20%		
使 用 テ キ ス ト				
書籍名		著者	出版社	

介護福祉士養成講座編集

委員会

中央法規出版

『見て覚える! 介護福祉士国試ナビ2023』	いとう総研資格取得支援	中央法規出版
	センター	

参考書又は参考資料等

『クエスチョン・バンク 介護福祉士国家試験問題解説2024』

その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

- ・「こころとからだのしくみ」での解剖・生理の知識が必要となります。それららの理解の上に「障害」について学ぶ こととなるため、授業と並行して「からだのしくみ」を確実に覚える復習を行ってください。
- ・予習も大切ですが、復習することで一つひとつの障害について理解することに力を入れてください。その際、分からない内容があれば個別にでも質問をし、分からないままにしないようにてください。他の教科(「こころとからだのしくみ」、「生活支援技術 II・IIII」)と関連づけながら意識して学んでいくと、知識や技術が整理しやすいと思います。
- ・障害者総合支援法等の社会保障や各法令・施策との関連分野でもあります。「社会の理解」も参考にしながら必要な分野を理解してもらうため、事前に他科目のテキスト等に目を通してもらう等の予習を課すことがあります。
- ・資料整理のためのファイルを用意してください。

担当教員の連絡先等その他担当教員E-mailその他hirofuji@hcc.ac.jp

授	業 科 目 名	医療的ケア			
担	当 者 名	久門 裕子	実 務 家 教	員	0
科	目 コード	2500030	授業形	態	講義演習
学	年	1	開 講	期	通年
単	位数	4	履	修	介護福祉士必修
ナン	ンバリング	DP3-1-C			
ての	務家教員につい 特記事項含む〕 の到達目標 習成果〕	で技術が修行できることを目的とする。			
 授	様々な状況に対応することができるようになる。 業 計 画 準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要			の具体的な内容及び必要時間	
1 人間と社会:個人の尊厳、医療の倫理、利用 事前:医療的ケアって? 調べてみよう(9) 者や家族の気持ちの理解 事後:授業の要点をまとめ、復習する(90)		17 / / (/ - /			
保健医療チーム制度とチーム医療: 2 保健医療に関する制度、医行為に関係する法律				こめ、復省する(90分)	
2	4			は、調~	さめ、復省する(90分) ドてみよう(90分) 京に復習する(90分)
3	律		事後:医療の倫理 事前:安全な療養	は、調~ 里を重点 後生活に	ドてみよう (90分) 京に復習する (90分) こついて調べてみよう (90分)
	律 安全な療養生活な実施	る制度、医行為に関係する法	事後: 医療の倫理 事前: 安全な療養 事後: インフォー (90分) 事前: 救急蘇生が	は、調~ 理を重点 を生活に ムドコ ぶ、なせ	べてみよう(90分) 気に復習する(90分)
3	律 安全な療養生活な実施 救急蘇生 清潔保持と感染	- る制度、医行為に関係する法 : ・ 喀痰吸引や経管栄養の安全 : 予防:	事後: 医療の倫理 事前: 安全な療養 事後: インフォー (90分) 事前: 救急蘇生か 事後: 救急蘇生の 事前: 感染予防い	は、調べ 理を重点 を生活にコ が、実際に なない。	べてみよう (90 分) 気に復習する (90 分) こついて調べてみよう (90 分) ンセントについて考えてみよう ざ必要か考えてみよう (90 分) こついてまとめてみよう (90 分) て考えてみよう (90 分)
3	律 安全な療養生活な実施 救急蘇生 清潔保持と感染療養環境の清潔	- る制度、医行為に関係する法 : ・ 喀痰吸引や経管栄養の安全 : 予防: :・ 消毒法、職員の感染予防	事後:医療の倫理 事前:安全な療養 事後:インフォー (90分) 事前:救急蘇生か 事後:救急蘇生の 事前:感染予防に 事後:標準予防策 事前:感染予防策	は、まを生活には、またのでは、またのでは、またのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	ドてみよう (90 分) に復習する (90 分) こついて調べてみよう (90 分) ンセントについて考えてみよう ぎ必要か考えてみよう (90 分) こついてまとめてみよう (90 分) で考えてみよう (90 分) いて復習する (90 分) い、整理してみよう (90 分)
3 4 5	律 安全な療養生活な実施 救急蘇生 清潔保持と感染療養環境の清潔 滅菌と消毒の違	- る制度、医行為に関係する法 : ・ 喀痰吸引や経管栄養の安全 : 予防: :・ 消毒法、職員の感染予防	事後:医療の倫理 事前:安全な療養 事後:インフォー (90分) 事前:救急蘇生の 事後:救急蘇生の 事前:感染予防防 事後:標準予防防 事後:滅菌と消毒 事前:健康につい	は、を生み いまつにはのです。 は、を生い ないではのではのです。 はのではのです。	ドてみよう (90分) に復習する (90分) こついて調べてみよう (90分) ンセントについて考えてみよう ぎ必要か考えてみよう (90分) こついてまとめてみよう (90分) で復習する (90分) い、整理してみよう (90分) いたついて、理解しよう (90分) について、理解しよう (90分)
3 4 5 6	律 安全な療養生活な実施 救急蘇生 清潔保持と感染療養環境の清潔 滅菌と消毒の違 健康状態の把握について 呼吸のしくみと	こる制度、医行為に関係する法 : 密痰吸引や経管栄養の安全 :予防: : 水消毒法、職員の感染予防 : い : 、バイタルサインと急変状態	事後:医療の倫理事前:安全な療養事後:インスト (90分) 事前:救急蘇生の事前:救急蘇生の事前:救急蘇生の事後:標準予防策事後:標準予防策事後:機嫌をといる事後:接乗のの共済事後:なぜ、の仕続事後:呼吸の仕続	は更をム くうこうになってを 水が ないの はい ない こう はい てん ない こう はん でん ない こう はん こん こん こう はん こう はん こう はん こう はん こう はん こう はん こん こう はん こう は	ドてみよう (90分) 点に復習する (90分) こついて調べてみよう (90分) ンセントについて考えてみよう ぜ必要か考えてみよう (90分) こついてまとめてみよう (90分) で復習する (90分) いて復習する (90分) い、整理してみよう (90分) いについて、理解しよう (90分)
3 4 5 6 7	律 安全な療養生活な実施 救急蘇生 清潔保持と感染療 滅菌と消毒の遺 健康状態の把握について しくみといつもと違う呼 高齢者および障	こる制度、医行為に関係する法 話:喀痰吸引や経管栄養の安全 記・消毒法、職員の感染予防 はたらき、 で吸状態について に関いるででででである。 ではたらき、 での状態について でででででである。 での状態について ででは、者の喀痰吸引概論:	事後:医療の倫理事前:安全な水(90分)事前:水急蘇生の(90分)事前:救急蘇生の事前:感滅菌・療薬・動前:感滅菌・原薬・動前:破壊・のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	は更をム くうこうになってを 日 ついまれる はっぱい ないの の はままれる 一 第一 第	ドてみよう (90 分) 点に復習する (90 分) こついて調べてみよう (90 分) ンセントについて考えてみよう ぜ必要か考えてみよう (90 分) こついてまとめてみよう (90 分) で復習する (90 分) い、整理してみよう (90 分) いについて、理解しよう (90 分) について、理解しよう (90 分) についよう (90 分) についよう (90 分) になよう (90 分)

(90分)

分)

事後:吸引器具や機材などの清潔に扱うことができる

事後:喀痰吸引の準備から報告まで暗記しよう(90分)

事前:口腔内・鼻腔内吸引の手順をマスターしよう(90

事前:テキストの指定範囲を熟読しておく(90分)

吸引器具・機材のしくみ、清潔操作について

喀痰吸引ケアの実施手引き、報告および記録

口腔内や鼻腔内吸引および気管カニューレ内

部の喀痰吸引等の通常手順

10

11

12

		事後:本日の演習について、まとめてみよう (90分)
13	人口呼吸器装着患者の生活支援上の留意点に ついて	事前:テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事後:人工呼吸器療法(侵襲的)について復習する(90分)
14	子どもの吸引について、利用者や家族への対 応、説明と同意について	事前: テキスト指定範囲を熟読しておく (90 分) 事後: 吸引を受ける利用者や家族の気持ちを考えよう (90 分)
15	急変・事故発生時の対応と事前対策	事前:テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事後:喀痰吸引で生じる事故につて考えてみよう(90分)
16	消化器のしくみとはたらき	事前:テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事後:嚥下のプロセスをまとめよう(90分)
17	消化・吸収とよくある消化器の症状	事前:テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事後:よくある消化器の症状について復習する(90分)
18	経管栄養とは	事前:経管栄養って?。テキストで理解しておこう(90分) 事後:経管栄養の実施手順を暗記しよう(90分)
19	経管栄養実施上の留意点	事前:テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事後:経管栄養の通常手順を実施できること(90分)
20	子どもの経管栄養について	事前:経管栄養の通常手順を復習しよう(90分) 事後:子どもの経管栄養の要点をまとめる(90分)
21	経管栄養に関係する感染と予防	事前:テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事後:経管栄養の感染予防について復習する(90分)
22	経管栄養受ける利用者や家族への対応、 説明と同意について	事前:テキストの指定範囲を熟読しておく (90分) 事後:経管栄養を受ける利用者と家族の思いについて考 えてみよう (90分)
23	経管栄養により生じる危険、注入後の安全確 認	事前:経管栄養により生じる事故を考えてみよう (90分) 事後:経管栄養実施時の安全確認についてまとめる (90分)
24	急変・事故発生時の対応と事前確認	事前:テキストの指定範囲を熟読しておく(90分) 事後:ヒヤリハット・アクシデントについて復習する(90分)
25	経管栄養で用いる器具・機材及びそのしくみ と清潔操作	事前: テキストで器具・機材の名称等を覚える(90分) 事後: 器具・機材の名称を復習する(90分)
26	経管栄養ケア実施の手引き	事前:テキストの指定範囲を熟読する(90分) 事後:経管栄養のケア実施の手順を復習する(90分)
27	胃瘻・腸瘻、または経鼻による経管栄養	事前: テキストの指定範囲を熟読する (90分) 事後: 授業で学んだ経管栄養の手順について復習する (90分)
28	喀痰吸引、経管栄養の実技演習	事前:テキストを熟読し、実技演習に望む(90分) 事後:実技演習が手順通り実施できるようになる(90分)
29	報告と記録の必要性について	事前: 記録の内容や報告の必要性についてまとめる (90分) 事後: 学んだ内容の要点を整理し、復習する (90分)
30	まとめ 授業全体の重要項目について再確認	事前:学んだ内容を振り返り不明な点はまとめる (90分) 事後:授業を振り返り、定期試験に備える (90分)

- ・喀痰吸引等については、シミュレーター用いた演習の場合は「一人で実施できる」まで指導を受けて事後学習をすること。
- ・演習に関しては、各項目の実施手順習熟度テストを行い8割以上の出来が認められなければ受けられないも

のとする。					
成績評価の方法〔評価項目と割合〕					
定期試験	確認テス	F			
80%	20%				
使用テキスト					
書籍名		著者		出版社	
『最新 介護福祉士養成講 15 医療的ケア 第2版』		介護福祉士養成講座編集委員会		中央法規	出版
参考書又は参考資料等					
・『クエスチョン・バンク 介護福祉士国家試験問題解説 2024』 『見て覚える! 介護福祉士国試ナビ 2023』 ・授業の中で参考図書や文献を紹介する。演習や実技の時は、積極的にテキストや資料を読んで参加すること。					
その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕					
・演習や実技は、介護実習室で行います。介護実習室では、実習服で臨み、演習しやすい髪型に整えて下さい。 ・喀痰吸引、経管栄養の「基礎研修・演習」項目を一人で5回以上できると合格です。基礎演習法は法に則り 行います。 ・この授業は、演習実技を中心に展開するので、欠席した場合は、必ず追加補習を受けて、技術を修得しまし					
ょう。 担当教員の連絡先等					

その他

担当教員 E-mail

hisakado@hcc.ac.jp

授業科目名	バリアフリー論		
又 未 们 日 石			
担 当 者 名	深町 晃次	実務家教員	0
科目コード	2500022	授 業 形 態	講義
学 年	1	開 講 期	2023 年度 後期
単 位 数	1	履修	選択
ナンバリング	DP1-1-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員につい ての特記事項含む〕	超高齢社会を迎え、国の施策が施設依存型から、地域密着型へと変化をしている。高齢者・障がい者が住み慣れたわが家、住み慣れた地域での在宅生活を送る場合の障壁(バリアー)となる物を探り、身体状態を理解し、障壁(バリアー)を取り除く手法や、安心・安全な住まいの創り方の基本を知ることを目的とする。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	1. バリアフリーの手法を理解し、高齢者・障がい者が在宅生活を維持できる方策を修得する。 2. 福祉住環境コーディネーター3級レベルの知識を目標とする。		

授業	計画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間
		事前:教科書の該当箇所を通読しておく(45分)
1	ガイダンス、少子高齢社会と共生社会への道	事後:講義の要点・ポイントについてまとめること (45 分)
		事前: 教科書の該当箇所を通読しておく(45分)
2	バリアフリーとユニバーサルデザイン	事後:講義の要点・ポイントについてまとめること (45
		分)
		事前:教科書の該当箇所を通読しておく(45分)
3	福祉用具と住宅改修	事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(45
		分)
		事前:教科書の該当箇所を通読しておく(45分)
4	維病の方の在宅生活を支える	事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(45
		分)
		事前:教科書の該当箇所を通読しておく(45分)
5 住まいの知識1 建物構造	住まいの知識1 建物構造	事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(45
		分)
		事前:教科書の該当箇所を通読しておく(45分)
6	住まいの知識 2 住宅設備機器	事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(45
		分)
	サエケチロリア・ファク かとかみに1	事前: 教科書の該当箇所を通読しておく(45分)
7	生活行為別にみる安全・安心な生活 1	事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(45
	:起居・移動	分)
	ル ば行英印10でも、かられたは 9	事前: 教科書の該当箇所を通読しておく(45分)
8	生活行為別にみる安全・安心な生活 2 : 排泄・整容・更衣・入浴	事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(45
		分)

9	生活行為別にみる安全・安心な生活 3	事前: 教科書の該当箇所を通読しておく (45分) 事後: 講義の要点・ポイントについてまとめること (45		
9	: 清掃・洗濯・調理			
		分)		
		事前:教科書の該当箇所を通読しておく(45分)		
10	高齢者の健康と自立	事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(45		
		分)		
		事前:教科書の該当箇所を通読しておく(45分)		
11	在宅生活の維持を支える介護保険制度	事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(45		
		分)		
		事前:教科書の該当箇所を通読しておく(45分)		
12	障害の種類と自立の方策	事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(45		
		分)		
		事前:教科書の該当箇所を通読しておく(45分)		
13	脳卒中片麻痺の方の在宅生活を支える	事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(45		
		分)		
		事前: 教科書の該当箇所を通読しておく (45分)		
14	安心できる住生活とまちづくり	事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(45		
		分)		
		事前: 教科書の該当箇所を通読しておく (45分)		
15	介護とバリアフリー	事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(45		
		分)		
準備学	準備学習・事後学習等についての補足説明			

授業の進行が速いので、事前学習を必ずすること。分からない箇所は授業で積極的に質問してください。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕

レポート	小テスト及び課題	
70%	30%	

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
福祉住環境コーディネーター検定		東京商工会議所
試験3級公式テキスト		水尔问工云哦川

参考書又は参考資料等

・適宜資料を配布します。

その他〔受講に際しての注意点、課題(試験やレポート等)に対するフィードバックについて〕

第1回のガイダンスの際に「リハビリテーションの紹介」も行なう。

担当教員 E-mail	その他
深町: fukamachi@knwu.ac.jp	